昭和31年4月20日印刷 昭和33年4月28日発行 第39巻第4号(毎月1回25日発行)

建築と社会

日本建築協会

1958-4

住宅特集





理想的な螢光照明方式

日立ルミパネル による光り天井

●まぶしさと影のない最新の照明が光り天井（ルミナスシーリング）です。
●最も進歩した照明方式といわれております。
●日立ルミパネル（特殊プラスチックス板）の，ご使用によって，光り天井が手軽に，経済的にできます。
●日立ルミパネルは透過率がよく，吸音性に優れ，燃えにくく，軽く，光り天井のために特につくられた材料です。
●日立スーパーラピッド螢光灯をあわせて御利用下さい。

日立製作所

TRADE MARK



DOG

メンブレン式防水

の補強材料は30年の経厂を誇る

ドッグ印で!!

ドツグ印	アスファルトルーフィング
〃	アスファルトフエルト
〃	砂付ルーフィング
〃	メルタイトルーフィング
〃	キンマレアタィト（高級瀝青金麻布）
〃	ヘツシヤンファブリツク（瀝青黄麻布）
〃	コツトンファブリツク（瀝青綿布）
〃	白麻ファブリツク（瀝青苧麻布）
〃	ゲオンタイト（伸縮目地板）

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

型録・見本・仕様書
御報呈上

日本工業規格表示許可工場

株式会社 工英社

大阪市西成区橘通9丁目24番地　電話天下茶屋㈹8861・8862番

（衛陶マーク）

東洋陶器の衛生陶器と附属金具

Toyotoki

（金具マーク）



新製品
S－170
スミ付ロータンク

弊社は本社・茅ヶ崎の各衛陶工場及び金具工場共にＪＩＳの指定を受けた唯一の衛生器具総合メーカーです

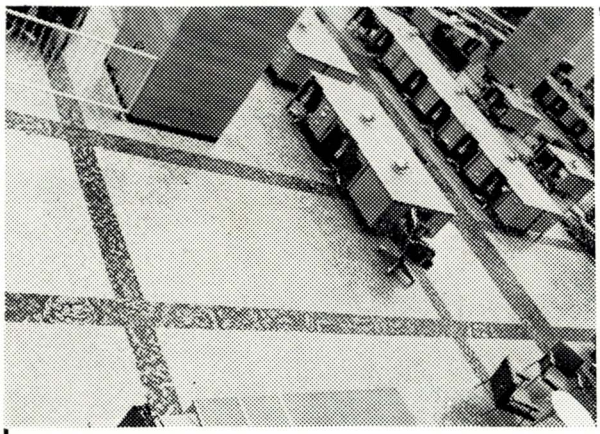
品質管理の優秀な
東洋陶器製品をセットで御使用下さい

東洋陶器株式會社

本　社
小倉市篠崎町458
ＴＥＬ ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区伏見町５の３　ＴＥＬ ㉓ 4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌

茅ケ崎工場
神奈川県茅ケ崎市
ＴＥＬ 2105～8



床張材

リノリユーム
リノタイル

新発売
Ｎリノタイル

ビニール製

スポンヂシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

東洋リノリユーム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話伊丹(代)3531・大阪(48)4490

東京支店　東京都中央区銀座4丁目三和ビル
電話京橋(56)1701・2564

大阪事務所　大阪市東区瓦町2丁目三和ビル
電話北浜(23)0375～0379



シーリングパテ NO.1001

窓ガラス防水パテ，スレート又はボード類の間隙充填に



吸音板，防熱板を天井壁面及びダクト面に NO.195



工，竹工，合板に，水に強い，安い，使い易い NO.601

建築用セメダイン

セメダイン株式会社

本社　東京都千代田区神田　TEL ㉝3131
支店　大阪市南区大宝寺東　TEL ㉗3456

特許出願中

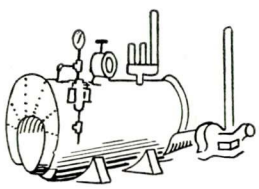
平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命児」現る！

経費節減 527万円の利益を生む

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額
7′×30′ランカシヤボイラと比較して
527万円益
(但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として)

大阪府立工業奨励館
公式試験成績
汽缶効率 81.2%
石炭焚にて
排ガス温度 197℃



◁営業課目▷
平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

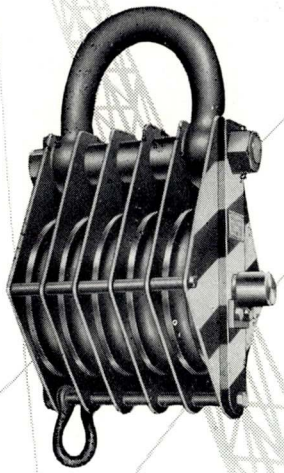
株式會社 平川鉄工所

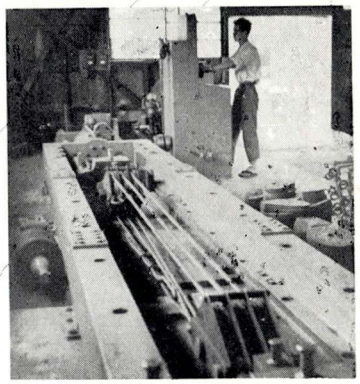
本社・工場　大阪市大淀区大仁西2の1　電話福島㊺1975－8
東京営業所　東京都中央区八重州6の7　電話㉘5883・7787－8
九州出張所　福岡県小倉市富野545　電話 小倉ⓑ1362

強力型 重荷用 鉄ブロック スナッチ

MKK

技術・性能・信用を誇る
安全度の高い





アムスラー油圧式横型引張試験機
（日本海事協会検定 No. 3788）
製品は本機によって試験す



御用命は全国有名土木機械工具
金物店へ御照会願います

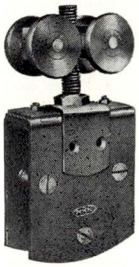
MKK

ドアーハンガー

本邦唯一の長尺レール {12尺 / 9尺



特長 在来の市販6尺レールに較べ継目が最小限度にすみ数多の継目によって、とかく運行の円滑と簡易取付を欠く憂いを解消し扉が軽快に操作できる。



種　目

トラックレール　ガイドレール　カーブレール

木製扉
鉄　扉　用（スチールボール入 / スチールローラー入）複車・単車ハンガー

重量型ハンガー

その他ブラケット附属品一切

御用命は全国各地有名建築金物店へ御照会願います　　カタログ進呈



店舗、工場、倉庫、ガレージ
格納庫、間仕切用

株式会社 三谷製作所

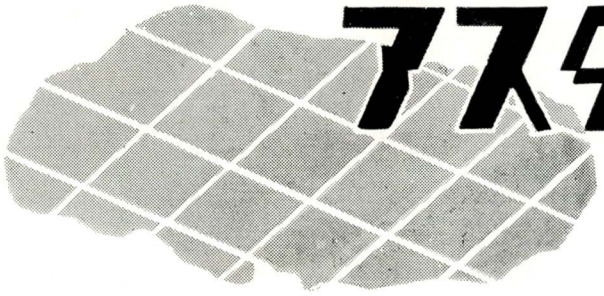
東京都足立区高野町二一八番地
TEL　足立 (88) 4048・4239

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル

（2粍厚）

アスタイル



を

藤森工業株式会社

本　　社　東京都中央区日本橋通１－２（大倉ビル３階）
専用電話　東京 ㉗（代表）６４３２－６４３５
大阪営業所　大阪市西区土佐堀通１丁目１番地（大同ビル709号室）
電話土佐堀 ㊹ 0225・7569・3527（直通）3131（ビル交換）

ビニール製　壁・襖貼材料

ロンフイックス



特殊加工がしてありますから，どんな糊でも又素人でも容易に貼れます。
インク，油，手垢等の汚れも石鹸水できれいにとれて水拭が可能です。　（特許出願中）

床材料の決定版！

ロンリウム

（ビニール製）



東京地下鉄・東急，新車に使用されています。
それは感触が柔らかく，手入れが簡単でしかも毎日多数の乗降者に耐え得る等その特性が他の床材より優れている事が認められたからです。
標準寸法幅6尺×長30碼×厚2.5粍（１巻15坪）

川口ゴム工業株式会社

東京都葛飾区本田四ツ木町54　　電話葛飾（69）1946—9
（全国有名内装工事店に御照会下さい）　　（カタログ贈呈）

日本建築協会ゴルフ同好会結成について

本会事業委員会では昨年来標記同好会の結成を研究しておりましたが，次の通り一応の規定も出来ましたので，広く会員より同好の方々を募ることになりました。これからゴルフを初めようとされる方も，すでに一応の経験ある方々も，本会会員のゴルフを通しての懇親の場としてのこの会にご入会下さるようお願い致します。

尚同好会の発足は募集〆切後，会員中より幹事を選び幹事会で運営の具体策を決定後，更めて会員の方々にご連絡いたすことにしております。

お申込みは，右の入会申込書に要項ご記入の上ご送附下さい。（ゴルフ同好会規定は，裏面に掲載してあります）

・準備委員・　（順不同）

鷲尾健三氏(大阪大学)　尾亀清四郎氏(三晃商会)
山本義樹氏(銭高組)　宮谷芳夫氏(日本レイヨン)
笹川季男氏(大成建設)　梶本秀尾氏(八千代電設工業)
村上秀夫氏(住宅公団)

郵便はがき

5円
切手

大阪市東区北浜三ノ三七

社団法人 **日本建築協会** 気付

ゴルフ同好会準備委員会

御中

日本建築協会ゴルフ同好会入会申込書

整理番号

氏　名

年令　　才

住　所

電話(　)　　番

勤務先

電話(　)　　番

所属のクラブ名称

ハンデー数

上記により申込みます

昭和33年4月　　日

氏　名　　㊞

日本建築協会ゴルフ同好会準備委員会御中

日本建築協会ゴルフ同好会規定

(1) **名　称**　日本建築協会ゴルフ同好会

(2) **目　的**　ゴルフを通して会員相互の親睦を図る。

(3) **構　成**　日本建築協会々員をもって構成する。

(4) **運　営**　※幹事制により運営する。

(5) **練　習**　練習場の斡旋をする。

(6) **競　技**　適時競技会を催す。

(7) **会　費**　年500円・前納のこと。（競技会・練習会の費用は含まない）

(8) **その他**　研究会（映画・説明会）を適時催す。

※幹事は会員より選任する。

▶申込〆切　　4月20日

監事並びに評議員当選お知らせ

昭和33年2月26日開会の通常総会において監事ならびに評議員の選挙を執行致しましたところ，下記の方々がそれぞれ当選せられました。

監　事　（1名・略敬称）

宮脇晴美（大阪府建築部長）

本部所属評議員（35名・略敬称・部門別五十音順）

（技術部門）

木村博己（大阪郵政局建築部施工課）
坂内幾男（坂内建築事務所自営）
菅　良春（府住宅建設課設備係長）
田公初夫（住宅公団大阪支所建築部工務課）
滝本義一（大阪工業大学教授）
竹内博文（市建築局建築課第二方面係長）
竹中米造（市交通局技術部営繕課）
馬場善雄（大阪大学工学部助教授）
村島　彰（松村組設計課長）
元木貞次（呉羽紡績資材課）
森田孝雄（大阪鉄道管理局大阪建築区）
山本　茂（大日本土木大阪支店積算課主任）
山本利雄（大阪工芸高校建築科長）

（綜合部門）

青柳貞世（竹中工務店専務取締役）
石丸正名（戸田組大阪支店長）
坂本広吉（浅沼組専務取締役）
杉本寛治（奥村組建築工事部長）
七尾健三（銭高組技術部長）
西村忠二（鍵仲建設専務取締役）
矢野豊作（藤木工務店工務部長）
山口吾郎（不二建設社長）
吉本一夫（間組大阪支店建築部次長）

（電気部門）

浅海正雄（浅海電気社長）
中元清次（関電北支店土木建築係長）
鳴尾源蔵（大阪電気商会電気部長）

（管工部門）

菅野　栄（大阪城口研究所常務取締役）
高須洪一郎（朝日工業社副社長）
竹中　清（大阪暖房商会取締役）

（建材部門）

尾崎博一（旭化工板代表取締役）
柏原国光（柏原瀝青社長）
新谷喜作（マルシン商会代表取締役）
鈴木松雄（三友工業大阪営業所長）
戸谷周丹（ナニワスレート社長）
松井邦彦（耐酸化学社長）
脇山静夫（内外工業代表取締役）

なお各支部選出の評議員は下記の方が当選せられました。

（兵庫支部）

森田康次（兵庫県建築課長）
山田治司（山田工務店）

（京都支部）

高橋政吉（明和管工業）
渡　実幸（日本建築協会名誉会員）

（和歌山・九州・東海　各2名未定）

昭和33年3月20日　　社団法人日本建築協会

参　考

昭和33年度留任退任監事・評議員氏名　（敬称略・50音順）

留任	退任
監事	
山邑励二	中西六郎
評議員	
（技術）	
宇治村撲　円堂政嘉	岩本博行　奥島正一
小田健治郎　北村修	川名吉エ門　清水和弥
椚座正信　坂永金重	西島勇　原田貞雄
陶波貞彦　長尾勝馬	増田幸次郎　村上秀夫
福田朝生　若田久作	森川喜代之助　渡辺禎己
	多屋幹男
（綜合）	
稲田芳郎　岩下久哉	伊丹久吉
蛯原逸雄　小栗賛吾	神谷新一　辛木貞夫
鈴木末尾　西沢藤生	浜口幹三郎　牧村利勝
政岡基次　溝江昇	山本義樹
（電気）	
今村騰　工藤寿男	武田恭一　松本芳太郎
山本昌之助	
（管工）	
上西圭治　高頭三義	浅野重太郎
知見義夫	内田成之
（建材）	
金光五郎　小早川美武	神田省平　中森菊次郎
越田英嗣　田村史郎	蜷川智造　増田宏
平田伊三郎	横田喜一郎
（兵庫）	
芦田小二郎　石井一信	野田清三
設楽貞三　伴潔	山内嘉兵衛
（京都）	
池田総一郎　山本磯十郎	神野信次郎　松井清之助
（和歌山）	
宇治田政雄　竹本説夫	児島正積　山下宗一
（中国）	
葛西重男　鈴木広好	
水谷正男　宗里実	ナシ
森定夫　吉田元七	
（九州）	
黒木源次郎　薄与荘	五十蔵芳明　森口清
（東海）	
欠員	

昭和33年度役員選任

昭和33年3月25日の定時評議員会において下記の通り選任されましたのでここに会告致します。（敬称略順不同）

	新任	留任
会長	尾崎久助	
副会長	東畑謙三	鴻池藤一
理事	伊東五郎	諫早信夫
	河東義方	岩崎甚太郎
	塚本猛次	桐本楠雅
	深尾実郎	高橋慶夫
	奥島正一	布施忠司
	浅沼猪之吉	小栗賛吾
	松村雄吉	大林芳郎
	栗原信虎	銭高輝之
	佐藤太	竹中錬一
	菅野栄	藤木正一
	青木友一	山本龍太郎
	向井保晴	浅野重太郎
		内田成之
		室谷山水
		井出正雄
		吉田信武
評議員会議長	鈴木末尾	
〃 副議長	滝本義一	

昭和33年4月1日　　社団法人　日本建築協会

春の桂，修学院離宮見学会

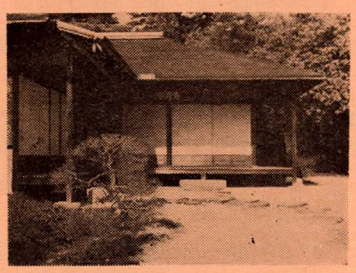
恒例の春の離宮見学会を下記要項により催します，折返しハガキによりお申込み下さい。なお開催日時は下記手続を経た上でお知らせ申上げます。

• 参考 • 申込〆切→名簿作成→宮内庁→人員指定および日時決定→本会よりハガキで参加者に日時通知。

記

(1) 申　込　ご希望の離宮1カ所に限る。
(2) 予定人員　桂離宮30名　修学院離宮50名
(3) 〆　切　4月15日（ただし予定人員に達したときは〆切ります）
(4) 見学予定日　5月上旬
(5) 申　込　本会会合係宛のこと
(6) 申込ハガキに記載する事項　(イ)ご希望離宮1カ所名　(ロ)氏名　(ハ)年令　(ニ)勤務先および役職名　(ホ)現住所







大徳寺孤篷庵忘筌の縁先▶

昭和33年4月

会と催

大徳寺の茶室（重要文化財）を見る会

陽春の好季節に都塵を離れて，京の紫野・大徳寺内の重要文化財に指定されている茶室を，会員岡田孝男氏のご説明により見学することになりました。何分参加者に限りがありますので，折返しお申込み下さい。なおこんごも茶室の見学会を企画いたしたいと存じますので，見学ご希望の茶室を事務局までお知らせ下さい。

記

1. **と　き**　4月20日（日）午前10時30分（集合）午後4時30分（解散）
1. **ところ**　大徳寺山内山門前集合
（京都市電大徳寺停留所下車）
1. **見学の茶室**
① 真珠庵の庭玉軒　2帖台目　金森宗和好
② 聚光院の閑隠の席　3帖　伝利休好
〃　桝床の席　4帖　覚々斎好
③ 孤篷庵の忘筌　12帖　小堀遠州好再建
〃　山雲床　4帖半台目　〃
・以上いづれも重要文化財・
1. **解説者**　岡田孝男氏（岡田建築事務所々長）
1. **会　費**　100円　（見学経費・抹茶代その他）
1. **交通費**は自弁のこと。**昼食**は各自携行のこと。
1. **申　込**　4月15日までにお申込み下さい。なお定員（30名）に達した時は〆切ります。
1. **参　考**　昼食は，真珠庵で致します。見学終了後は大徳寺山内で解散いたします。

大徳寺の茶室見学会
20日午前10時半

第3回　建築写真コンクールにご応募を

標記第3回建築写真コンクールは今月末で募集を〆切ります。何卒多数ご応募下さるようお願い申上げます。

第3回　建築写真コンクール募集規定

(1) **主　題**　**建築に関連のあるもの**（建築を中心にしてかもしだされたもの）

(2) **応募資格**　日本建築協会々員に限る

(3) **大きさ**　**四ツ切版以上**，（カラーの場合は自由）応募点数は制限しないが未発表のもの

(4) **〆　切**　**昭和33年4月30日**　ただし当日の消印あるものは有効

(5) **入選者の数並に賞**

入選者10名に日本建築協会賞（記念品・賞状）および富士フィルム賞（富士賞）を贈る。

(6) **審査員**　（順不同）　5名

森　　忠一　氏　（村野森建築事務所）
政岡基次　氏　（K.K.松村組）
恒成一訓　氏　（つねなりすたじお）
多比良敏雄　氏　（タイラホート）
および後援者より1名

(7) **入選発表**　本人に通知する外「建築と社会」に入選者氏名を発表する。
入選作品は「建築と社会」誌上に掲載すると共に適当な場所で展示公開する。

(8) **その他**
(イ) 応募作品は一切返却しない。
(ロ) 応募写真の裏面には暗号（文字に限る）を附し別に暗号，撮影場所，日時，データ，住所氏名を明記した紙片を密封し，封書表面には暗号のみを記入すること。
(ハ) 入選作品は本会で公表する以前に他で発表することは出来ない。
(ニ) 入選作品を編集し本会で出版する場合の版権は本会に帰属する。

(9) **送付先**　大阪市東区北浜3丁目37
日本建築協会建築写真コンクール係

● このコンクールは毎年2回開催する予定である。

後援　**富士写真フィルム株式会社**

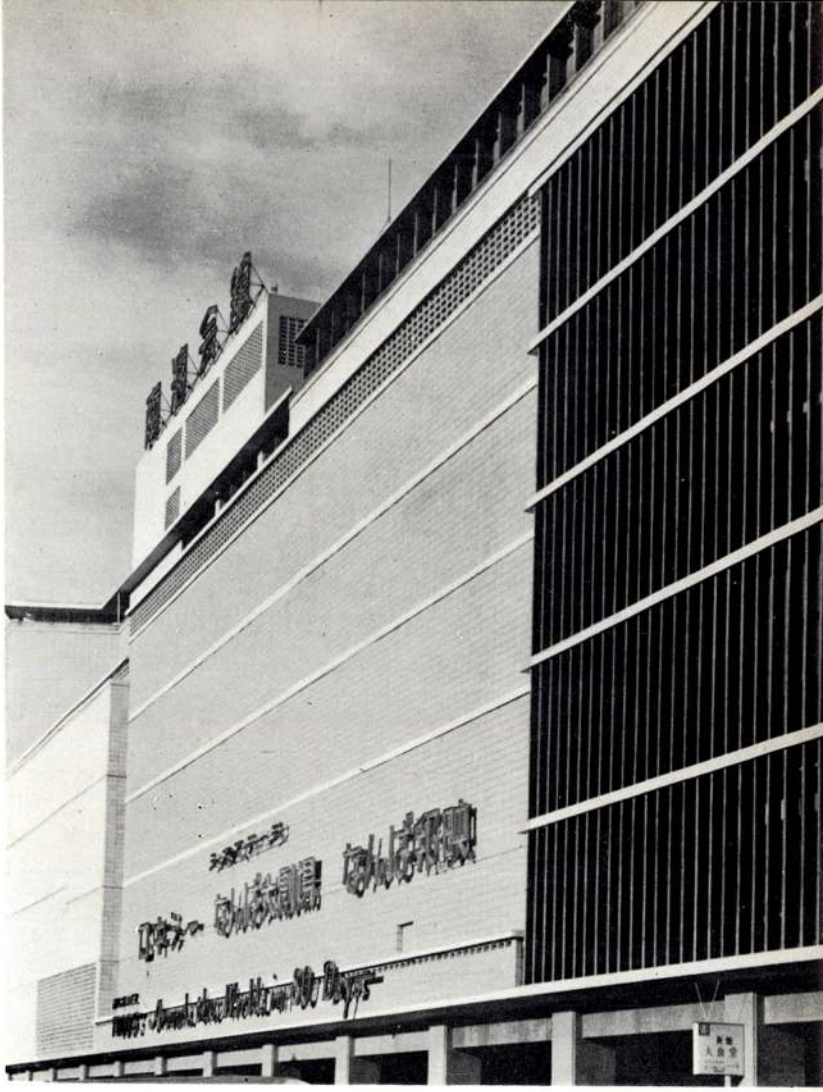
—お詫び—

先月（3月）号が印刷関係の都合により発刊が大変遅れまして，新朝日ビルディングの見学会に申込まれる期日がなく，多数の会員各位にご迷惑をお掛け致しました。本当に申訳けなく深くお詫び申上げます。

—お知らせ—

4月の〝若い会員の集い〟は都合により休会いたします。来月よりは企画を新に継続していきたいと存じます。

南　海　会　館



設　計　：　坂倉準三建築研究所
施　工　：　清水建設株式会社

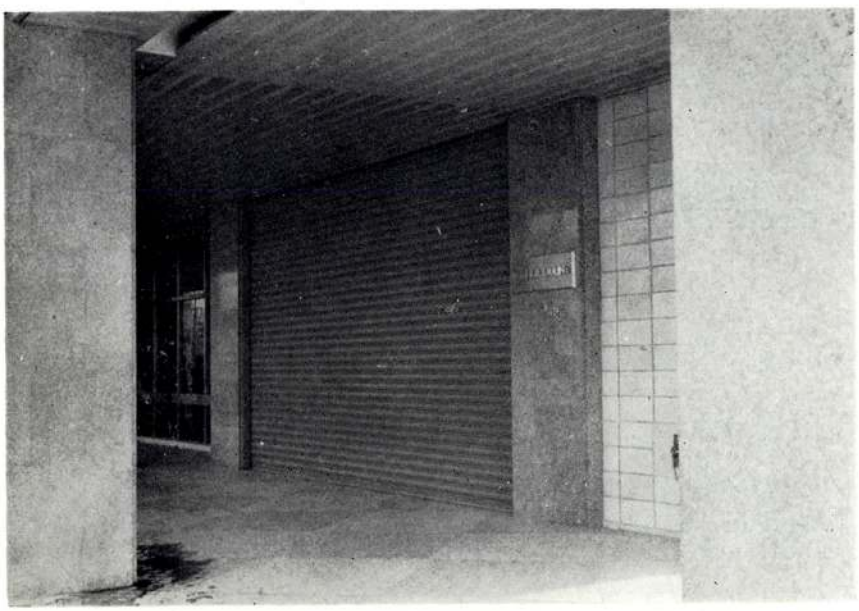
冷暖房換気設備・給排水衛生設備　　株式会社　大阪電気商会大阪暖房商会



南　海　会　館

電気設備　　浅　海　電　気　株　式　会　社

シヤタア工事　　株式会社　鈴　木　シ　ヤ　タ　ア　商　会



南海会館電機設備概要

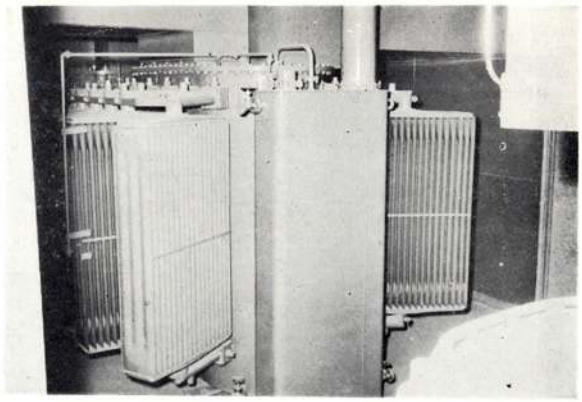
特高20KV側は，地下線にて南海会館地下2階に引込んで受電し，20－C－100型空気遮断器を通して配電器具と共にキュービクル内に収めてあります。

1. 主変圧器2台は不燃性油使用でわが国屈指の大容量を誇る。3相4000KVA，一次定格電圧20KV，二次定格電圧3450V60~で一般動力，夏期冷房に使用す。
2. 電灯，一般動力，各階劇場その他の照明等も不燃性油入変圧器6台で処理するようになっている。容量は750KVA，3相3450V（一次定格電圧），220~110（二次定格電圧）である。
3. 3.3KV側配電盤は，三菱式WH型メタルクラッドを採用せられて取扱い，点検を簡単にして3－DH－15型，磁気遮断器を収めている。特高，高圧関係の操作は自動・手動可動で，いずれも一カ所で管理できるようになっている。
4. 自家発電用として250KVAデーゼル機関を備え，停電時の処理につき万全の注意を払われている。

以上は，火災予防の見地より上記の器具を具備している。

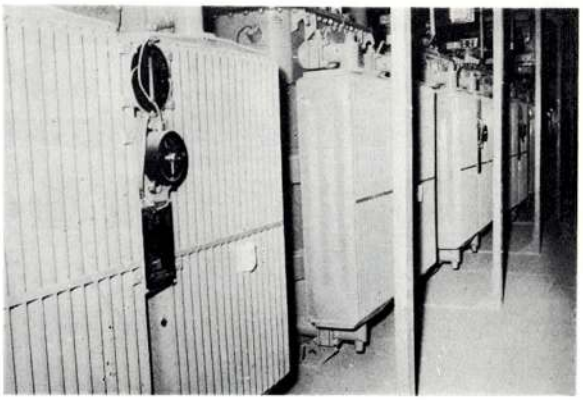
電　機　設　備

三　菱　電　機　株　式　会　社



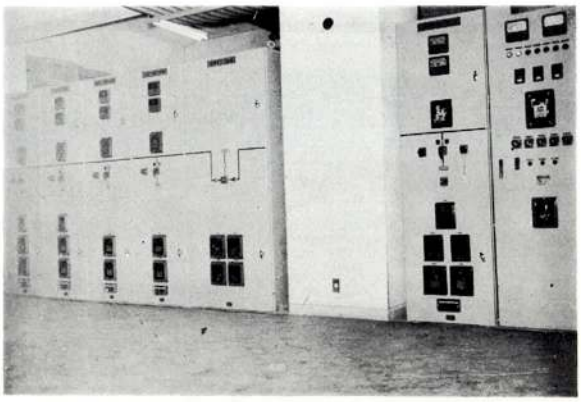
1

4000KVA　変圧器



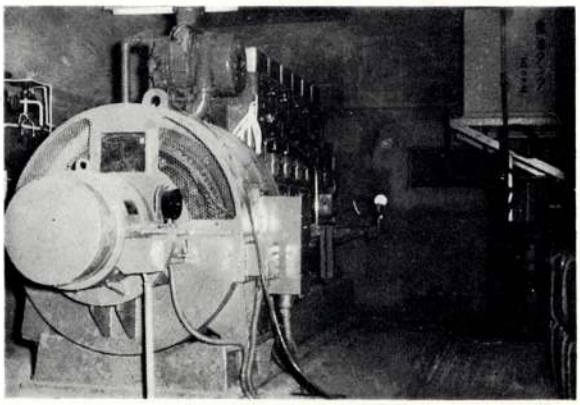
2

750KVA　変圧器



3

WH型メタルクラッド

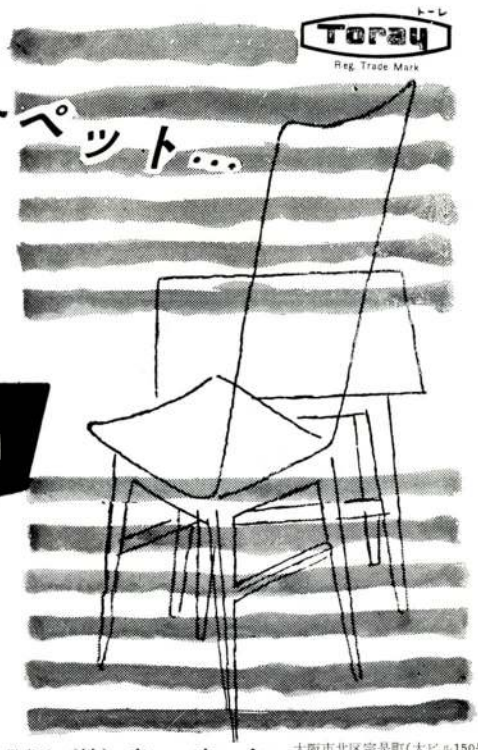


4

自家発電機ディーゼル機関直結

絶讃！ナイロンカーペット…

東レナイロン絨毯 ・緞通は100%スパンナイロン糸を使用したもので・摩擦に強く
・弾力性に富み・吸塵性が少なく
・虫の害を全く受けません



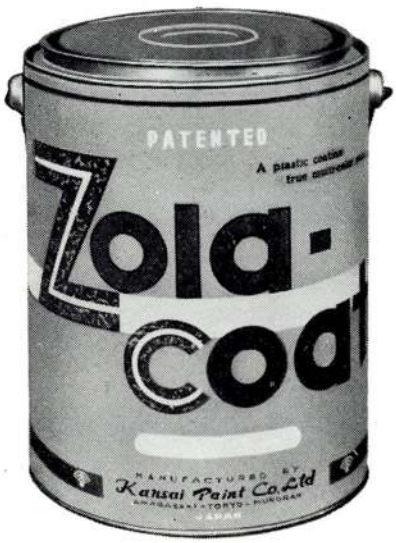
東レナイロン

絨毯・緞通

このほか価格低廉な 100%レーヨンによる
東レカーペットも好評を博しております

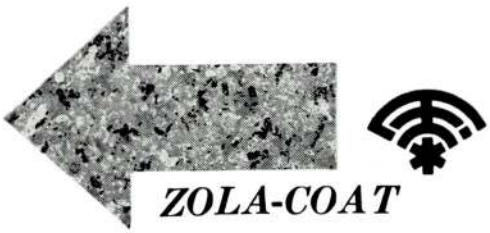
東洋レーヨン株式会社

発売元 (株)泉 商 会
大阪市北区宗是町(大ビル150号)
電 (44) 2736～9



米国特許 No. 2,591,904
英国特許 No. 760,605
日本特許 No. 231,698

関西ペイント
大阪市東区伏見町5丁目27



ZOLA-COAT

新しい塗料から生まれる新しい環境

コンクリート・モルタル・プラスター・木材・金属
紙・繊維・皮革・その他あらゆる材料に深さと魅力
を与える高分子粒子状多彩塗料

A Plastic Coating, Multi-color Paint

ゾラコート

●カタログ御希望の方は当社宣伝課迄御申付け下さい。

建築と社会

4

住　宅　特　集

1　9　5　8　年　4　月　号　目　次

表紙について

デザイン：岩本　博行

写　真：南海会館のP.S.ルーバー

撮　影：多比良　敏雄

建　築　と　社　会

第39集・第4号

売価　1部180円・送料共

昭和33年4月20日印刷

昭和33年4月25日発行

発行所　社団法人　日本建築協会

大阪市東区北浜3丁目37

電話　北浜㊀　9648・9649・9640番

振替口座　大阪39975番

発行人　沖田　誠一

編集人　松井　昭光

印刷所　株式会社　研文社

大阪市北区堂山町66

電話㊁2091～3番

印刷者　函野　堂

作品作風

南海会館……18

古賀ゴルフ・クラブ……27

本　文

一室住居論……清家　清……31

居住空間……平生　舜一……34

寸法について……西沢　文隆……36

勝手口不要論……光安　義光……40

台所設備の配置……竹内　さく……42

水洗便所……須賀　栄一……44

住宅暖房……石原　正雄……46

住宅内の空気衛生……花岡　利昌……48

鉄筋アパートの音響……久我　新一……50

書　評

「対立と調和」ブロイヤー建築論……岡橋作太郎……53

「日本の民家」二川幸夫・伊藤ていじ……徳永　正三……53

住宅トピックス

大宅・吉阪論争……足立　孝……54

最近の公団住宅……吉田　圭三……55

会員の声

「建築と社会」批判……三品　哲夫……56

会合便り……59



1

南海会館設計計画について　　西沢文隆

基本計画について：本計画は旧南海ビルと南海電鉄のホームと御堂筋から大阪スタジアムに通じる道路に挟れた南北に細長い敷地一杯に新館を建て，その南端に南海電鉄本社を移すことにより，北部の旧館と高島屋百貨店の拡張に充てるとともに，南海電鉄の駅と，3つの映画館，銀行，喫茶店，食堂などをも含めて，それらをいかに有機的に結合按配するかに主眼があった。またそれには今まで窒息しかけていた導線の隘路を打開し，整理することにより，新しい空間を確保して行くことが必要であった。――大阪スタジアム計画当初から問題であった二階ホームとスタジアム方面のスポーツ・センターへの太い導線，二階ホームと御堂筋を結ぶ階段の拡張地下鉄との間の隘路の打開（これは市当局との話合が纏まず，残念ながら今回実現をみなかった），高島屋地階売場と高架下売場の結びつきの拡大（これは昭和24年高架下改修工事の際一部実現をみたが，今度新館の地ー，二階に旧館，高架下を含む全機械および電気施設を移動新設することにより実現された。ただこの部分は構造的にジョイントに当っており，今回はあえて構造的に変革までは来たさなかったので，この部分での真の空間獲得はなし得なかった）――

構造計画について：

柱スパン：南北方向の7m200は事務階の机配置寸法より東西方向，両端5m200，中5m400は映画館の客席配置とロビー巾および事務階のコアー廻りの寸法からせり出されたもの。

劇場への考慮：細長い建物のほぼ中央に劇場を位置させることができたので，その南北の部分で剛に堅め，東西断面では，両サイドのロビー部分を均等に柱割ラーメンとして，その間に大きな観覧席の空間を入れた。

基　　礎：ベタ基礎，杭なし。

構　　造：鉄骨鉄筋コンクリート，4階まで普通コンクリート，以上軽量コンクリート（但し屋上階に限り亀裂の問題を考慮して普通コンクリート）

エキスパンションジョイント：旧館接続部分の梁を補強（全面的開口のため），接続部でピンジョイントとした。

劇場計画について：

1. 全館 one floor system とし，balcony system による視角的，音響的不利を避けた。これは視角的にもよい結果となった。
2. 大劇場　1，250人　TOD A・O システム
   中劇場　908人　シネマスコープ
   小劇場　594人　映画，演劇，ショーなど多角的用途に使用
3. 防振処理
   中劇場　真下に機械室があり，冷凍機の振動が大きいため，冷凍機基礎に防振ゴムを shear type に入れたフローティングシステムを採用して著しい効果を収めた。
   小劇場　屋上階遊園地を造る場合の対策として，床の振動を遮断する目的で天井に防振ゴムを使用。

外装について：外壁の主体をなすものは新しく造った陶管ブロックである。これは土管の材料たる粘土に釉をかけたものである。瀬戸の試験所で耐候性について実験してもらった。カーテンウォールとして経済的でしかも見られるもの，またコンクリートブロックにタイル貼りよりは安価で，しかも亀裂がなく，耐水性のあるものというねらいで造った。経済的に途中で断面を変更することができなかったため，多少目地が浅く厚味の出たきらいがあった。外目地コーキングパテ，内目地防水モルタル，万一の漏水に備えて壁内面側に排水溝を造ったが，幸い今のところ必要をみていない。事務階も陶管グリルでやる予定であったが，内部で暗鬱しいという強い反対があり，P.S.ルーバーに落ちついた。

1. 大劇場ロビー
天井：　アルタイル
壁：　ウォールナット
床：　プラスタイル（赤）
スロープ部分：ノンスリップゴムタイル

2. 西面全景
左：　陶管グリル積（百貨店）
中：　陶管ブロック積（劇場）
右：　P.S.ルーバー竪込（事務所）

3. 南面全景
全面サッシュ吸熱ガラス使用

位置	大阪市南区難波新地六番町十二番地	
工期	昭和31年9月 ～ 昭和32年10月15日	
敷地面積	30，435m²	9，200坪
建築面積	4，928〃	1，490〃
延面積	37，590〃	11，370〃
改造面積	13，317〃	4，035〃
	合計	15，305坪
構造	地下2階　地上8階　塔屋3階	
	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	コンクリート　B2F～4F　普通コンクリート	
	4F以上 軽量コンクリート（浅間軽砂利）	
高さ	標準地盤面ヨリ　パラペット迄　31.000m	
	〃　ペントハウス迄　39.000〃	
	〃　基礎地盤迄　11.180〃	

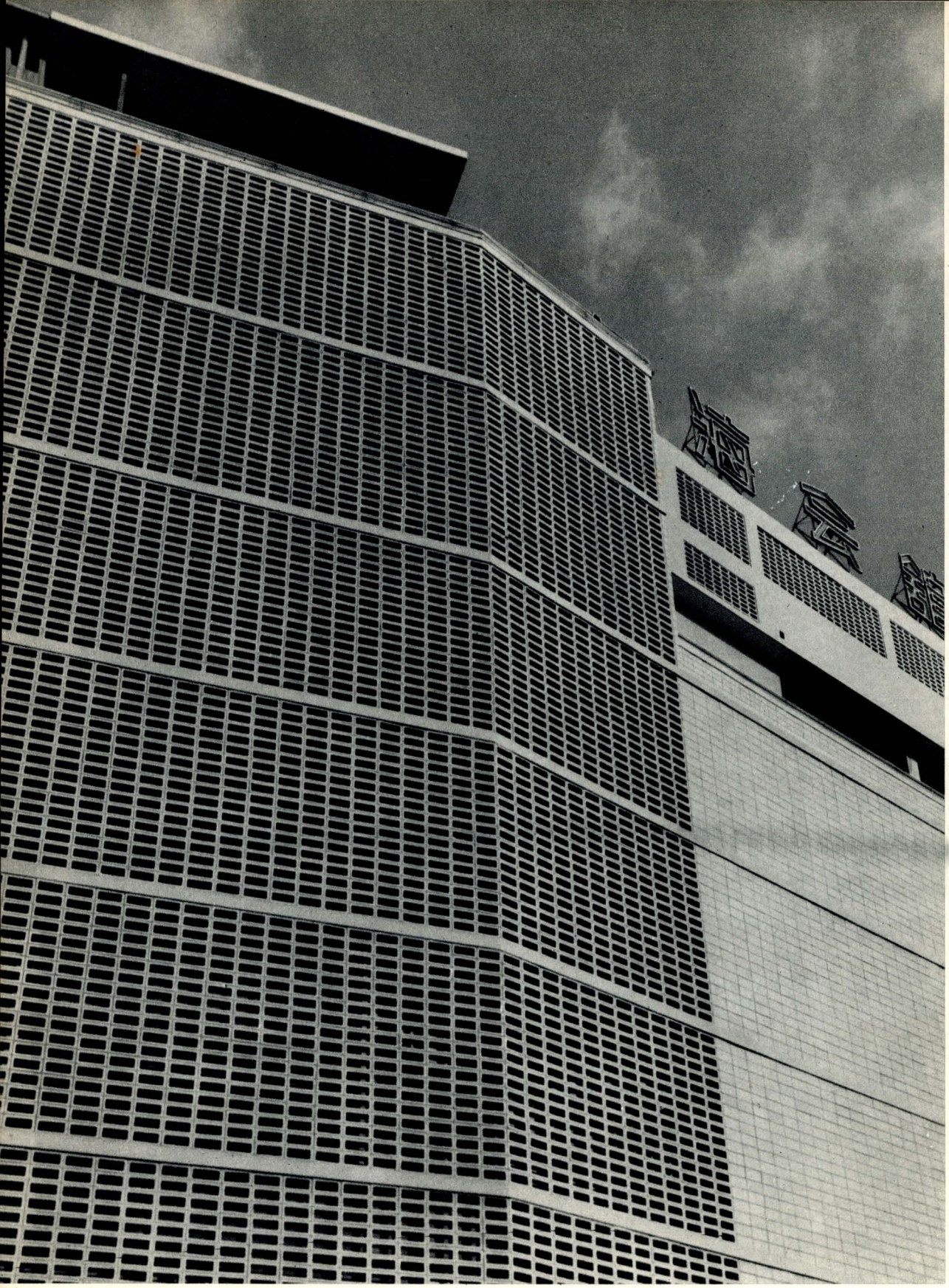
南海会館　　設計：坂倉準三建築研究所　　監理：株式会社 南海会館

2

3



施　工　：　清　水　建　設　株　式　会　社



4

4・南海会館壁面詳細：陶管グリル積

photos: 多比良敏雄



5

ペントハウス：モザイクタイル
屋上フエンス：コンクリート打放し

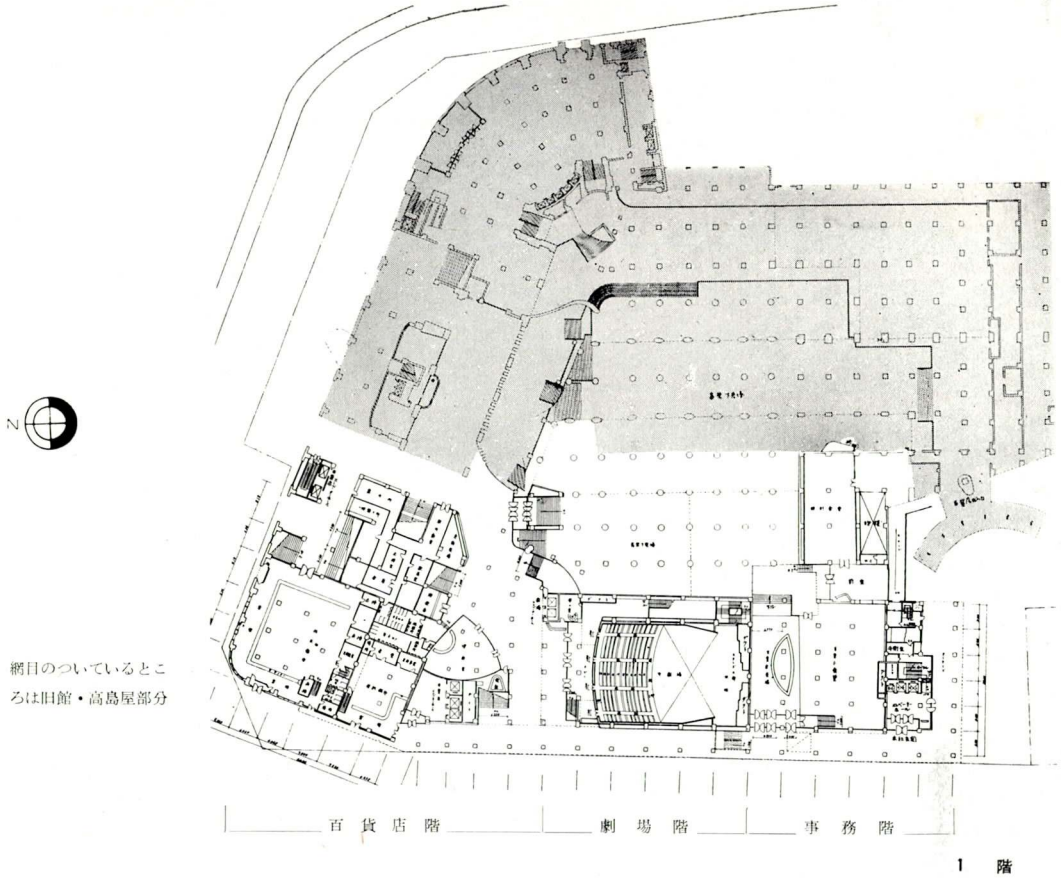
5. 南海会館壁面詳細：P.S.ルーバー



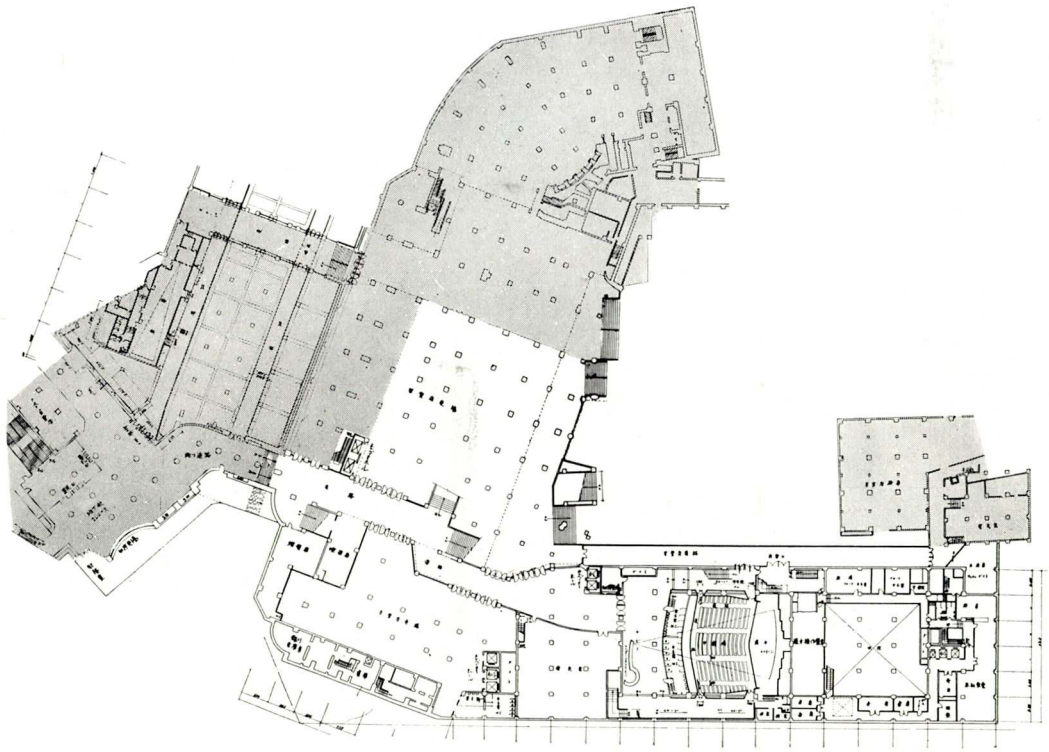
6

天井：アスベストボード(アコースチック)
メタラック仕上淡緑色
壁　：陶管ブロック濃茶(劇場面)
床　：プラスタイル白色

6. 南海会館内部：中劇場ホール



1　階

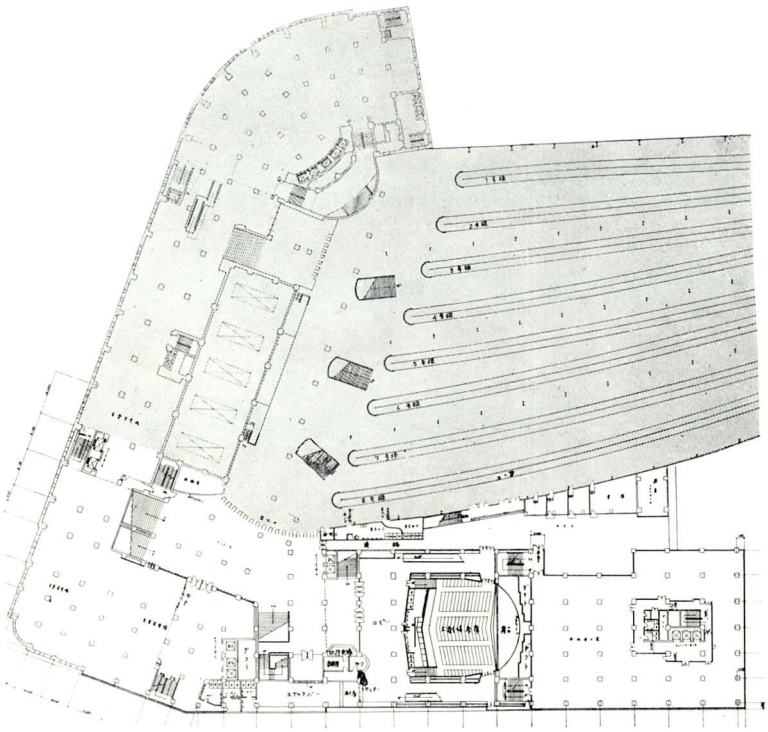


地　1　階

南　海　会　館　　設計：坂倉準三建築研究所　施工：清水建設株式会社



7



2　階　　網目のかかったところは旧館高島屋と南海電鉄プラットホーム。

7. 特別食堂

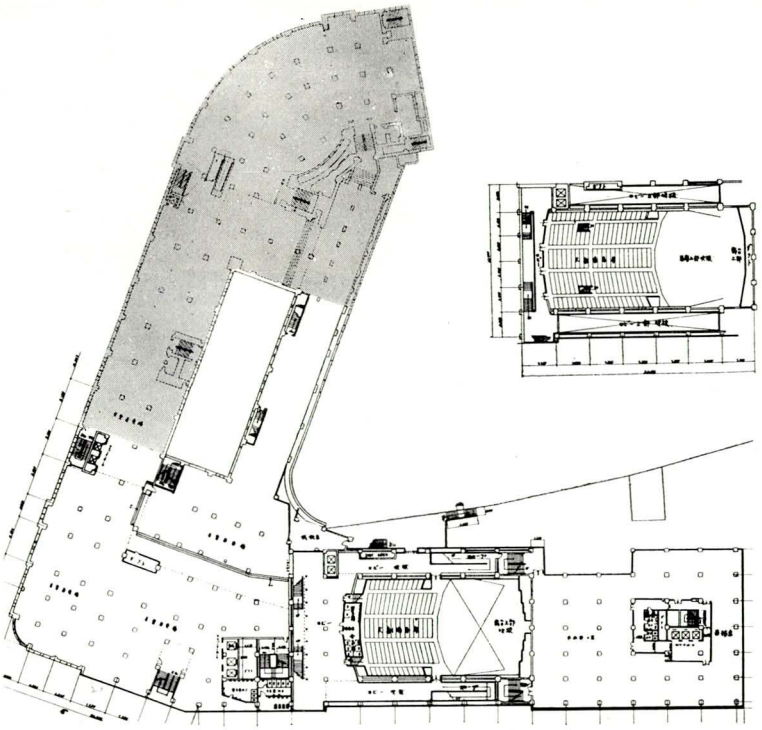
天井・壁：楠練付ベニヤクリヤラッカー仕上
床　　：白プラスタイル（ローズプラスタイル散らし）
家　具：木部クルミ　布：ブルー

8. 大劇場内部

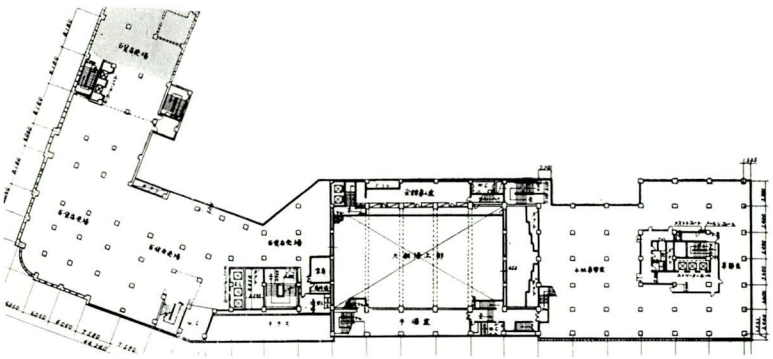
天　井：ホモトーン・クリヤラッカー仕上
壁　　：ウォールナット
床　　：プラスタイル（赤）
通路部分：ラバータイル（赤）

8

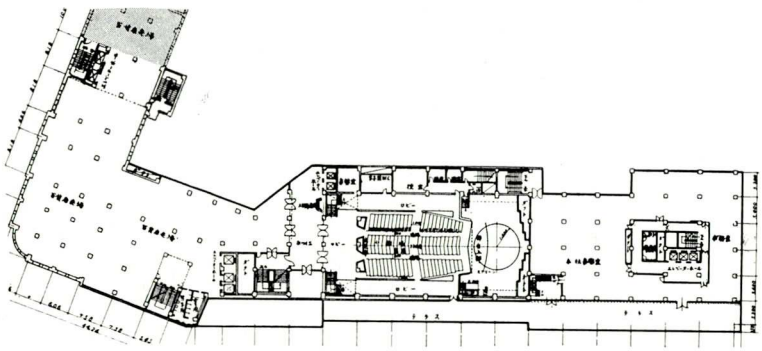




3　階

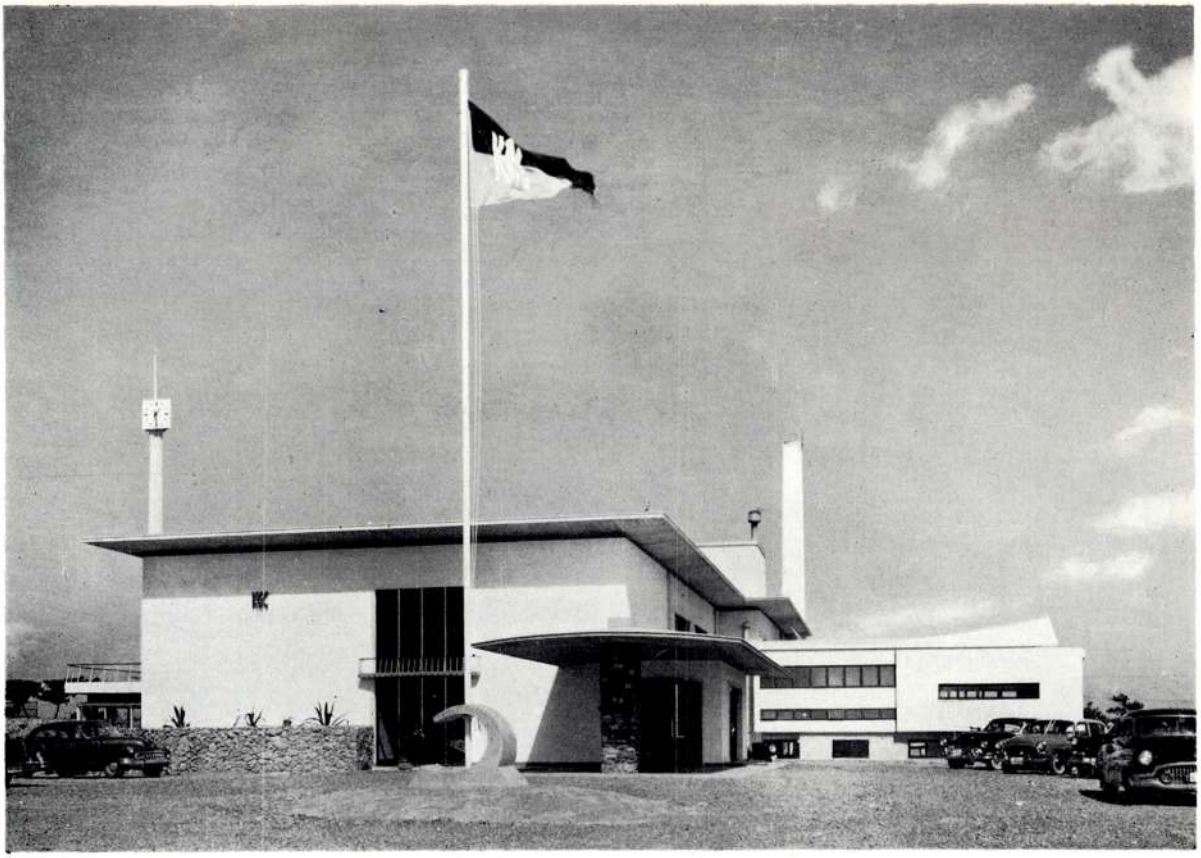


6　階



7　階

南　海　会　館　　設計：坂倉準三建築研究所　　施工：清水建設株式会社



外壁：白色モルタル掻落し仕上，一部粗石積及焼過煉瓦積。庇：コンクリート打放し仕上。
2階　バルコニー及屋上：アスファルト防水四層，モルタル，一部クリンカータイル貼。

古賀ゴルフ・クラブ　　設計・施工：株式会社　竹中工務店





談話室：床：フロアリングブロック　壁：塩地棟刈スティンラッカー，一部泰山タイル貼　天井：ホモラインボード，一部オリエンタルクロス貼

所在地	福岡県粕屋郡古賀町
敷地面積	約20万坪
建築面積	クラブ・ハウス1階 239.47坪
	2階 172.21坪　R階 3.40坪
	計 415.08坪
	附属施設　計 73.00坪
構造	クラブ・ハウス　鉄筋コンクリート造　地上2階　塔屋付
	附属施設　木造　平家建
クラブハウス軒高	7.000m　塔屋最高 9.800m
工期	昭和32年3月5日～9月20日

古賀ゴルフ・クラブ　　設計・施工：株式会社　竹中工務店

談話室より食堂をみる

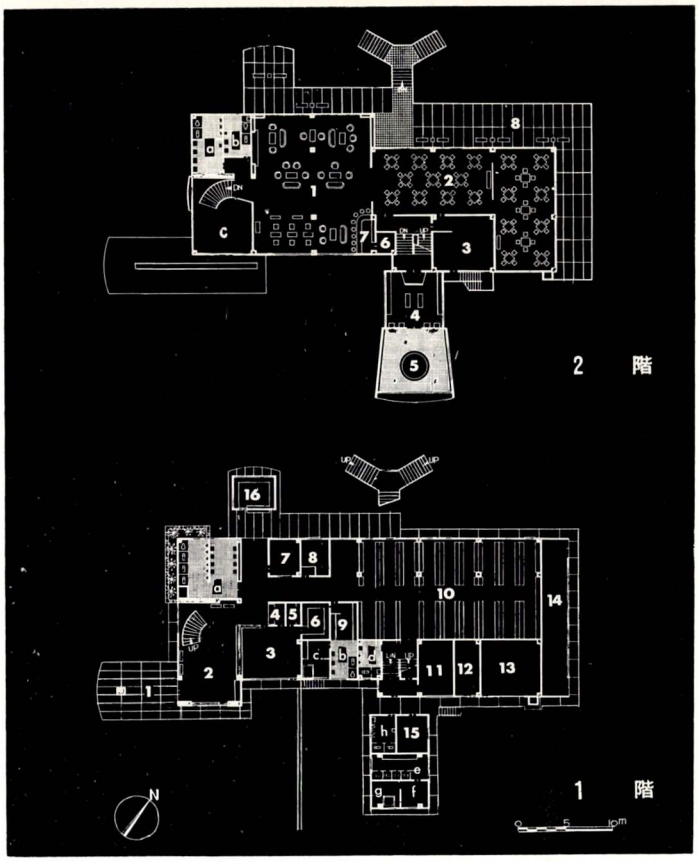


浴室





食堂前露台からアウト一番コースへ



1階： 1. 車寄 2. 玄関広間 3. 事務室
4. 売店 5. 更衣室 6. 書庫 7. プロ控室
8. 宿直休養室 9. 女子用ロッカー 10. 男子用ロッカー
11. 従業員運転手食堂 12. 洗濯乾燥室 13. 機械室
14. キャデー控室 15. 倉庫 16. キャデーマスター室
a. 男子用洗面便所 b. 女子用洗面便所 c. 女子用浴室
d. 浴室付男子用便用 e. キャデー洗面所
f. キャデー脱衣場 g. キャデー浴室
h. 従業員運転手便所

2階： 1. 談話室 2. 食堂 3. 厨房
4. 男子用脱衣室 5. 男子用浴室 6. 倉庫
7. バー 8. バルコニー
a. 男子用洗面便所 b. 女子用洗面便所 c. 吹抜

古賀ゴルフ・クラブ　　設計・施工：株式会社 竹中工務店

玄関ホール



設計に関係して　　岡野寛次

「限られた予算だから，東京あたりに在るような豪奢な物は望みもしないが，最小限プレイを楽しむに支障のないだけの設備を具えた質素な建物を造ってもらいたい。
風呂だけはゆったりした気分で楽しめるようなのが欲しい」。これが建設委員に寄せられた会員の声でした。
会員数1,000名，ロッカー600個を目標とし，将来会員増加のときの拡張を考慮しました。なお会員の宿泊施設あるいはシーサイドホテル併置の案も出ましたが，結局重点的に専念という主旨で平面を要約し，キャデー室，倉庫は将来拡張の日まで仮設で辛棒することになりました。
コースに出ては終日太陽のある限りネバリ抜くプレーヤーも，ハウスでは大変気忙しい。当然玄関で車を降りてから，事務室カウンター，ロッカー室，スターター室を経てコースへ。……競技終って更衣，浴場で一風呂浴びて一休み，階上食堂でビールの乾杯をして，カウンターの支払いの一連の動線は最短コースを要求されることとなります。コースとハウスとの関連ということも重要で，その点では建物位置の選定はよかったといえましょう。
玄海の波濤に岸を洗われる砂丘の起伏をめぐる防火林の中に建っている特殊な環境は雄大な自然美に恵まれていますが，その反面基礎の砂防工事に手を焼き，工事用水の欠乏には悩まされました。

施工者のことば　　安恒利一

施工に当っては，庇その他のコンクリート打放し面積が建築面積の 30% をしめ，外観がラフでかつ，クラブハウス特有の雰囲気を持たせるかは，このコンクリート打の施工技術如何にかかっていると感じておりました。
すでにコンクリート打は高度に技術が進んでおり，型枠材料の内バラ板が均質な材料であることはもちろんでありますが，直射日光が均等に板に当る（太陽光線が平均に当らない場合特に配筋下部は陰影が明瞭にコンクリート面に顕れる）かどうか非常に微細な点が今まで等閑視されておりましたので，この作業場ではビニールレザーを配筋後の型枠に覆ってコンクリートを打ちました。
この結果が直接化粧コンクリート面に顕れ均質で美麗な特有の味を生んだことを嬉しく思っております。なおこのビニールレザーはコンクリート打後の養生材料または建築材料の雨覆となります。

住宅とジャーナリズム

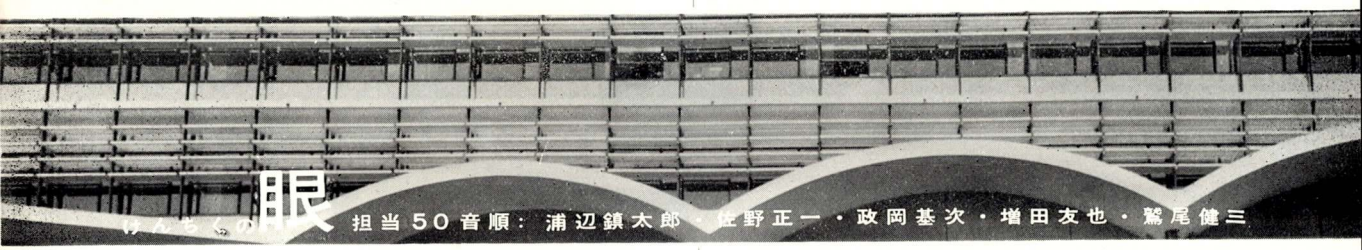
今まで低流しておった「住宅とジャーナリズム」がどこでどう結んだのか，最近は表面に現われてきた。住宅問題の専門家には，的をはずれた姿で多少野合的な感じを与えるであろうが，ジャーナリズムというものが元来そういう性格なのだから住宅までその歪を受けるわけだ。

中央公論に連載中の「花実」（舟橋聖一作）には，かなり気取った建築家が登場して，クライアント夫妻の住宅建設で理論斗争をやったり，妙な色気を出したりする場面がある。それにしても住宅や建築家が成人向小説の主役になることは斯界のために喜ぶべきか悲しむべきか判断は人々の自由である。ただ建築家が「挽歌」以来，少しロマンチックなイメージを与えすぎたことが気になる。経済の専門雑誌に住宅建設が取り上げられるのが本道だと，私には思えるのだが。 (Us)

住宅についての，住宅から来る，住宅のための。

1. どんな家にでも住めるが，
   どんな家にも住めないということ。
2. 住む立場と，住まわせられる立場。
   住まわせられる立場と，住まわせる立場。
   住まわせる立場と，住んでもらう立場。
3. デザインと，家計簿。
   デザインと，夫婦・兄弟喧嘩。
   デザインと，再生産労働力の量。
   デザインと，家族の寿命一家相ではない。—
4. 人間にあわせた住居，
   どんな住居にでもあわせる人間。
5. 屋内気候と，体力消耗と，耐候力と。

(Wk)



安い住宅

日本式の家屋はどう工夫してみても，もうこれ以上安く作れない極点にまで到達している。煉瓦造・石造・コンクリート造と，今まである各種の構造法はそれぞれ長い間かかって無駄のないように発達してきた。それではもうこれ以上価格を切り下げる方法がないかというと必ずしもそうとは限るまい。

(1)新材料・新構造法の発見がまずそれを可能にする一つである。次に，(2)生産方法の改良進歩が挙げられる。しかしこれには，(2a)生産の分野だけで効果が期待できるものの他に，例えば流れ作業による多量生産方式のように，(2b)設計・生産・需要を一体にして考えなければならないものがある。そして最後に，(3)住い方の変更による家の簡素化がある。1室による住いの工夫は昭和の初め頃からドイツで発達していた。タンス・水屋・下駄箱はどこの家庭にもある。小さく仕切った部屋の中で置場に困るより，広い部屋をこれらで都合よく区切ることを考えたい。

(2b)と(3)によるコストダウンはもっと真剣に採り上げられてよい問題である。 (Mm)

春日遅あるいは早

評論家大宅某と早大助教授吉阪某との論争は一寸面白かった。——これは反語である。

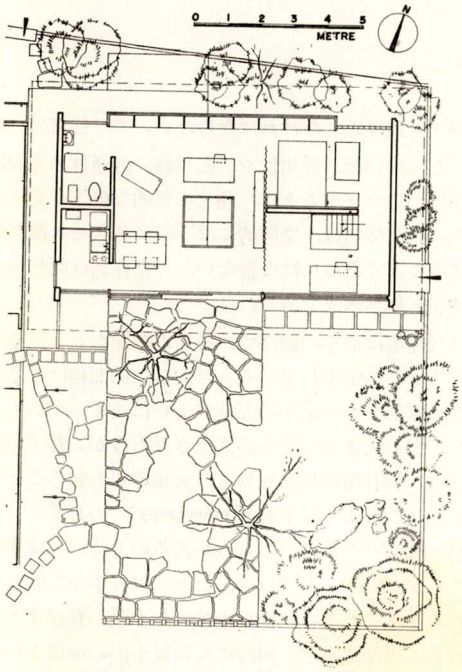
面白いといったのは，ご両人がジャーナリズムのそれぞれの旗頭だということに敬意を表するからのことで，電車の吊皮にぶらさがって，読売の夕刊に何回かにわたってつづけられたそのやりとりが，電車の中でこそ興味をそそったけれども，考えてみれば馬鹿馬鹿しく，愚劣きわまる揚足とりではなかったか。

—昨年の不安感論争につぐ論争として，この論争を建築に対する社会の関心を深め得た貴重なものだと，わかったようなことをいって自己満足している建築ジャーナリズムもある。いやはや大変なことだ。

本当にそうだろうか。私なぞ今の空気を今の状態なりにしか吸えない人間だけれど，ご両所の言い分は一つは古めかしく，一つは新しがりすぎてキザなような，少くとも建築社会の向上にはいずれも関係はないように思うのだが。 (Ss)

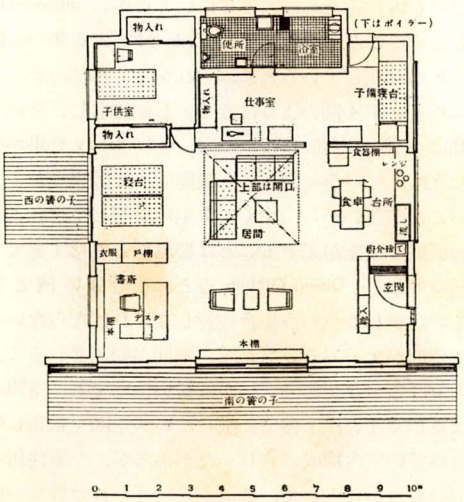
一室住居論

清家清



1. 清家清氏の住宅のプラン

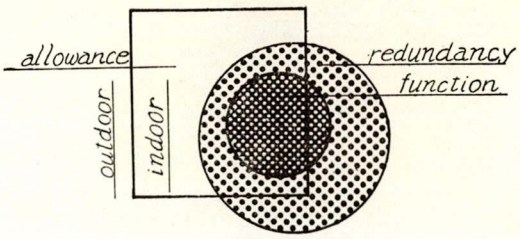
2. 宮城音弥邸のプラン



私達の研究(註 1)によると，いままでの生活様式のままで暮すには約75平方メートルの床面積をもっている家でないと，どこかに無理がおきてくる。しかし，住宅をつくる段になると，工費，税金，その他いわゆる家庭の事情もあるが，どこかでその無理も我慢して，とに角住みたいという欲望と，狭くてもいいからわが家をという理由で，一室住居を建ててみた。一室住居にもそれ相当の大義名分はあるが，それが誰にでも向くというものではない。だいたい無理をして建てたのだから。

人間の行動・考え方・感じ方は十人十色で，こうした個性は気質の相違によるものと信じられている。しかし，こうした気質(註 2)の相違をクレッチマー（Ernst Kretchmer）は分裂気質（Schizothym）と躁鬱気質（Cyclothym）に大別している。その気質分類と平面計画の分類を対応させた私案だが，一室住居は躁鬱気質の人でないと住めないし，逆に分裂気質の人には一室住居が不適当のように思える。

もちろん簡単に分裂気質でない人は躁鬱気質で，躁鬱気質でない人は分裂気質とわり切ってしまうことはできないし，その必要もない。多分に分裂気質だが，躁鬱気質もあるという人や，反対に，多分に躁鬱的だが，幾分分裂的なところもあるという中間型の人がいちばん多い事は論をまたない。分裂気質の人は一般に，内気で，でしゃばらず，ひかえめで，キマジメで，神経質で，従順で，お人よしで，読書などが趣味の人が多い，というようなことはいえても，読書のすきな躁鬱気質の人もいる。だから一概に躁鬱型と分裂型に二大別するのは危険だし，かりに躁鬱型には一室住居がいいと決めても，家族全部にわたって，一室住居がいいともいえない。だ



3.

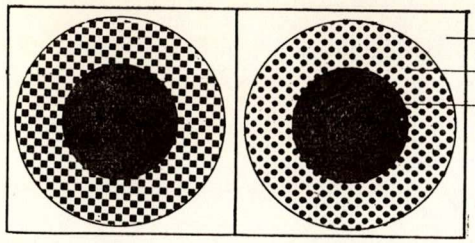
が，夫婦そろって躁鬱型の傾向が強いなら，一室住居，Living-Dining，Dining-Kitchen，multipurpose というような多用性のある空間組織が気に入るだろうということはいえる。

私個人のことを述べて恐縮だが，どちらかといえば，私は躁型の躁鬱気質で，妻は鬱型の躁鬱気質である。したがって，子供も躁鬱気質のようだ。だから，私の住宅(註3)は一室だが，みんな気に入って暮している。建築費がたりないことが最大の原因だが，ただ何としても50平方メートルという面積は狭すぎる。庭を住宅の一部分と考えて，子供達は主に戸外で遊ばせて，室内の狭さを緩和している。庭と屋内もできるだけ一体の空間をつくれるように南側には壁がない。戸外の居間というべきだろう。一室住居はさらに発展して一空間住居といってもよい。室内にいて，戸外の居間で遊ぶ子供達を視ることもできるし，われわれも厳冬と盛夏の二，三週間を除いては，室内と戸外のけじめはつけていない。この室内と戸外のオーヴァラップは宮城音弥氏の住宅(註4)の場合さらに典型的であって，居間の天井が大きく天窓になっていて，晴天の日には，その天窓が全開して，文字どおり青天井となる。またブロック造の住宅としては法規上最大限の開口をもたせて，戸外と室内を結んでいる。

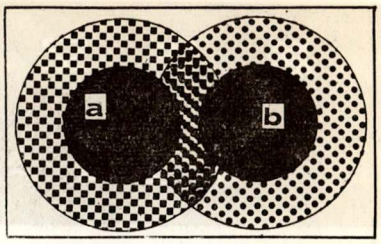
いくらかはお世辞もあろうが，宮城夫妻は，この一室住宅が大変気に入って生活している。設計者にとってもこんなうれしいことはない。ただ教育上の方針で，お嬢さんの室は完全に分離した個室になっている。浴室，便所，ボイラー室などのほかは一室であって，私の設計による上記の住宅へ移転するまえには，在来の日本住宅の障子・フスマを，冬でも全部はずして暮していたのだから，新しい生活方法の開拓者ともいえよう。

このような一室住居は，述べたような気質の問題があるから，誰にでも向くとはいえないし，機能主義以前の機能未分化の一室住居に逆もどりして，生活水準の低下をきたすおそれはある。だから，一室住居は機能主義的な解決を前提としなければならない。(註5) 従来の日本住宅のもっていた，多用性や，転用性，融通性の方向に一室住居がヨロメクことは，住宅の質的な低下を意味している。一室住居は，空間的には一室であっても機能を転用することであってはならない。一室住居は間仕切がない住居と称うべきである。

現代住宅は最小の価格で，最大の機能をもった住宅をつくることが望まれている。だから，床面積にしても，最大の機能をもつ最小の面積がよいに決まっている。しかし，どの大きさが最小の大きさだろうか。荘子のことばだが，皆有用の用を知りて，無用の用を知ること莫しという。このような余剰（redundancy）の必要については別の機会(註6)に述べたことがあるのでここでは簡単に述べるが，いま，ある目的，たとえば食事なら食事という行為をするために必要な面積の最小限が存在することは容易に想像できる。同時にその最小限の面積よりもやや大きい広さの redundancy が必要であって，それとは全く別個に室（room）または場所（space）が存在している。この場合，この室に redundancy を含んだ機能的な空間を容れるためにはさらにいくらかの allowance を必要とすることになる。そこで，かりに，ある2つの機能 a と b が存在しているとき，それを全く別個の室に分けて容れると第4図のようになる。しかしもし，その a，b 2群を一室の空間に容れるなら，redundandy やallowance はお互にオーバラップしても機能的には障害をおよぼさないことが多いから，少くも2室に分割した場合よりも狭い面積で機能が果せることは群論をもちだすまでもなく明かである。Dining-Kitchen などはそのよい例と思われる。しかしこういう場合注意しなければならないのは機能空間がオーバラップして，空間が転用されることは極力避けるべきである。いかに狭い住宅でも，空間の転用は正しくない。小住宅に限らないが空間を転用して融通性の多い室内構成のされかたがあるが，一室住居のひとつのありかたとして，機能別につくられた数室の壁や



4.



5.

扉が透明になって，退化消失したものが，一室住居であってほしい。

もし建築費の都合で極めて面積が狭い家にしか住めないとき，一室住居に耐えられないような分裂気質の人は円αの面積を割愛しても数室に住むことになるかもしれない。こういう悲劇的な例は，小住宅にしばしば発見できる。これは機能主義の退却であって，われわれの採るところではない。

円αは機能を果し得る最小面積であって，1M75cmの身長の人に1M75cm以下の寝台を与えるようなものであって，その面積を缺くことは正しくない。しかも1M75cmの人は本当は2Mの寝台を必要としているのであって，25cmのredundancyは正しくは剰余ではなくて，むしろ必要でさえあることのほうが多い。ただ，分裂気質の人と躁鬱気質の人では redundancy の大きさに差があるようだが，大体 redundancy 自体の定量的な測定がされていないから，いまはどの位の数値をとるのか完全には答えられない。(註7) しかし分裂気質のほうが狭い室でも我慢できるようだ。

また，プライバシーについても一室住居はいろいろな問題をもっているが，日本人の生活習慣の中で，視覚に関してのプライバシーは性的なものを除いて殆んど必要としていない。(註8) したがってわれわれの一室住居が夫婦ないしは性的に極めて未熟な幼児だけで占められている限りでは，視覚的にはほとんど問題でない。むしろ適当な夫婦間の性的な刺戟は好ましいものではなかろうか

またかりにそれが露出過度の行き過ぎになり勝ちならカーテンその他，チョットした遮弊方法はいくらでも可能であろう。従来からの障子・ふすまの間仕切や，舗設（しつらえ）などと称えられてきた居住空間の設定，機能分化の方法は，壁で仕切られた多室住居を一室住居のほうへ軟化させる中間的な方法として，中間気質のひとにおすすめできる。

私の家の場合などはやや極端であろうが，試みとして便所にも扉がない。しかし，便所へ行くことは何も恥しいことではない。覗くことのほうが恥しいのであって，それは扉とは関係はない。また，便所は不浄ではなくて最も衛生的な場所でなければならない。くさいものには蓋をしろではなくて，蓋の要らないくらい清潔にしておくべきものである。扉を開閉するには無駄なエネルギーを必要とする。(註9) この無駄は redundancy ではない。ドアに手をはさまれることも，開け放して叱られることもないから，それだけ考えないで暮せる。

竪穴住居の昔もそうだったろうと思うが，やや，動物的な原始性はあるにしても，一室で親子がゴチャゴチャと住んでいるということは，何ともいえない温かさのあるものだ。一室住居の大きな缺点は雑音（noises）の多いことだが，この noises (註10) それ自体私にとっては，私自身が生きているのだという自覚を与えてくれる点で一室住居に感謝している。

註と併せて見ていただければさらに理解していただけると思う。

註 1 拙稿：住宅の規模について，建築学会研究報告第8号，27号，31号
註 2 宮城音弥：心理学 P-34 岩波書店刊
註 3 私の家 新建築 1957年3月号
註 4 宮城教授の家 新建築 1953年11月号
註 5 足立孝・荒木丘一郎：一室住居における室分化の実態 建築学会研究報告 第30号，31号
註 6 拙稿：装飾，建築雑誌 No.852
註 7 拙稿：住宅の規模について 建築学会研究報告第22号
拙稿：住空間に於ける動作の実験 建築学会研究報告第57号
青木志郎：住宅に於ける行為と空間規模に関する研究，建築学会研究報告第54号
註 8 拙稿：芸術と人間 P-141 中山書店刊
註 9 拙稿 出入口の研究， 科学朝日1955年2月号
註10 池原止才夫訳：サイバネテイツクス P-52，岩波書店刊

（筆者 東京工業大学助教授）

居住空間

平生舜一

▶人類が自然界において優位を保ちながら，外界の影響を最少にとどめ，安定した生活を営むためには，何らかの形で自然に対応できるシエルターが必要となってきます。穴居や竪穴の原始的形態から現代の輝かしい建築に至るまでには，技術的には目まぐるしい進展があり，それはさらに急速な発展を遂げようとしていますが，この底に流れるシエルターとしての本質的な性格は何ら変るところがありません。

▶原始時代のごとくに自給生産および再生産の極く微妙な社会単位—恐らくは最初は一家族系の—から社会機構の発達と膨脹に加えて，機械文明の発達によってシエルターの機能に分化を生ぜしめたこと—いいかえれば初期の多目的的小空間から，近代の社会的空間と個人的空間あるいは，生産と消費の分離などの形態的変化がはっきりしてきたことに留意せねばなりません。

▶人間が継続的に活動し，あるいは休息するところの空間はすべて居住空間と名づけられるわけですが，ここではとくに休息の部分，つまり最も個人的な空間について考えてみたいと思います。

▶最も個人的な空間—居住空間—では，いかにすれば快適な休息が楽しめて，次の活動への原動力を養うことができるかということが重要な問題となってきますが，住宅の各居室はいづれも常にこの目的に完全に添ったものでなければなりません。このためには各方面から綿密な対策が構ぜられねばなりませんが，まず最初に不可欠の条件は生理的解決です。われわれの自律神経を疲労させず，交感神経を刺激するに至らない安定した環境を常に維持することは，最近ではそれほど困難なことがらではなくなってきました。居住空間における温湿度・照明・音響などにおける生理学的要求の大部分は設備工学の発達によって解決の方向に向っております。しかしながら人類の生理的機能を充分に発揮するために要求される技術的解決のみに急であって，心理的分野をおろそかにすることがあってはなりません。ですから複雑な社会生活からの逃避と休息の場であるところの居住空間をわれわれがいかにとらえるか，時代差，地域差，伝統あるいは近代の把握の仕方による心理面への影響などの綿密な分析が必要となってきます。そして結論に近づくためには多くの研究と実験の積重ねを必要とするのですが，これは簡単なことではありません。

▶一体，われわれが，空間を認識する手続としてはどのような方法があるでしょうか。いろいろと考え方はあるでしょうが，一応次のように分類して見ましょう。まづ，空間を面としてとらえて行く見方があります。われわれを取りまくところの空間は，すべて巨大なものから微少なもの，複雑なものから単純な型に至る無数の面の集合によって閉じております。現にわれわれが居住している通常の直方体の部屋は，各々，凸凹や線の錯綜を持った六つの面から成り立っておりますが，もし，それを受入れる人間の感興に適合できるならば，快適な要因の一つとなり，それにそぐわなければ一つの抵抗として，刺戟をあたえる結果となります。面と面との交りによって生じる線，その線と線の交錯，線と面あるいは面と面との対比などによって満たされた空間は，常に何らかの形でわれわれに刺戟をあたえております。

▶古来，わが国においては，面としての空間のとらえ方に積極的な関心を示してきたように思われます。いま，ここに一つの和室を想像いたしましょう。それは茶室でもかまいません。第一の面—床は炉や台目と，畳の縁とのモンドリアン的構成によって，われわれの目を楽しませずにはおきません。第二の面—天井は材料の性質上，整然とした形態となって，リズミカルな快感をあたえます。第三の面—壁は，床廻りの構成，土壁と襖との対比などの変化のある幾何学的構成を形造ります。とくに紙障子や窓の光る面—語り掛ける壁と，土壁などの暗黒の面—沈黙の壁との対決，これにデリケートな木割によって定められた線条がまつわりついて，部分的には劇的構成があるにせよ，全体としては，安定した快よさを感じさせて，これらの面によって閉ぢた空間は，結果的には静的な瞑想的空間を構成しているのです。

▶次に色彩としてのとらえ方が考えられます。前述の，面の各々において，材料そのものの色が作用して，さらに複雑な変化をあらわす事実とは別に，ごく単純な型の空間でも，それを彩る色あるいは色と色との対比のみによってわれわれの感興をゆさぶることができるのです。イタリーなど南欧の住宅に見られるように，空間自体は単純な構成であるにもかかわらず，壁によって変化のある色を用いたり，目立たない色の壁の一部に明度や色相

の激しい色を用いて，ドラマチックな効果をあげていることがあります。これなどは，線や面に頼らず，色彩のみによってでもその空間のあらわす性格をとらえ得る可能性を示しています。しかし色彩といっても，面に着色されたもののみによるとは限りません。空間を彩るところの，明暗，つまり光と陰，火と暗黒などもこの範囲に含めることができます。開口部と床面積の関係によってもたらされる明暗の変化，それにまつわる情緒，あるいは，暖冷房完備の現状に至ってもなお姿を消さぬ，マントルピースやイロリに燃える炎の色，それを取り巻く雰囲気一かってコルビュジエも言及したことがありますが炎の色は，われわれの持つ原始時代へのノスタルジアだけではなく，それを包む環を想い起し，結果的には火を中心とした空間を平和な雰囲気で満すことができるのです。

▶次に考えられることは，前の面と色とで構成された空間をヴォリユームの面からとらえることです。大は広々とした天井の高い大邸宅の居室から，小は台目の茶室に至るまでの各々の段階において，空間のヴォリユームがわれわれに与える効果は無視することができません。とくにヴォリユームを決定する要素である巾・奥行・高さの各々において示される僅かな相異が，われわれの空間の感じ取り方に微妙な変化をもたらします。居住空間はわれわれの生活自体が複雑なため形態的にも機能的にも変則的な型を取り，単純な型となることはほとんどありませんが，このようなために生ずる空間の凸凹のための各部のヴォリユームの対比によって，思わぬ楽しさを発見することは稀ではありません。たとえば，広大な居間の一部にうがたれた楽しいアルコーブや，吹抜のホールや，居間などに面してとられた小室などの魅力ある空間は，居住空間におけるヴォリユームの対比の技巧といえるのではないかと思うのです。

▶最後に空間のひろがりを意識しながら限定された空間をとらえる方法です。一つの空間のまわりに数多くの空間が隣接しており，その外周にも無限のひろがりがあると考えることによって，中心の小空間を肯定するわけです。このひろがりの中心にある空間は，それが廻りの空間に隣接していることを確認できるような総ガラス張りの，たとえば，ローエのファンズウォース邸のような型式をとる場合があり，これほど極端でなくてもわれわれは常に開口部の存在を通じて空間のひろがりを感じ取っているのですが，逆にわれわれの属する空間を閉鎖的なものとして取りあつかい，その閉鎖した壁の存在を通じて空間のひろがりを感じ取り，そのことによって同時に中心の閉鎖的空間を肯定する一たとえばわが国の茶室，あるいは最近発表された，吉阪助教授の近藤邸などの場合に見られる考え方です。このような効果は，居住空間を単独のものとせず，種々連続することによって，より顕著に示すことができます。中国の住宅や，わが国の農家に見られる配置計画は，解放的な居住空間を庭を中心に連続して全体を外部のひろがりに対して閉鎖的にあつかっており，全く開放的な種類の住宅に対してまた別の快適な空間を形成しているようです。現代では，ルドフスキーの一連の平面計画などはこれに属するものといえましょう。

▶以上のように四つの手続きによって，われわれは空間を認識することができると考えられるのですが，実際はそれほど単純なものではなく，居住空間はこれらの微妙な複合によって性格つけられており，時代や，社会機構あるいは地域差，さらに歴史的伝統など，あらゆる観点において人間と空間の性格が一致を示したときに快適なものとなるわけです。時代色，地域差あるいは，伝統などの条件は，上記のとらえ方の範囲において，完全に表現することができ，そしてその種々の表現には，適当な変化と動き，調和と統一が保たれていなければならぬことは，それが，快よい構成を形造る以上当然のことです。このような点を意識しながら計画された場合，それが完全な設備計画を伴うならば，最も快適な居住空間を造り出すことも夢ではありません。その様相は必ずしも一つの決定的な構成に収斂するとは考えられませんが……。

▶私はここで，居住空間の構成に関して，具体的な方法論を展開するつもりはありませんでした。ただ，空間のとらえ方を追求し，分析することが，方法論以前に存在する重要な問題であるとして，ここに一つの問題の提起を試みたわけです。

（筆者　KK竹中工務店設計部）

寸法について

西　沢　文　隆

はじめに与えられた表題の下に現今世界中で検討されている Module について，一応整理し，私自身の使っている Module も整理してみようと思う。ただ思うように時間がとれず走り書に終ってしまったことを残念に思います。

1. 尺貫法の廃止について

大宝会以来，長らくわが国民に親まれてきた尺貫法はヤードポンド法（明治42年採用）とともに本年12月末を以って廃止され，メートル法一本になる。メートル法は明治24年，計量単位の合理化，単純化を目指して国際的に締結されたメートル条約に加盟して採用され，大正10年の度量衡法改正により，10年の裕余期間を置いて，メートル法一本にすることになり，学校教育を昭和の初めよりメートル法一本に切り換えられ，もう一歩というところで国粋主義者達の反対を受け，昭和９年および14年の２回にわたり裕余期間が伸されたが，昭和26年６月の計量法によりその最終期限が昭和33年末と定められた。

元来メートル法はフランス革命の落し子で，極から赤道までの子午線距離の10^{-7}倍という尺度で造った体系で尺や呎のように人間的な尺度とは何等の結びつきがない。ここに何等かの補助的な人間的な相対単位が必要となってくる。（わが国の尺貫法は呎ポンド法の十二進法なのとは異り十進法でできている点便利であるが，残念ながら国際性に乏しい）　正にモデュラーコオーディネーション（Modular Coordination）を真剣に考えねばならぬ時に至っている。

2. モデュラーコオーディネーション (Modular Coordination)

戦後，住宅問題は各国ともに深刻に考慮すべき問題となり，世界中の建築家達も大いにこの問題に関心を寄せている。いかにして建築を早く経済的に造るかという問題はすでに戦時中から大いに緊急事として考えられ，建築を工業化し（現場で切捨てられる半端をなくし），また設計を合理化し，簡易化し，美化するためには，建築を一つの数のシステムの上に乗せることが必要であることが痛感され，モデュラーコオーディネーションが大きくクローズアップされてきたわけで，戦時中発案されたル・コルビジュエ（Le Corbusier）のモデュロール（Modulor）が戦後はなばなしくデビューして世界の建築界に大ショックを与えたのもさることながら，ヨーロッパでは共産ブロックに対抗せんとして生れた，西ヨーロッパを打って一丸とする欧洲経済協力機構（OEEC）の下部機関として，1953年5月EPA（欧洲生産性本部）が生れ，その建築部（Building Section）として，オーストリア，ベルギー，デンマーク，フランス，ドイツ，ギリシャ，イタリー，オランダ，ノルウェー，スウェーデン，イギリスの建築家に，アメリカ，カナダの建築家が加わり，この問題につきお互に各国の意見および各国の現行モデュールを持ち寄って真剣に討論している。しかし，いまだ最後の結論にはほど遠いものがある。もし，これが本当に結実をみれば欧洲経済協力圏は申すにおよばず，世界的に大きな影響を与えることとなろう。

EPA1955年8月のミュンヘン決議で積極的に定ったことは「基本モデュールとしては，10cm または4inchを撰ぶこと，その分数倍（たとえば½，¼等）は許される」という程度で，10cm モデュールに対してドイツのオクタメーターにおける 12.5cm モデュールも認められている。

この問題はEPAが組織される以前から，欧米では大いに検討され，アメリカでは1936年のアルバート・ベミス（Albert F. Bemis）の立体的モデュール法（Cubical mo-

dular method）にはじまり，現在では宣伝の段階はすでに終り1940年からすでに製品の寸法転換の行われている段階にはいっている。英国もこれに近い状態で，ドイツではすでに戦争寸前に，オクタメーター法（Octameter System）がエルンスト・ノイフエルトにより創られてレンガ寸法とメーター法との調和を計りちょうど明治24年に尺をメーターのラウンドナンバーに切り換えたように——しかしこの場合はアメリカのModular Coordinationのように物指でなく古来の煉瓦 Reichs Format をメーター法に準じて大さを造り変えて，モデユールの基準とした。これによって，1m250 のグリットプランニング（Grid planing）が実施されている。

またソヴィエットでは10cmを基準とし，プラン40cm，断面30cmを単位として，その何倍かで建物の種類規模に応じて細かく規定を設けて決定している。

日本においては戦後，若い建築家達が熱心に住宅問題を採り上げるようになり，モデユールについては若い若干の建築家が研究をつづけている程度で，1955年はじめて池辺陽，池田武邦，大谷幸夫，内田祥哉，川上玄その他の人々が集って「モデユール研究会」を作った。1956年末，日本建築学会に特別委員会が作られて綜合的な対策が検討されているほか，1957年1月に入って日本住宅公団が，モデュラーコオーディネーションを課題として採り上げ，日本規格協会を通じて「モデユール研究会」に委託したところで，いまだ積極的に国家的なさらに国際的な動きにまで発展はしていない。若い建築家の中でことに頑張っている池辺陽氏は，独自の立場に立って人間の体から寸法の追求をし，倍数からなる思わしいModuleを造ろうとしておられる。

附表1　尺度の変遷表

比例	標準長	名称	曲尺換算寸法	メートル換算寸法	備考
0.64	曲6寸4分	御府周局菊ざし	0.640	194.0mm	
$0.64\times\frac{5}{4}=0.8$	曲 8寸	文尺	0.800	242.5mm	叡山尺，高野山尺，大安寺尺等この部類に入る
0.8+0.1+0.9	曲 9寸	住吉尺	0.900	276.8mm	
$0.8\times\frac{5}{4}=1$	曲 1尺	曲尺	1.000	303.0*	* 明治24年制定江戸時代に大体確定した寸法に近い値でメートル法に合せて造り変えられた尺
		正倉院牙尺	1.000	395.0 ** 310.0 三種 300.0	** 大宝令制度（小尺）
		享保尺	1.000	303.66	
		鉄又四郎尺	1.000	302.37	
		折衷尺	1.000	303.05	
$1\times\frac{12}{10}=1.2$	曲1尺2寸	高麗尺			大宝令（大尺）大宝以前の寸法法
$1\times\frac{5}{4}=1.25$	曲 1尺2寸5分	鯨尺	1.250	380.00	法隆寺等はこの尺度
$1.2\times\frac{5}{4}=1.5$	曲1尺5寸	* 正倉院木尺	1.500	445.00	
$1.5\times\frac{12}{10}=1.8$	曲1尺8寸	* 朝鮮布尺	1.8625		* 渡来品

支那との交流のある以前は　握拳（ツカ）四指の広さ
呎尺（タ）拇指と中指の伸長巾
尋　（ヒロ）両臂を広げた長さ
等の関体的な原始的呼名が用いられた

附表2　EPAでサイズ基準として選ばれた数値表

1
2　5　3
4　10　6　15　9
8　20　12　30　18　45　27
16　40　24　60　36　90　54　135　81
32　80　48　120　72　180　108　270　162　405　243

上の数値表に10cmのモデユールを適用して得たサイズ表

10
20　50　30
40　100　60　150　90
80　200　120　300　180　450　270
160　400　240　600　360　900　540　1350　810
320　800　480　1200　720　1800　1080　2700　1620　4050　2430 cm

上の数値表に4インチのモデユールを適用して得たサイズ表

4
8　20　12
16　40　24　60　36
32　80　48　120　72　180　108
64　160　96　240　144　360　216　540　324
128　320　192　480　288　720　432　1080　648　1620　972 inch

附表3　各国の規格寸法の規準

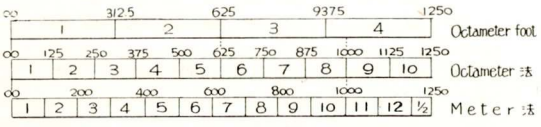
ドイツ	12.5cm (5inch) (Octameter system)	(1949年制定)
スエーデン	10cm	(1952 〃)
ノルウエー	10cm	(1953 〃)
ベルギー	10cm	(1948 〃)
イタリー	10cm	(1949 〃)
フランス	4inch	(1945 〃)
アメリカ	10cm, 5cm, 2.5cm	(1942 〃)
ソヴィエット	10cm	

附表 4　各国の実用されている標準モデユール

	サイズ	備考
ドイツ	62.5cm (24inches) 1M250 *1	*1住宅のgrid plan
オーストリア	1M000 (40inches)	
デンマーク	60cm (24inches)	
スエーデン	10cm (4inch) 20cm (8inches)	個人住宅，住宅建築研究会社の AB,Bostods forsking によつて展開された Element System
ノルウエー	60cm (24inches)	Modern Framehouses
プント方式	1M000 (40inches)	①柱 system 1′-8″ の格子目を造り格子の中央に柱を建てる ②耐力パネル system
アメリカ	4inch	国連ビル事務局 span 4′-0″×7 section 12′- 0″(階高)＝2′-6″(窓下)＋8′-0″(窓高)＋1′-6″(窓上端より床まで)＝9′-6″ (天井高)＋2′-6″ (天井フトコロ)
ソビイエツト	水平方向 40cm*2 垂直方向 30cm*3	*2 span 2M400,2M800,3M200, 3M600,4M000,4M400 *3 階高 3M300,3M600, 3M900 階段蹴上げ 30cm/2

附表 5　オクタメーター法 (Octameter System)

古い煉瓦寸法 Reichs Format 250×120×65mm，目地水平方向10mm，垂直方向 12mmをDIN規格240×115×52mm，目地両方向共10mmに 変更する事により仕上り 寸法目地共 長手方向250，短手方向2枚で250，厚さ方向2枚で125(＝250/2)とし，これを基準として1M000を8等分することによりメーター法とも関聯づけた。



3. モデユロール (Modulor) について

コルビジュエのモデュロールは，初期のころから盛んに活用し研究し続けていた黄金分割(Sectiond'or)が2m260(人間が手を上げた高さと仮定)を基準寸法として，フィボナチ級数(Série Fibonacci)に展開したものである。この場合人間の身長は 1m830と考えられる。彼は人間の種々な動作を画き，モデュロールにぴたりあっている説明を盛んにしているが，人間の寸法は各個人で異ることであり，そのように細かく結びつけることはどうかと思われるが，それはむしろ，いままでの長い苦斗と経験から割り出された一つの美くしい，〝人間的な〟数列であると思われる。彼自身も必ずしも 1m829を固執せず，1m650を基準寸法としている場合もある。寸法を心々にとって行くことは厳密な彼の主張には合わないし，内法寸法でとって行けば必ず比例が崩れて了う。青組の方は二等分して赤組になるが，三等分，四等分となるとできない，等々いろいろ不便はあるが，黄金分割が基本になっているため，公差 0.618 の等差級数であると同時に公比 1.618 の等比級数をも兼ねているところに強味がある。

わが国でも大いに興味をもって検討され，若い建築家達に利用されている。下記にその二三の例をあげる。

I 池田武邦氏の場合

①某銀行独身寮　日本人の尺度として 1m828の代りに 1m 700を取り，Modulorを造る。round number に直して

R.15,24.36,60,100,250,400,650,1.050,1.700,2.750, 4.450,7.200

B.30, 45, 75, 120, 200, 300, 500, 800, 1.300, 2.100, 3.400,5.500,8.900,14.40

②黒組系列の発見　その後コルビジュエの赤，青両組のそれぞれ相隣る値を黄金比に分けた点をとり，黒組と命名して赤，青，黒の三組を使っている。

これらはそれぞれいづれもCor.の赤組，青組の加減からなっている。

Ⅱ丹下氏の場合 ① 1m829の代りに場合に応じて椅子配置，その他から基準寸法を決定して Modulor を造る。

広島平和記念館　1m650

外務省計画案　1m800

東京都庁舎　1m624

②Modulorをやめて単なるフィボナチ級数にする。

基本単位.150

国会図書館案および香川県庁舎

R. .150, .300, .450, .750, 1.200, 1.950, 3.150, 5.150

B. .300, .600, .950, 1.500, 2.400, 3.900, 6.300, 10.200

2尺×3尺，3尺×6尺，4尺×8尺等の日本の工場生産品を使う場合。① の方では相当無駄が出るので造ったもの。

Ⅲ小生の場合

①先にも述べた理由から Le Corbusier の Modulor を日本人に合わないとも考えていない。目下のところまだ検討中であるが，それほど不都合なく利用している。（松下邸）

②ただ日本間の多い間取りの場合には畳の寸法によって規定されるので，3尺15(.955)，6尺30 (1m910) を基本とする Modulor を造ってみた。（下表の表Aを参照）

これは内法で寸法を取って行くつもりで造ったものであるが，日本流にいって一間半，二間によって柱間心々の寸法を倍数関係にした方がどうもさっぱりするので，心々3尺2寸5分 (m985)〔1間＝6尺5寸 (1m970)〕のGridで設計している。この場合柱を3寸5分に押えると畳は巾2間で3尺1寸8分 (m964)，1間半で3尺1寸3分(m948) で，京間畳の 3尺1寸5分 (m955) に非常に近い。

垂直方向に対してもまだこの Module を使っているわけではない。むしろ人間寸法の Minimum の追求の結果として表Aに近似の寸法が自然に生れてきている。同じく Minimum を追求した茶室の寸法を統合してみると，それぞれの寸法の平均値として表A に近い寸法が出てくる。

床高 1′50 (m450)	ニジリ口高 / 床巾 } 2′40 (m730)	給仕口 3′90 (m590)
火灯口 5′10 (1m545)	天井高 6′30 (1m910)	等々

小生の場合，下表の表 B のような寸法を採用している。

要するに Minimum 寸法を追いつめているが，まだ探索中で結論にまで達していない。

これらの寸法は設計者の感覚も働けば，施主の肉体的・感覚的スケールも無視できないが，ある程度の値まではしぼれてくるものと思われる。ただ工業生産品との寸法差をいかにして解決するかは大きい問題である。

（筆者　坂倉準三建築研究所大阪出張所）

表 A

R.	尺 .07	.11⁵	.18⁵	.30	.45	.75	1.20	1.95	3.15	5.10 尺	
	m .021	.035	.056	.091	.136	.227	.365	.590	.955	1m545 m	
B.	尺 .04	.09	.13	.22	.55	.60	.90	1.50	2.40	3.90	6.30尺
	m .0121	.0273	.0395	.067	.166	.182	.273	.450	.730	1m180	1m910m

表 B

（この表のそれぞれの高さが対応しているのではない）

床高	内法高		天井高	作業台	同左物入下端
	出入口	窓			
1m560(5′15)	2m000(6′60)	敷居高 ＋ 内法	2m260 (7′50)	.820 (2′70)	1m545 (5′10)
.965(3′20)	1m830(6′05)	1m400 (4′65)＋.470 (1′43)	2m182 (7′20)	.760 (2′50)	1m360 (4′50)
.575(1′90)	1m820(6′00)	1m000(3′30)＋1m000(3′30)	2m121 (7′00)		1m250 (4′125)
.530(1′75)	1m770(5′85)	.875(2′90)＋ .670(2′20)	1m910 (6′30)		1m130 (3′73)
.515(1′70)	1m560(5′15)	.870(2′87)＋ .950(3′13)			1m060 (3′50)
.430(1′40)	1m545(5′10)	.758(2′50)＋ .787(2′60)			

勝手口不要論

光安義光

勝手口は不要ではないか——とある小住宅談議の席で口を滑らしたのを原稿に書けといわれたのですが，深い理論がある訳でもない。茶話だと聞いて頂ければ有難い。

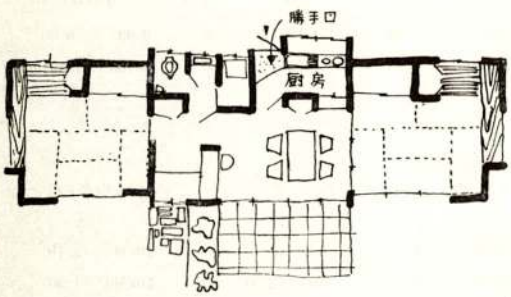
▶小住宅とは？その内容である人員構成などを決めなければならないが，今までの幾つかの住宅懸賞規定とか公営住宅設計規準，また私自身の接したものからいえることは，夫婦２人，子供（幼児）2〜3人，その他1〜2人で合計5〜7人で構成される最小限住宅を指して呼称しているようである。

次に１人当りの坪数であるが，私の調べた資料とか，公営住宅基準等，あるいは構成人員の必要面積から逆算し考えると，3〜4坪/1人当りということになる。それで小住宅とは人員5〜7人で，15〜20〜28坪位を指すといえそうである。

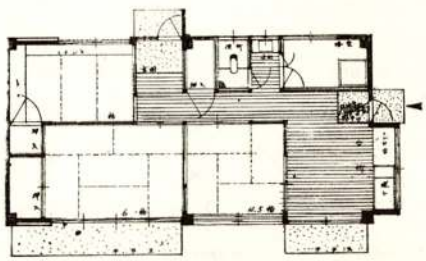
▶生活方式が次第に変り，コアーシステム・スナックバー・リビングキッチン方式が水道，ガスを使用できる都会的住み方として拡められている。そのために厨房の住宅内での位置は非常に重要である。

さて15坪位の住宅の中では玄関，居室（居間・応接等）と便所，浴室，厨房は全く隣接しているために，厨房に設けられた勝手口から他の出入口までの距離は甚だ近いところにある。

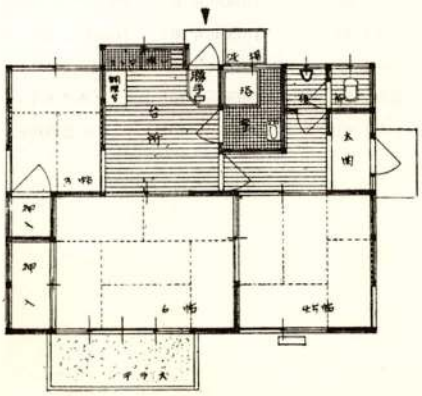
いい換えると，勝手口は他の出入の用を足す玄関とか縁側口とかと共通できるわけで，不要ではあるまいか？



1



2



3

A. 勝手口のある住宅の例

1. 加倉井昭夫案 ……15坪
（建築スタイルブック2.小住宅より）
2. 兵庫県住宅課案…16.58坪（鉄筋）
3. 兵庫県住宅課案…13.52坪（木造）

これが第1の理由である。

▶小住宅の厨房の面積であるが，建築家日記によれば1～1.5坪を必要としている。これは公営住宅規準とか1人の気積から，あるいは懸賞作品，市中の建物等から見ても判断でき，うなづける。

この中に厨房と外部との連絡口として勝手口を設ける時は最小面積として3尺角で 0.25坪を占有する。換言すれば，厨房面積に対して勝手口土間面積は¼～⅙の割合であり，全建物面積15坪とすると，その17%で工費的にも，面積的にも非常なロスであるといわねばならない。

厨房で働く1人の人間の面積は1～1.5坪が最も行動半径を小さく，労力を省き得ることは確認されている。今このことを裏返せば，6尺×6尺か6尺×9尺であって，作業台を2尺巾とすれば残り巾4尺は作業路で適当である。それで厨房における作業線は6尺～9尺を知る。

今この部分から3尺の勝手口を取除かれることは50%～33%減の作業線を表わし，作業能率の低下はあまりに明瞭である。これを勝手口不要の第2理由とする。

▶玄関における出入の頻度を5人の家族について見ると16回以上であると推察できる。

主人少くとも2回，子供達4回×3＝12回，主婦4回で出勤登下校，遊び，見送，買い出し等と動くわけである。次に縁側からの出入は遊び，乾物，日光浴等考えても10回は行われるであろう。以上は使用出入の頻度数であって実際はこれ以上の回数に違いない。

勝手口は主婦1人専用出入口であって，買い出しか，洗濯物乾し位に利用され，6回位だと推量する。

主婦の出入の仕方は玄関とか縁側等からの仕方に切替えても動線なり作業線を邪魔することにはならない。

あるいは，浴室・洗面所・更衣室等の出入頻度の少い所と共通にしても差支えは起らないわけである。上記の6回以下の頻度は共用として収約し，10回以上の頻度になるように纏めた Plan と利用が合理的である。

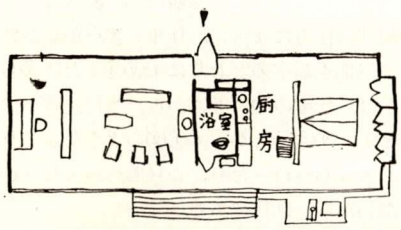
これが直接勝手口を消去するか，あるいは頻度の10回以上の平均化を計る Plan によって勝手口をなくそうとする第3の理由である。

私どもは小住宅の心臓部ともいうべき厨房が衛生的，快的，能率的で共通の場であり，僅かに1～1.5坪に納められている状態を知ればなおさら，勝手口土間の不要をいいたくなるわけである。

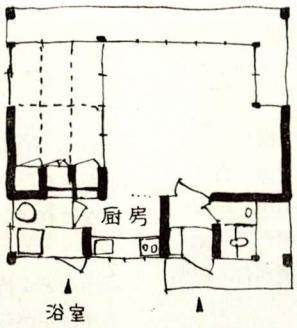
A 項は勝手口のある例。 3案
B 項は勝手口のない例。 3案，写真2葉

追而，私の都合のよいように無断で使用しました平面はその作家に対し心から謝意を表します。

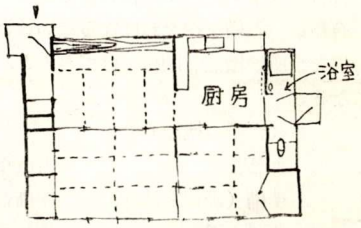
（筆者　兵庫県営繕課）



4



5

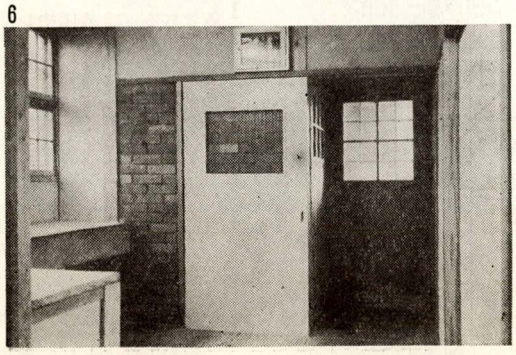


7

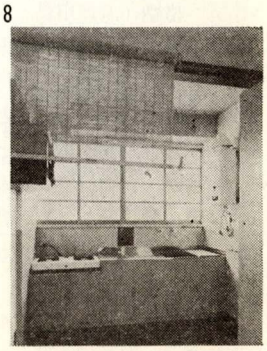
B. 勝手口なし住宅の例

4.牧さんの家……RIA設計
（新建築29年11月号より）
5.井村邸……光安義光設計
10坪
（新住宅11—12月号より）
6.同上　内部写真
7.公舎……光安・山田設計
12坪（新住宅11—8より）
8.同上　内部写真

6

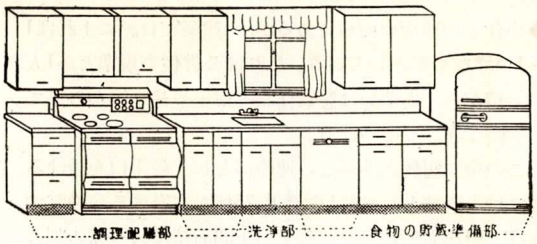


8



台所設備の配置

竹　内　さ　く



1図 台所設備配置図（米国Westing House家政研究所印刷物より）

1

台所設備をいう前に，台所の仕事について考えてみたい。

台所仕事
- 食事の用意
  - 調理の準備
    - 材料を出す
    - 洗う
    - 切る
  - 調　理
  - 盛りつけ，配膳
- 食事の後片付
  - 食器洗い
  - 食器の整理，格納

台所はまず，食物の材料と，調理に必要な器具を取り出して，食べられるように調理し，それを食器に盛りつけて，食卓に出すまでの仕事が完全に行われねばならない。それから食べ終つたら，汚れた食器を集めて，これを綺麗に洗い，そして元通り戸棚などのそれぞれの場所に納めねばならない。これが台所の仕事である。そして私達はいつも，この仕事が，完全に，早く，良く，楽にできることを希っている。

2

台所の仕事が完全に遂行されるためには，台所はそれに適わしい設備を持たねばならないことは当然で，その設備を台所の機能と関係づけてみると，次のようなことになる。

（台所の機能）	（設備）
食品貯蔵	冷蔵車，戸棚，引出
準備（調理と洗浄）	準備台，引出，戸棚
洗　浄	流し，両脇台，戸棚
調　理	レンヂ，調理台，戸棚
配　膳	配膳台
格納（調理用具，食器）	食器戸棚，引出

要するに台所に必要な設備は，流し，レンヂ，冷蔵庫作業台，物入，であって，作業台は狭いより広い方が仕事がしやすく，流しの両脇と，配膳用として別個にもう一ケ所，都合三ケ所あることが望ましい。また物入はその内容物が，食物材料（魚肉，野菜，米，罐詰，乾物，卵，飲料，調味料など），調理器具，洗い桶から，たわし，石鹸に到るまで，大きさも，質も，用途も，全く千差万別，種々様々であるから，分量が充分ある上に，大きさにも位置にも充分の考慮が払われねばならない。物入れは総じてただの棚や出窓のように，陳列式の台にしないで，戸のついた戸棚とした方が，衛生的で，かつ，垢抜けする。

3

さて，いよいよ本論に入って，これらの設備を，どのように並べたら仕事がしやすいか。食事の用意にも，汚れものを洗うにも，どう配置したら無駄な労力を省くことができるかである。およそ配置については歩く距離の短いことを求むべきはいうまでもない。

また設備は，一つの流しが食物を洗うためにも，食器を洗うためにも使われ，同じ台が準備にも，調理にも，食器置きにも役に立ち得るのであるから，少々引くるめて，大まかにまとめて考えた方が都合がよい。そこで大まかに次の三つに分けてみる。

① 食物の貯蔵と準備部	冷蔵庫，戸棚，引出，準備台
② 洗　浄　部	流し，両わき台，戸棚
③ 調理と配膳部	レンヂ，調理台，引出 食器戸棚，配膳台

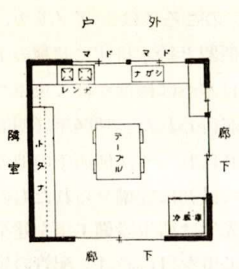
この三部の配列の仕方によって，仕事の歩行距離が異ってくる。この三部を数字のとおりに①②③または③②①に並べるならば，仕事の順に並ぶから，歩行距離が少いが，①③②とか，②③①とか，③①②のような並べ方をするならば，あっちへ行ったり，こっちへ返ったりしなければならないから，駄目である。

ところで普通人（右手きき）は，右手に庖丁，箸，拭巾などを持ち，鍋，皿，食品などは左手に持つから，仕事は左から右に移るよりは，右から左に移る方が自然で楽である。冷蔵庫やレンヂの扉も，この自然の原理にもとづいてできているから，右より左（←）への配置ならば，スムースに使えるが，その逆（→）になると，ギクシャクする。だから家具の配置は次のようにすることをまず原則とすべきである。

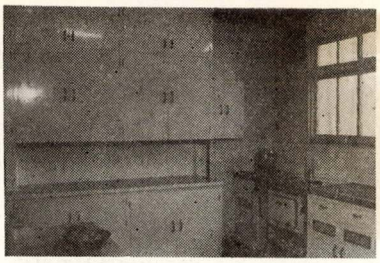
③ ← ② ← ①

調理・配膳部　洗浄部　食物の貯蔵・準備部

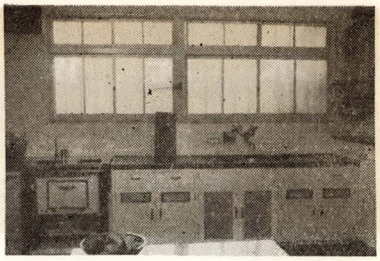
そしてもし，風呂の炊口とか，出入口などの関係で，どうしてもこのように配置でき難い場合は，止むを得ず第二段の方法として，その逆の①→②→③にするのであ



2図　T家台所平面図



T家の台所（左）



同（右）

る。しかしこれは全く止むを得ざる時の方法であって，でき得る限り第一原則を守る方がよい。そうでないと手勝手も悪く，電気冷蔵庫やレンヂの扉の開閉にも調子が悪い。

1図は米国 Westing House 電機会社家政研究所発行の印刷物から写したものであるが，この原則通りの配置である。但し日本の場合は，一般的に食器の所有量が多いから，左端の食器棚はもっと広くないと間に合わない。**2図**と二つの写真は，神戸岡本のT家の台所で，原則配置である。

4

次は設備の配置よりくる台所の型について一言しよう。1図のように一本に並べれば，一文字型台所となり一ケ所折れればL字型，二ケ所折れればコの字型，二部に分って離せば二の字型，背中合せにくっつければアイランド型などになる。（**3図**）

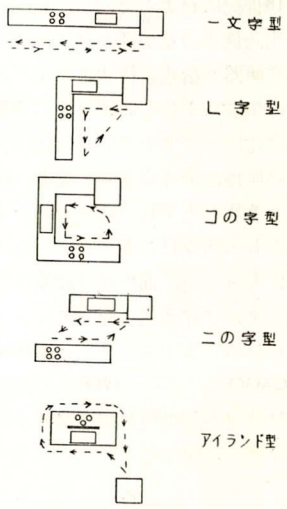
型は台所の部屋の形，出入口の具合，などによって適当に選ぶべきであるが，一文字やアイランドは，歩く距離が大きい。コの字，二の字は，一人で働くには良いが二人，三人は入りにくい。L字は歩行距離も短く，二人でも働けるから無難である。

5

配置自身ではないけれど，配置に関連して台所設備につけ加えたいものがある。

① 簡易食卓
② 洗濯設備
③ 給湯設備

がそれで，簡易食卓というのは，朝や昼の簡単な食事をするためのテーブルで，近年日本の台所も，一般に大分きれいになったし，デコラなど汚れても直ぐきれいになる手入の簡単な天板もできたので，台所で気持よく食事することができるようになってきた。美くしくさえあれば台所には手近に食物も食器もあって，便利には違いないし，焼きたて，煮たての香のよいぬくぬくが，そのまま食べられるのであるから，こんな結構なことはない。その上，主婦の労力の省けることは大したものである。洗濯場も台所内にぜひ持ちたいものである。風呂場などで洗濯していると，御用聞きなど訪問者があった場合にも，解り難くくて，無用心だし，戸外で洗濯すれば，冬は寒くてやり切れない。その上，戸外では洗濯に必要な湯が得がたい。洗濯を汚いこととして，台所と洗濯場を同室にするのを嫌ったのは過去のこと，良質の洗剤と湯による現代式洗濯は，汚れが落ちるばかりでなく，完全に消毒されるから，決して心配は要らない。



3図　台所の型と歩行距離（点線）

食器洗いに洗濯に，湯の要ることが多くなつた。給湯設備が欲しい。何でも文化人程，湯と石鹸の使用量が多いということであるから，その需要はまだまだ増えることだろう。中流家庭では今のところ，瓦斯の瞬間湯沸しが手頃ではないだろうか。この取り附け場も設備配置の際，考えに入れておかねばならない。

台所を働きやすくするためには，設備の配置以外にも考えねばならないことが多い。広さ，高さ，材質，明るさなどもそうで，まだまだいろいろのことが考えられねばならない。それらのことが，みんな考慮されて，統一されて，働きよい台所が実現する。そのような台所が，都会，田舎の別なく，押並べて普及することを，女性の一人である私はことさら願う次第である。なお一歩進めて，働きやすいばかりでなく，居心地が良くて，家のどこにいるよりも，台所にいることが楽しくなるような台所にまで，発達させたいものである。普及させたいものである。希って止まない。

（筆者：神戸山手女子短大教授）

水洗便所

須賀栄一

1. 昔と今

便所の歴史は人間生活が動物の生活より脱皮したときに初まる。エヂプト，ギリシャ，ローマ時代には極く幼稚な水洗式の便所があったと考えられるが，それ以後水洗式としての便所の発達はほとんど見られない。その多くは貯溜式便所であったもののようである。それも上層階級の城廓宮殿等の一部建築にとどまり，16世紀に到るまでは便所の発達に見るべきものは少い。文芸復興以来社会生活の様相が格段に進歩し，各種建築の多面に渉る進展と相俟って，漸く水洗式便所の考案が擡頭を初め，18世紀におよんでパリ，ロンドンにおいて初めて現在の水洗便所の基が開かれるに到った。すなわち，今日の水洗便器と給水管排水管および通気管の考え方はこの時代の創意によるものである。19世紀以降都市の上下水道の発達にきびすをついで，水洗式便所の発達も著しく，水洗の原理は全く定まり，便器の構造，機能の上で各国各様の著想が生まれ，排水管のサイフォン，トラップのごときも大凡今日の姿をその当時に案出されている。20世紀に入って後，進歩改良は続けられ，瀉水方式の上で在来のタンク貯水式よりフラッシュ弁を生んだことは特筆せられるべきであろう。 SLOAN VALVE COMPANY（CHICAGO）により，1906年（明治40年）創製せられ，その後改良が加えられ現今フラッシュ弁は世界の隅々まで行き渡るに到った。

× × ×

日本においては厠に初まり砂雪隠（滲透，蒸発式）箱置式（運搬処分式）のごとく，上流生活には特別のものもあったが，多くは農村に見るような穴を堀り瓶を埋めて床板を四角に切り，便槽貯溜式で肥料用取出しに便にもできているものが多い。水洗式といえば，川に床を掛けたり泉の水を溝をしつらえて，便所の床下に導いて流し去るごときを掲げる位のことである。糞便の不潔をどうすることもできずに，不浄と呼んで敬遠するより仕方がなかった。

便所の発達のほとんど無かった日本にも，1869年（明治４年）横浜居留地に外人の手により木樋水道が敷設せられ，1885年（明治18年）には広東より英国技師を招聘して横浜市街水道計画を立て，２年後には完成通水した水洗便所は水道布設に伴って外人は使用しはじめ，これが日本における最初のものであろう。1870年（明治5年）～1890年（明治25年）のころには，アメリカ，イギリスにおいても，水洗式便器と給水排水に諸種の工夫と進歩がなされた時代で，日本へは横浜を経て東京へ舶来外人と一緒に急激に輸入が行われた。1886年（明治21年）東京帝国ホテルが新築せられ，水洗便所その他の衛生設備工事としては，日本で最初に完備せられたものというべきである。コンドル先生は衛生設備工事を建築工事の内で最も重視し，衛生工事を自ら設計し配管の施工詳細まで図示指導されたと聞いている。

西洋の水洗便所の発達はときを経ずして日本に輸入せられたわけで，1893年（明治28年）東京日本銀行新築のころには辰野博士の外遊などもあり，ようやく西洋の水準を自ら把握することができるようになった。材料，器具，職人は勿論のこと外国に依存し，外人の指導を受けながら，1895年（明治30年）以降は大阪，京都，神戸にも驚くべき勢で滲透した。このころを日本の黎明期といえよう。

フラッシュ弁は1906年（明治40年）の創製で日本に輸入せられたのは，1918年（大正8年）である。約12年遅れて輸入せられているが，水洗便所における日本の採用はさして西洋から取り残されたわけではなかった。

水洗便所は上水道の発達と併んで興り，下水道は上水道に較べて進歩が遅れている。下水道の発展が愈々期待せられ水洗便所は下水道の完備の一日も速からんことを待っている。

2. 都市放流下水と水洗便所の普及

大阪市についていえば，中部処理区（東，南，西，天王寺，阿倍野，西成の部分），北部処理区（北，大淀，福島の部分）の放流下水がそれぞれ津守，海老江，各処理場に拠り，ほかの地区および衛生都市，郊外住宅においては屎尿処理槽を自個の負担で設けねばならない。昭和36年ごろまでには都島，東成，天王寺，阿倍野，此花の部分に中浜，市岡処理場の開設が予定せられている。

中部，北部処理区域内すなわち放流下水可能地域は大阪市全域に対して⅛の広さである。

放流下水区域内における戸数は120,000戸（約600,000人）であり，うち現在水洗便所設置済戸数は32,000戸，将来改造を必要とする戸数87,000戸，そのうち下水道不備により改造不能と認められるもの17,000戸，差引70,000戸が今後5カ年間の計画で改造が促進せられている。他都市について全市域と処理区域の比率は別として都市衛生，下水処理の上で，都市計画への前途はまだまだ遠いものがある。大阪市土木局下水課によると下記のような普及率である。

都市名	処理区域内人口	施設済戸数	普及率
東京都	358,000	280,768	78.5%

大阪市	120,000	32,000	26·6%
名古屋市	147,000	47,600	32.2%
京都市	54,570	7,410	13.6%
岐阜市	24,000	16,000	66.6%
豊橋市	11,225	2,615	23.3%
鹿児島市	4,000	1,000	25.0%

3. 音と臭気

山小屋の小流で板を渡した上に跨り，オドオドしながら，渓流の遠音を聞くのは快適なものである。

また僧院の便所で青々とした杉葉が広口の朝顔の中に生けてある上にそそぐ小水の音もまたシトシトと吸われるがごとく静かなよいものである。

在来の日本家の便壺の底が無気味で真暗な中にドブンとするのは子供でなくとも気持が悪い。その上オツリがいまかいまかとモゾモゾするあのときの感懐はたまらなく嫌なものである。客になって訪ねた家の座敷で聞くフラッシュ弁，シスターンの瀉水の音もよろしくない。日本の間取りは座敷の床の間の裏が便所で床下も天井もイケイケになっている。これでは音も臭気も衛生的にもどうにもならない。ホテルのバスルームの換気口から，どこかの室の便所を使う音や紙を剪る音がまともに聞こえることがある。相手は知らぬと思っているが，次の番には相手が嫌な思いをしなければならない。放水そのものの音も瀉水の音も両方ともご免を蒙りたい。

臭い物には蓋をするという諺があるが，蓋だけすればよいのではなく臭い物を取除けば蓋は要らないと考えたい。

× × ×

アメリカの子供と自動車で畠道を走ったことがある。鼻をツマメとしきりにいう，何のことかと気がつけば臭いのである。久し振りの春の野のドライブに快適を味わっている私と子供は別の世界を感じていた。私達にはこの種臭気には馴れができている。

玄関に人を訪ねたとき，廊下伝いにジメジメしたその家独特の臭気が漂うのは家人のでてくるのを待つ間も嫌なものである。西日の当る便所に夏の午後入ると壺から込みあげて来る腐爛した臭気には全くやり切れない。江戸堀辺りの古い日本の庭に臨むと観めはともかくとして，苔にまでそこはかとなく便臭の漂うのも気になる。汲取人の帰ったあと，「梅ケ香」を焚いて家中の臭気を追払ったのは，いまは懐しい思い出である。

鉄筋コンクリート造の建物で換気口を設けていないのも困る。小建築にときどき見掛けるが，日本家屋の臭気流通おかまいなしのも困るが，これでは密閉された臭気は廊下へ台所へ流れることはどうしょうもない。鉄筋アパートの水洗便所に桃色ハート型の「樟脳」を吊り下げているのは了解に苦しむものである。永い間の棟割長屋への郷愁であるのかも知れない。

× × ×

音にも臭気にも水洗便所にすることが何としても望ましい。便所の壁，天井，床の中壁は二重にして遮音の効果をあげる。湿気を断つ配慮の上で遮音材を空間に詰めることも考えられる。扉はフラッシュで密閉にしたいもの，板戸一枚では遮音にならない。瀉水はフラッシュ弁よりシスターンタンク，それも低いシスターンを外側に取付けるのが良い。給排水管のそれぞれ貫通箇所にまで震動の配慮が必要である。水洗式にしないまでも在来の便槽は住居部分と構造の上で独立させねばならない。床下も天井もツツ抜けで真壁一重位で便所に接しているようでは，便壺を室の一隅に置いて暮しているといっても過言ではない。蠅が往来するのも無理からぬことである。

また便所に入ると落着きが欲しくなる心理的なものがあるようである。床の間をしつらえて花を生け，香を焚き電話まで置くごときはともかくとして，勤人などの生活感覚からいえば，新聞を拡げ煙草をくわえる程度の安息な還境にして欲しいものである。出勤前の慌しい時間に兄弟姉妹で順を競い臭いわが家で果すよりもタイムレコーダを打ち終ってゆうゆうと快適なオフィスの便所を使う方が遙かに有効かつ文明である。

4. 結び

都市放流下水がいよいよ充実する一方，低廉簡単な屎尿処理槽を考案すれば水洗便所の需要は必ず増えるであろう。

ジュースミキサーがやみくもに流行すれば，つぎは電気洗濯機が井戸端会議を賑わせているのも昨今である。真空掃除機，電気冷蔵庫，テレビもまた引き続いて家庭の話題となっているようである。こんなふうに生活の末端で思い付きに文化生活をするのもよいが，もっと生活の基盤に立脚して反省するとき，私ならば水洗便所への改造を取り上げたい。ジュースミキサー，洗濯機のつぎは水洗便所である。市内以外であればいまのところ屎尿処理槽を各戸に設けねばならない便器や床下の模様替えを含んで15万円も20万円もいるのがあるがいかにも高価につく，誰か2万～3万位のパッケージ型や屎尿浄化槽を発明せんものかと大いに期待している。デパートの売場にでも並べれば羽が生えて売れること必定である。暖房も冷房も住宅には欲しいが，その前にまず水洗便所への改造に踏みきりたい。テレビ，電気冷蔵庫を持ちながら，便壺と同居では少しバランスがおかしいのではないだろうか。

（筆者　須賀工業KK）

住　宅　暖　房

石　原　正　雄

1. 住宅暖房の現状

調査をするまでもなく，庶民住宅の現状は「火鉢とコタツによる一室採暖で，その室は居間，食事，だんらん，勉強等に使われる。要するに家族はみな火の気のある室に集って生活する」といえよう。北海道その他の寒地では薪ストーブ，石炭ストーブが主な採暖器具であるという点で変っている。**表-1**には採暖器具に関する2，3の調査の結果を示した。戦後の傾向として指摘されるものは堀コタツとガスストーブの普及であろう。僅かな燃料で一応身体を暖めることができる堀コタツはわれわれの生活水準に合っているためかよく使われている。堀コタツ中心の冬の生活は各人の個室があってもそれは単に寝床として使われるにすぎない状態となる。さらに冬は寝方まで変るという例も少くない。しかし堀コタツはまだレベルとして上の方であろう。イロリやコンロによる調理の熱と採暖との混用もかなり多い。住宅計画の基本となる暖房の問題はこういう現実から出発しなければならない。

ガスストーブは火鉢と同じく燃焼ガスの中で生活する暖房器具である。不完全燃焼によって生ずる一酸化炭素はガス圧，混合空気量，器具によってことなるが，恕限度程度の発生をみることは少くない。筆者が測定した例によると和風住宅4.5帖（一面外気に接す）で最小型のガスストーブを使って室温を外気温より10℃程度上昇させると大体恕限量（0.01%）程度の一酸化炭素が検知された。隙間の多い和風住宅でもこの程度であるから，鉄筋コンクリート造の室では，常に換気に注意しないと危険な状態になる。0.01～0.02%程度のCOで数時間在室すれば普通頭痛をうったえる人が多いが，それより，現在まだ明かではないが，慢性的中毒による健康障害が予想されている。こういう点からみてガスストーブを常時使用する場合は煙突付とすることは原則としたい。煙突付とすると移動性という利点は失われるが，ガスストーブが普及してきた現在，全く衛生上問題のない器具を作ることをガス会社に望みたい。薪ストーブや石炭ストーブは換気が行われるから室空気の汚染という点ではすぐれている。しかし熱環境からみると室温の分布が一様でないという欠点がある。ホコリが立ちやすい。室の面積をとるということも欠点の1つである。暖房器具は照明器具と同じく，それ自体はなるべく小さく，邪魔にならぬものがよいはずである。

冬期，どの位の室温で生活しているか。これに答えるだけの広範な調査はないが，限られた資料からみると主に火鉢で採暖している室では12，3℃前後であり，外気温との差10℃以上を保つことは少ない。薪ストーブ，石炭ストーブで採暖する場合の一例を**表-2**にあげた。これは北海道の農家について調査された例であり，測定例の過半数は15℃以上である。ストーブ暖房という点，および家屋の保温力が小さいという点から室温の上下差は甚しい。床上15cmと85cmとの差は平均して4～6℃であり，天井近くの温度が40℃に達することに珍らしくないといわれる。非常に不利な熱環境である。同じ調査から得られた暖房日数は200～210日及び170～180日に集中していて，ディグリーデーでD_{8-8}及びD_{6-6}に相当する暖房日数であるといわれる。暖房期間中の室温はD_{8-8}，D_{6-6}よりは高いであろうが，ディグリーデーの規準が現状より非常にかけはなれていることは充分予想される。

2. 普通の住宅の保温力

保温力は壁体の熱貫流率と換気量とによって評価することができる。普通の木造住宅として金融公庫住宅程度を標準とすれば，各部分の熱貫流率は**表-3**に示す程度である。また公団住宅程度の鉄筋コンクリート住宅については，**表-4**の程度である。

換気量は建物の隙間，外部風速の如何によって変るが標準的な例として6帖（室容積20m³）の室に1.7×1.7mの引違いガラス戸をもった開口がある場合の隙間による換気量は，外部平均風速を1.8～3.6m/sの範囲にとると（理科年表に示されている測候所の過半数はこの範囲に入る）

木造真壁一重窓　　3.5～7回/h

表—1a. 採暖器具の使用率

採暖器具	アパート A※	アパート B	公営住宅	一般住宅
火鉢	40 %	33 %	28%	34 %
コタツ	26	29	40	35
ガスストーブ	14	} 12	} 2	} 3.5
その他のストーブ	6			

※ 建築界Vol.1No.11“アパート居住の実態調査”による。
その他は建築学会論文報告集54号P.593“居住における採暖の研究”による。

表—1b. 北海道農家における採暖器具の使用率

薪ストーブ	鉄板製石炭ストーブ	ルンペンストーブ	鋳鉄製ストーブ
50～60%	20%	10～20%	2～3%

建築学会研究報告第7号P.231“北海道農家の採暖状況について”による。

表—2 北海道農家における暖房時平均室温

	あたたかい例	ややさむい例	さむい例
床上85cm	21.9℃	15.3℃	10.3℃
床上15cm	15.9	11.3	5.8
外気温	−4.5	−3.4	−4.4

表1bの文献による

木造大壁一重窓　　2.5～5回/h
鉄筋コンクリート木製一重窓　　2.0～4回/h
程度とみなされる。

和風住宅の換気が多いのは棹縁天井，タタミ床，壁廻り等にある隙間によるものである。筆者が鉄筋コンクリート造アパートの1階住居（床は揚床，タタミ）について測定した結果によれば，各部のαA（流量係数×隙間面積）の値は下記の程度であった。

引違木製一重窓（1.3m×1.7m）廻り　　$\alpha A = 41 cm^2$
襖1枚当り　　$\alpha A = 42 cm^2$
タタミ（東京間）1帖当り　　$\alpha A = 4.8 cm^2$

大雑把であるが庶民住宅の保温力は上に示した程度であるとして大過ないであろう。和風住宅の換気損失は大きい。しかし換気を少くするような構造にすれば，おそらく結露の問題，CO中毒の問題などが出てくるであろう。われわれの住宅はわれわれの生活に対してバランスのとれた存在となっている。1つの要素のみ動かすことはそのバランスを崩すことであり，全般的なチエツクがなされなければかえって住みにくい環境ができることも予想される。現在の鉄筋コンクリートアパートは結露して困るという。一昨年公務員アパートに入居した友人は次のようにいっている。「コンクリートの壁にプラスターの上塗りだけでは熱をよく伝えると聞いていた。事実冬の外気に接した壁は驚くほど露がたまった。ガラス窓とほぼ同じでガラスを雫が伝っておちるのと同様，タタミぎわに水がたれてくる。押入の中は梅雨期然とカビが生えた。」コンクリート住居はまだ生活とのバランスがとれていない。建物が改善されなければ居住者はそこでの生活を変えて適応するであろう。経済的な結露防止を単に現状を改善するためでなく将来の暖房レベルに応じて計画さるべきあろう。単に結露を防ぐ方法は分りきったことであるが，結露を生ずる生活上の条件，結露量の推定などについてはまだ分らないところが多い。

3. 次の段階

熱経済，結露防止，均等な熱環境という点からみて各地に適する保温の程度を一応設定することができる。その一規準を**表-5**にあげる。このレベルは現状よりやや高い程度のものであり，次の段階として推奨できる。表-5の値は外壁の値である。屋根，天井の綜合熱貫流率は夜間輻射による冷却，夏期の日射を考慮して外壁の$\frac{2}{3}$～$\frac{3}{4}$にする。床はわれわれの足の温感に直接関係するから熱伝導率および容積比熱（比熱×比重）の小さい材料を用いて，外壁と同程度あるいはそれ以上にすべきである。タタミ床の熱貫流率は1.0程度であるから多くの土地では外壁のそれより小さくなるのが普通である。これに比して板の間は一般に保温力が不足している。また床はとくに隙間をつぶす工夫を必要とする。窓は保温の弱点である。設計用外気温が−2.5°C以下の土地では二重窓を用うべきであろう。ガラス窓と障子の組合せは二重窓に匹敵する効果がある。また雨戸に保温力をもたせることは特に夜間の冷却に対するガラス窓の弱点をカバーすることができて有効である。

4. どのような暖房器具がよいか

北海道では壁ペチカによる暖房が普及しているし，オンドルの改良等も試みられているが，木造住宅にとっては適当でなく，設備費もかさむ。ストーブとペチカの中間程度の熱容量をもつカッフェルオーヘンは，北海道のみならず，ほかの土地にも適していると思われる。日本の住宅に適したカッフェルオーヘンが製作されてよいと思う。

ガスストーブは常時使用されるものとして大型になり，必ず排気筒をつけるようになるであろう。イギリスの住宅などによく使われている小型のガスボイラーは，温気暖房と温水供給をかねたユニットとなっているが，これは温気炉による暖房と同様，建物の中心近くに設置せねばならぬので平面計画が制約される。平面計画を自由にするためにはダクトのスペースやそのコストが問題になる。構造部の中空層や，二重床の空間を利用して送気する方法は床の輻射暖房＋対流暖房としての効果があるが，無駄な熱損失や結露などが問題になるであろう。タタミに代るべき新材料（多孔性ゴムとか合成樹脂）のパネルに埋込んだ電熱ヒーターあるいは温水管をもつ床（伝導暖房といえるかも知れない）は床式の室としておそらく最も快適な方法であろう。

アルミ板を2枚接着して適当な間隔にパイプ状のふくらみをつくったパネルは，温水による低温輻射面として将来普及する可能性がある。このパネルは天井から吊下げたり，あるいは軽量間仕切や衡立のような使い方によってデザインの面からも面白いものができそうである。

（筆者　京都工芸繊維大学助教授）

表—3 標準木造住宅の熱貫流率

	仕様	K(kcal/m²h°C)
屋根	野地板1.0cm 引掛桟瓦2.2cm	3.4
天井	板厚0.7cm	3.2
外壁	下見板1.6cm中空層3cm 土壁4.5cm	2.0
ガラス窓一重		6.0
床	床板1.0cmタタミ4.5cm	1.2

表—4 鉄筋コンクリートアパートの熱貫流率

	仕様	K(kcal/m²h°C)
屋根スラブ	砂付ルーヒング0.5cm モルタル3cmコンクリート12cm	3.4
天井	プラスター2cm	2.9
外壁	モルタル1.5cmコンクリート18cm プラスター1.0cm	2.95
ガラス窓＋障子		2.8
床	フローリング(揚床)1.5cm	2.0

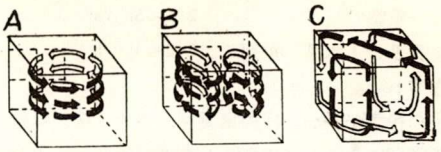
表—5 外壁の熱貫流率勧告値

設計用外気温	熱貫流率 kcal/m²h°C	地名
−2.5°C未満	2.0	福岡，大阪，京都，東京
−2.5～−10	1.3	仙台，長野，青森，函館
−10～−18	1.0	札幌，旭川，釧路，帯広，富士山頂
−18°C以下	0.8	

建築学会設計々画パンフレット"住宅の保温設計"による。

住宅内の空気衛生

花岡利昌



A，B 中心気塊の2つの回転方向
C　外殻気流
向い側の点線は窓の位置
第1図　室内気流

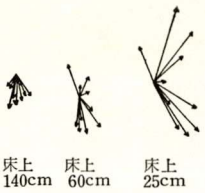
住宅は人間の生活環境，とくに空気環境をコントロールするもので，現代の住宅であれば自然条件の苛酷な変化に対しては一応の調節ができてその目的を果しているものが多いが，しかしなお些細に眺めてみると現代の住宅にはそこに住っていく上に思いのほかの不都合な状態やまたは有利な点などがみだされている。これらの点を主に空気衛生の立場からのべてみたいと思う。

室内気流と賊風現象

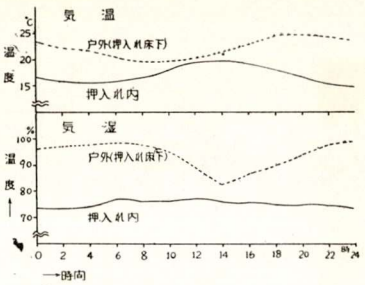
住宅内の空気は人がその中に住んで空気の攪拌をしなくても，局部的な温度差にもとずいて緩慢な気流がみられる。まして戸外にかなりの風がある場合には間隙を侵入するいわゆる隙間風によって室内空気は著しくみだされる。このような室内気流の存在は住宅の自然換気にとって重要なものであるが，冬季のように寒冷な隙間風はいわゆる賊風となって極めて不快な現象となるのである

和室の住宅構造で最も隙間風の入りやすいのは窓の縦のすきまである。条件を単純にするためにある和室に縦の間隙1つだけをのこして外部から侵入する風が室内の空気の流れにどのような影響を与えるかを調べてみた。気流の観察は線香の煙のように細く立ちのぼる烟を数センチの間隔で多数たててそれの流れを室外より観察または記録することによって行った。間隙が障子（または硝子戸）と柱との間におけるもののように単純なもので，それが部屋の一方側にある場合は，侵入した外部空気によって室内気流は方向ずけられて一方むきのゆるやかな回転を行う。間隙の位置が側壁の中央附近になると侵入した空気は部屋を横切って反対側の壁に突あたり，左右に岐れて室内気流を回転方向の相反する2つの大きな気塊にわける。間隙が側壁の中央附近にあっても，2枚の戸のあわせ目のように引違いになっている間隙では侵入する空気は室内に直角に入りこまないで戸の内面にそって入りこむ。このような場合には室内の気塊は最初にのべた場合のように1つである。これらの事実は予想されたことであるが，室内気流にはこのような大きな1個乃至2個，または3個（間隙の数が多くなれば）以上の中心部に存在する気塊の動きの他に，部屋の壁面，床，天井に極めて接近して，それらの表面を逼うように一方方向に動く薄い気流が存在することである。このような気流は前述の煙条の観察だけでは明らかにならなかったが，模型実験においてまずそのような気流の存在することをみとめ，あとでとくに設計した微風速計で部内に同様のものが存在することをたしかめえた。模型実験は模型室内にて塩素酸加里と乳糖の混和物を燃焼させて白煙をたて，側方より強烈な光線の細条を室内に放射し，チンダル現象によって白煙粒子の流れを観察記録した。室外気流は窓にむかって種々の角度からあててみた。結果として風の窓にあたる角度による室内気流の変化は殆んどみられず，ただ侵入気流の速度がかわるのみであった。そしてこの侵入気流によって方向ずけられる部屋中央に存在する大きな気塊のうごきの他に，この気塊のうごきと無関係な側壁，床，天井面にそうて流れる速度のかなりはやい，うすい気流層が存在する。即ち室内空気には外殻にあたるうすい空気層の動きと，芯部にある大きな気塊の動きがあるのである。外殻気流の動きは部屋全体として一方向に回転しているようであるが，その流れの向きを決定するものが何であるかはまだあきらかでない。が内部気塊の回転と部屋の側壁の温度の部位的差異等に複雑に影響をうけてきまるものであろう。

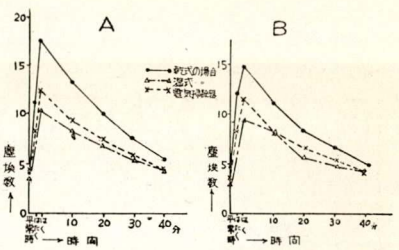
このような室内気流の速度は普通には極めて小さいもので感覚的には殆んど感知されないいわゆる不感気流である。不感気流はただ単に流速だけで決定されるものでない。即ち，例えば侵入気流の温度が室内気温と大差がなければ感知できなかった流速でも，この2つの温度に著しい差が存在する場合は容易に感知できるようになる賊風現象で，われわれの体表面のうちでも頬，臀の周囲頸部等の皮膚は，とくに温度の差を感じる程度が大きく0.5～1.0°Cの差異を感じとるのである。それで同一温度の気流は一体どの位の速さであれば気流として感じられるかということはまだあまり明かにされていないが，大体数センチ/秒程度のところであると考えられる。現在このような微風速は正確に測定する方法がなく，筆者等は10μ程度のガラス繊維の気流によるたわみを水平顕微鏡によって観測することにより微小気流速を量的にあらわすことを試みたが，これにより前にのべた外殻気流の存在をたしかめることができた。まだ風速を較正していないので何センチ/秒とあらわすことはできないが，外殻気流の速さは中心気塊の動きの2倍乃至5倍にのぼり，その厚さは25センチ前後と考えられ，和室にしいた布団の



第2図　室内気流の水平方向における風速（ベクトルは相対値）



第3図　押入れ内・外の気温・気湿の周日変化



第4図　掃除法による室内浮遊塵埃量の時間的変化
A.畳の直上 B.畳の上400cm

枕にのせた頭の高さあたり，すわった膝や腰の高さあたりにかなり早い気流が存在することになるのである。

押入れの恒湿性

日本住宅に特有の押入れは布団，衣類の収納場所として使用されているが，押入れ内の温度や湿度の変化を調べてみて次のことがわかった。即ち，気温については押入れ内も外気や屋内と同じような日変化を示すが，位相は約6時間ずれており，最高温度は5°C程度低い。気湿については押入れ直下の床下（外気）が午前6～8時に最高，午後0～4時に最低を示すのに対し，押入れ内は日変化は極めて少く，その最高および最低湿度を示す時間も午後0～2時および午後10～12時と，これも約6時間から8時間の位相のずれがみられる。屋内の気湿はこの両者の中間の変化を示している。また外界の気象変化に対し押入れ内の湿度の変化をみると外界の気象変化には殆んど無関係である。とにかく押入れというものは，衣類や布団の収納場所としては，極めて好都合な条件を具備していることがわかったのである。

ところで，このような押入れの恒湿性は一体何に由来するものであろうか。一般に押入れの構造は側面が真壁床は板張り，上方は釣天井，前面は襖という構造のものが最も普通であるが，この4種の材質のうち最も広い面積を占める真壁表面の放湿性ならびに吸湿性を予想してこの表面をビニール布で完全に覆って湿度の日変化を観測してみた。すると押入れ内の気象のうち気温の方は今までの観測と同じであるが，気湿の方は顕著な変化を示し，日較差が大きくなり，かつ今までみられた位相のずれがなくなり，気温変化とほぼ平行しているのである。次に床板のすき間を通して外気温の上昇とともに地面から侵入してくる湿気が問題になることも考えられるので押入れ床面にビニール布を敷きつめて観測してみたが，この場合には殆んど変化がなかった。襖の吸湿性ならびに放湿性も考えられるが，これはまだ実験していない。が襖紙の性質上真壁または荒壁のそれよりはかなり小さいものではないかと考えられる。

押入れの恒湿性を助長すると考えられるものに押入れ内外の気温差にもとずく通風現象がある。即ち，押入れ内の気温に対して外気温が最も高い，温度の最大となる時刻（午後3時前後）に線香の煙条によって通風をしらべてみると，襖の上方の隙間から暖かい外気が押入れ内に侵入し，襖の下部においては冷たい押入れ内の空気が外部に流れ出るのがみられる。一方床下よりは戸外の高温の空気が押入れ内に進入する。即ち，押入れ内で気温が午後の6時から10時にかけての最高時に向って次第に上昇して，比湿が低下すべき時に外界の水蒸気量の多い空気の侵入は比湿の低下をおさえて恒湿性を保持する因子ともなると考えられるのである。

以上のようなことが住宅のどの押入れにもいえるかどうかはまだわからない。すなわち，西日が押入れの背面を直射して気温の変化が前述のような型を示さないものではどうなるか，それは今後の研究に俟たねばならない。しかし一般的にいって壁の放・吸湿性や，押入れ内気温変化のずれにもとずく通風現象は押入れの恒湿性を保持する上に重要な要因と考えられる。

住宅内の浮遊塵埃

住宅内の浮遊塵埃は，繊維工場，セメント工場などのそれに比較すれば問題のない程度のものであるが，住宅の空気衛生としてはやはりとりあげるべき問題の1つである。従来浮遊塵埃の住宅内部位的分布や発塵の時間的経過の研究は方法的にやや困難で，あまりなされていなかったが，附着採塵法によって少し明かになってきた。一室内の発塵量の垂直分布は床面に近いほど多く，天井に近いほど少い。次表は和室で種々の高さの塵埃数（相対値）を示したものである。即ち畳に布団を敷いて寝る様式では，最も浮遊塵埃の多い空気を吸うことになる。掃除法によって発塵の異ることも周知のとおりで，乾式，湿式電気掃除器をつかった3通りの方法で掃除をしたあとの発塵は湿式が最も少く，次いで電気掃除器，乾式の順である。掃除後大体40分で発塵はおさまる。もっともこれは部屋を閉め切って通風しない時の測定であるが。寝具の上げおろしの時の発塵のおさまるのも，とくに通風しない場合はやはり40分位たたぬともとの値にならない。教室における授業前の掃除，食事前の清掃などこの収塵の時間的経過を考慮して行う必要があると考える。

室＼高さ	畳直上	障子桟	テーブルの高さ	箪司の上面	電燈の笠	鴨居の上
A	58.4	56.2	54.8	44.6	45.1	42.9
B	54.3	52.7	49.7	47.6	44.2	42.7

（筆者　奈良女子大学教授，医博）

鉄筋アパートの音響

久　我　新　一

第1表　各種隔壁を持つ二住戸間の減音度（db）（居室の吸音力を含む）
（実測例）

二室間の隔壁（両側居室）	概数	c/s 125	500	c/s 2000	白雑音
軽量ブロック10cm 両面水性ペイント	(35)	18	34	43	35
木毛板プラスター塗 2重中空壁	(35)	22	37	41	37
同上　両面押入	(45)	42	48	55	46
ラスモル　プラスター塗 2重中空壁	(40)	29	41	43	39
同上　両面押入	(50)	44	54	61	51
プレコン　両面プラスター	(40)	38	40	43	41
真カベ1重両面漆喰	(40)	26	37	42	38
同上　両面押入	(50)	32	50	49	49
石綿大平板（9mm）（ゾラコート吹付） 2重中空壁	(45)	30	48	47	46
重量ブロック　15cm 両面プラスター	(45)	36	47	53	44
鉄筋コンクリート（プレキヤスト）5cm　両面プラスター	(45)	43	47	51	45
鉄筋コンクリート　12cm 両面プラスター	(50)	41	52	52	50

1．住居の音響問題にも騒音と室内音響の二面が考えられる。そしてことさらに音響という言葉を題目に用いた編集部の意図はその両面にわたってということなのだろうと考えた。

しかし，与えられた紙数ではそのいづれにも不充分なことしか書けそうにない。そこで重点的にまた思いつくままに，そしてできるだけ個人住宅にも関連した事項を拾ってみることにしょう。

2．鉄筋コンクリートという建築構造は空気音の遮断に最も適したものの一つである。重厚で密実すなわち振動しにくく隙間がない。**第1表**を見ていただきたい。連続建二戸の居室間の減音度の実測例である。一方の室で平均 Adb の音がほかの室で平均 Bdb になれば，$A-B$（db）の値を減音度（Noise Reduction(米)，Noise Insulation Factor（英））という。たとえば減音度 45dbの場合，隣家で70ホンのラヂオの音（まず聴きごろの大きさ）が大体70－45＝25ホン位になる。これはこちらがよほど静かでないとちょっと聴えない大きさである。米国公衆衛生協会（APHA）の減音度の標準も隣接二戸間では 45db（推奨50，恕限40）である（寝室隣接は各 5db 増）。鉄筋コンクリート構造ならまず文句がない。軽量乾式壁などを用いる場合には，設計や施工に充分注意する必要がある。重厚に密実にしかもできればそのような材料を充分な空間をとりつつ幾重にもというのが遮音の原則だからである。

3．鉄筋コンクリート造は隣人の音から全く解放してくれるかというとそうでもない。その一体式という特長による固体音の問題がある。むろん鉄筋コンクリートともなると，多少のものがぶつかっても音波の発生原因となるほどの振動をそう軽々には起さない。ゲンコツなどではビクともしない貫禄は持っている。しかし，当然大きい質量のものが速い速度でぶつかればその限りでない。

第2表　6帖間の残響時間（実測による）

	洋室（板張床）				和室（畳敷）			
	壁	天井	建具	残響（秒）	壁	天井	建具	残響（秒）
未入居（家具なし）	ラスモル（プラスター）	石膏板（ペンキ）	ガラス1.5k 同ドア 1.0k	1.55 {1.38 1.57 1.40}	ブロック（プラスター）	和風天井	フスマ3.5k ガラス1.5k	0.48 {0.46 0.50 0.44}
	木毛板（プラスター）	ベニヤ（ペンキ）	ガラス2.0k 同ドア 1.0k	1.50 {1.49 1.53 1.50}	コンクリート（プラスター）	和風天井	障子1.5k フスマ1.0k	0.51 {0.50 0.55 0.48}
入居済（家具あり）	ベニヤ（3分）（ラッカー）	ベニヤ（2分）（ペンキ）	ガラス 1k フラッシュドア 0.5k	0.55 {0.53 0.71 0.50}	真カベ（シックイ）	和風天井	フスマ 2.5k ガラス 2.0k	0.26 {0.25 0.26 0.26}
	コンクリート（プラスター）	コンクリート（プラスター）	フスマ 1.5k ガラス 1.0k ソレン 0.5k	0.33 {0.32 0.34 0.29}	コンクリート（プラスター）	コンクリート（プラスター）	フスマ 2.5k ガラス 1.5k	0.23 {0.25 0.23 0.23}

（註）表中，残響時間は先ず白雑音に対する値を示し更に右側上から順に125c/s，500c/s，2000c/sに対する値を示した

発生した振動が一体の構造内を波動となって伝わって，その各部の振動が周囲に音波を再放射する。階段や上階や屋上の足音，鉄製の玄関の扉を閉める音，家具を引きずる音などはそれらの衝撃による空気音も大きいが，再放射される固体音的要素もまた馬鹿にならない。すなわち空気音なら伝わらない近隣へもかなりはっきりした音も伝える。

しかし軽量な構造ではさらに固体音の影響が大きい。たとえば，こんな経験をしたことがある。鉄骨造のテラスハウスで8戸連続建の竣工に立会った際，その一端の住戸で手荒くフスマをしめてもらった。筆者はその他端の住戸で耳をすましていたところ，意外に大きく快適にビーンという音を聴きとって感心した。フスマを閉めた衝撃による波動が全戸一体の桁行材を伝わり，8戸分の距離を経て，なお明瞭な音波を発生させたわけである。一体式で軽量はいけない。音波という波動が伝わるには媒質固有の弾性や慣性の扶けを借りている。それらの性質（媒質の音響インピーダンスすなわちその材料の密度とその材料内の音波の速度の積）がはなはだしく異る材料との境界面では，音波はほとんど反射されて先に進まない。従って一般に一体式構造では化にパッキング材をはさむ形の不連続構造が望ましい。せめて階段位は不連続構造を使いたい。あらかじめ階段の踏面一枚一枚を工場で作っておき，コルクやフェルトを敷いて支持骨組に取付けるなど一案である。一方固体音については一体構造に衝撃を与えないという面からの工夫もしばしば有効である。階段面に敷物をしき扉などの戸当りに緩衝材をはさむ。判りきったことでもそんなことが案外に実行されない。

4. 一体式といえば鉄筋アパート内でも配管類がとんだいたずらをすることがある。同じ水道管を使う近所の家で水を出すと，こちらの台所で変な音がするという例の怪談の種になる話である。水流の持つ脈動内の一つの振動数に配管系統が一種の共鳴を起すもので，水を出す速さで音が出たり出なかったりもする。蛇口を取替えたり配管のゆれているところを押えたり水道管の支持方法を変えたりすると止る。すなわち固体音には振動系の固有振動に対するこうした形での対策もある。

5. 再び空気音の話に戻ろう。コンクリートは空気音に対する有効な反射性材料である。すなわち音をほとんど吸収しない。音波という空気粒子の振動がやってきても，コンクリートの面は厳然として静止しているので，音波のエネルギーは再び空気の粒子をふるわせて反射波になって引返す。コンクリートの面は入射した音波のエネルギーのほんの数%位しか吸収しない。遮音に優良な材料は一般に吸音に欠ける傾向があるが，コンクリートもその例に漏れない。逆に綿などの多孔質材料は吸音性は素晴らしいが，遮音性はほとんど期待できない。防音処理上注意すべきことである。

6. コンクリートのように音を吸収しない材料でできた室では，音がガンガン響いて困るという苦情を生ずる。とくに長方形の室などでは，ある特別の振動数の音だけがひどく強められて異様な響きを残す。響きの長い室，たとえば風呂場は浪花節をうなるのには好適かもしれないが，会話にはけっして快適ではない。個々の室はその用途や広さによってその響きの長さに適正な値が望ましい。それをわれわれは残響時間という量で比較する。

残響時間は室内で音を暫らく出しておき，急に止めた場合に室内の音のエネルギーが漸次減少し，当初の百万分の一になるまでの時間長をいう。住宅の居室の残響時間として，欧米では平均的に0.5秒位が普通だといわれている。**第2表**にはわが国の都市住宅での実測例を示した。

同じ住宅の居室でも洋室は一般に残響が長い。とくに

第3表　建具による減音度（db）（居室の吸音力を含む）（実測例）

建具（両側居室）	概数	125	500	2000	白雑音
フスマ（3尺）	20(強)	16	22	23	22
フスマ（6尺）	20(弱)	16	19	19	18
フスマ(3尺)＋3尺廊下＋フスマ(3尺)(対向)	35	31	37	37	35
同上（並列）	40	36	39	46	41
フラッシュドア（3尺）	35	28	35	40	34
フラッシュドア＋廊下＋フラッシュドア	45	33	46	56	46
フスマ（3尺）＋階段＋ガラス戸（3尺）	45	36	45	52	47

人の入居前は長く容易に1秒以上に達する。一方，和室は畳の吸音力が大きいことと，建具にも吸音的で隙間の生じやすいものが使われるので，人の入居前から欧米の値以下になる。人が入居して吸音的な家具類が持込まれ室容積が減少すると，残響時間は飛躍的に短かくなる。

鉄筋アパートでも和室では残響がかなり短かい。

われわれの育ってきた生活環境は，そのように吸音的なまた静かな雰囲気であった。漸次洋式の生活が浸透するにつれて響きの長い室の生活体験も拡がってゆく。

そこではまた異った形での趣味趣向も生れるに違いない。ジャズ系の音楽を聴くには農家の奥座敷よりも矢張りコンクリートや板の間の響きやすい室が適する。

一方農家の吸音的な静かな雰囲気の中でこそ「かそけき」とか「わびしき」といった形容詞のしみじみとした体感があるように思う。

7. 和風住宅の建具は遮音力が至極小さい。**第3表**のように遮音度は洋風住宅のフラッシュドアにはなはだしく劣る。音響的には現在の鉄筋アパートはまず一室住宅に過ぎない。子供の入試が近づいたので耳栓型のレシーバーでラジオを聴いているという父親の話はけっして笑いごとではない。同居者があればなおさらであろう。われわれの都市住宅では，とくに夏の気候調節のための大きな開口の保証という面でフスマや障子の効用が大きい。その現状を一応認めた上で，現在のテラスハウス型住宅で，居室間の遮音性が一般に良好であることをとくに指摘しておこう。すなわちテラスハウス型では一戸が2階建で下階に昼間廻りの居室をとり，上階は二室に別れ，その二室がしばしば階段の延長の3尺の廊下の両側に距てられている。その際の上下階間は，階段の前後に簡単な建具があれば，APHAの一戸内居室間のプライバシーのための減音度の標準35db(推奨45，忍限30)に軽く達する。またフスマ＋3尺廊下＋フスマの形でも居室が入居後の吸音力を持てば，対向二室間の減音度がどうにかその標準に達する。このような形での遮音性の考慮は今後ますます重要であろう。

8. 目を外に転じよう。アパート群の中で昼間子供の喧噪を経験した人は少くないであろう。コンクリートという反射面に囲まれた広場はそのまま一つの反響箱である遠い街路の騒音もそこで一旦高められて居室に送り込まれる。できるだけ凹凸の大きいエレベーションと平行にならない棟配置が望ましい。

春ともなればお互いが窓を開放して生活する。そのときはアパート居住者は外からの騒音に裸で接しなければならない。騒音の苦情の数は毎年春から夏にかけて急上昇する。APHAの住宅の敷地の騒音忍限度の標準は時間の50%以上が45ホン以下（推奨40，忍限60）90%以上が60ホン以下（推奨50，忍限70）という。鉄筋アパートでもできるだけ静かな敷地を撰び，設計にも多くの家族がお互いの生活を騒音でわずらわされることなく，個人住宅あるいはそれ以上の快適さが娯しめるように音響上の考慮が望ましい。鉄筋アパートはいまそのような都市社会的な要求を荷い，またその多くを期待されている。

（筆者　建設省建築研究所）

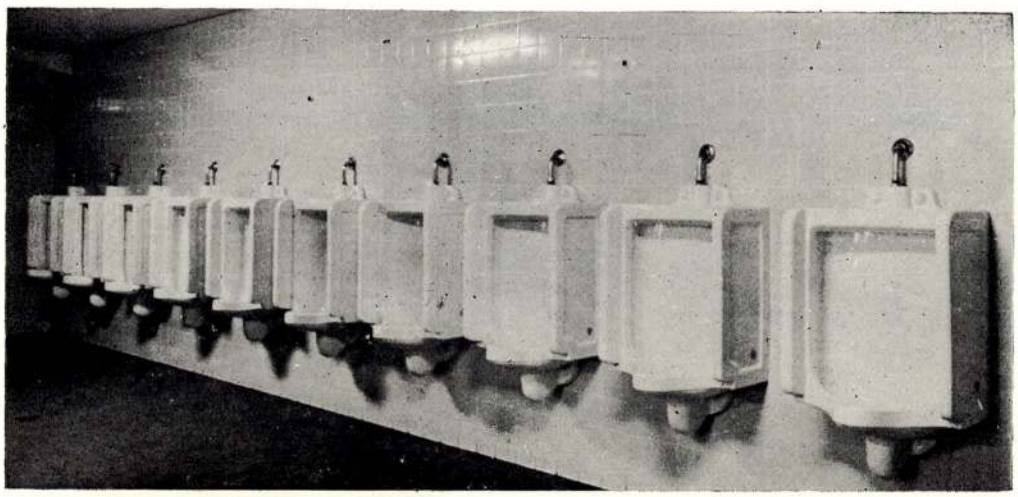


最高の品質・最大の生産を誇る！

伊奈の
タイル・衛生陶器

Inaseito 印 附属金具

伊奈の鳩印衛生陶器には Inaseito 印附属金具をセットで御利用下さいます様おすゝめ申上げます。



本誌で見たと御報知次第カタログ進呈

IS 伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電話常滑(代表)700
東京事務所　中央区西八丁堀2－8　電話築地㊽5261・5262

各ボード・ヤハズラス
プラスチック新材

生きる建築・魂ある材料

化学文化建材

株式会社 山本建材社

大阪・四ツ橋
支店 南堀江・立花通

日建協会優良証

スロール

断熱と防水は絶大
かるくて靜圧力に驚大
化学工場、浴場等温度調節に

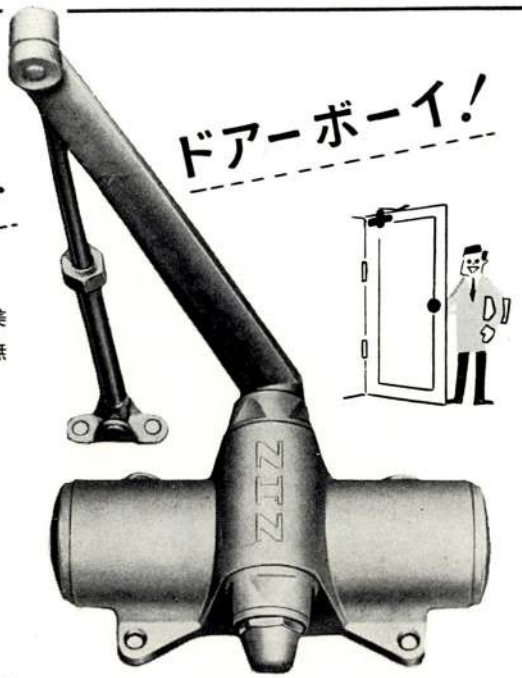
NHN

あなたの忠実な…

型状優美
故障絶無

日・米・英・独、各国特許

ニッカナ
ドアーチエック



日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

吸音サンライト

厚さ	大きさ	孔	ピッチ	孔数
1.3分 1.5分	1尺角	5 ㍉	15 ㍉	18×18
1.3分 1.5分	1.5尺角	9 ㍉	23.8㍉	18×18

1.3分厚¥1,400（坪）1.5分厚¥1,600（坪）

接着剤はセメダインKKの
サンライトセメダイン

- ○ 硬　　度　大
- ○ 強　　靱
- ○ 耐　　水
- ○ 難　　燃
- ○ 施工簡易
- ○ 美　　麗
- ○ 塗装容易

硬質繊維板（ハードボード）

サンライト

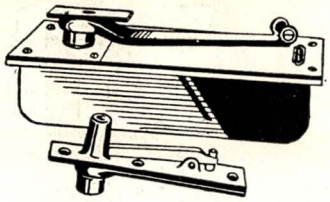
厚さ	標準サイズ	重量(枚)	価格(枚)
1.3分（4㍉）	3尺×6尺	6.0kg	¥ 390
	4尺×8尺	10.7kg	¥ 850
1.5分（5㍉）	3尺×6尺	7.7kg	¥ 620
	4尺×8尺	13.5kg	¥ 990
2.0分(6.5㍉)	3尺×6尺	10.5kg	¥ 800
	4尺×8尺	18.5kg	¥1,300

製造元　日本レイヨン株式会社

厚さ	大きさ	凸部	凹部	価格(枚)
1.5分	3尺×6尺	30.5㍉ 62.5㍉	20㍉	¥ 750
2.0分	2尺×8尺	56.5㍉ 30.3㍉	30㍉	¥ 750

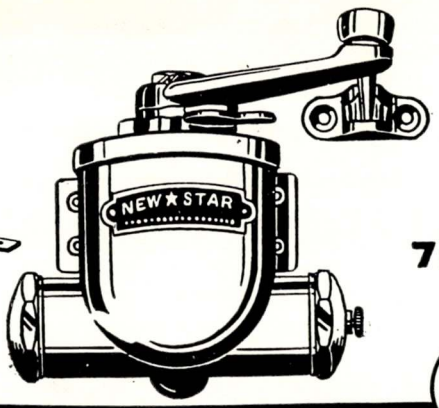
リブサンライト

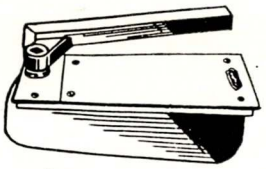
NEW★STAR

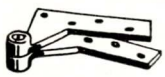


ドアーチエック

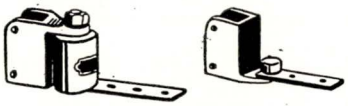
フロアーヒンヂ







フロアーヒンヂ



ラバトリーヒンヂ

輸出　好評

ニューヨーク・ロスアンゼルス・マニラ・台湾

日本ドアーチエック製造株式会社

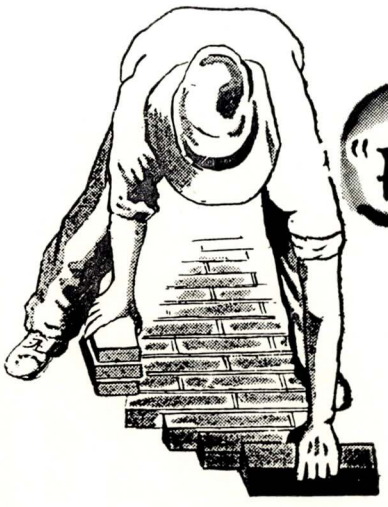
取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　布施市横沼町三丁目十一番地　電話 大阪 (72) 代表6666—9
東京支店　東京都千代田区神田錦町一丁目二十三　電話 東京 (29) 1920・4920

ORIENTAL

ORIENTAL METAL MFG. CO. LTD.

ASPHALT BLOCK



アスファルトブロック

"For Heavy Duty Floors & Pavements"

用途…橋梁用・プラットフオーム用及耐酸床用

厚サ20-25-38-50粍　巾 120粍 × 長サ 240粍

オリエンタルメタル製造株式会社

本社及工場	尼崎市長洲字稲川新田44番地	電話　大阪㊟4947～4949
東京支店及工場	埼玉県北足立郡蕨町塚越	電話　川口5978・2736蕨252
九州支店及工場	福岡県八幡市東浜町16番地	電話　八幡723・2512
東北支店及工場	福島県郡山市外冨久山町久保田142	電話　郡山267
名古屋営業所	名古屋市熱田区三本松町2の35	電話　名古屋⑧7674
延岡作業所	宮崎県延岡市北町45番地	電話　延岡3632
岩国作業所	山口県岩国市今津川口	電話　岩国776
宇部作業所	宇部市浜通り2丁目	電話　宇部511

ORIENTAL

書　評

「対立と調和」
ブロイヤー建築論

古ぼけたアパートの12階。ドアーだけが近代的に朱色に塗られて，MARCEL BREUER とホワイトブロンズの文字が小さく浮び上っている。この紐育のブロヤー事務所に一年を過した芦原義信氏によってこの本は編まれた。

原著は Marcel Breuer : SUN AND SHADOW, The Philosophy of an Arehitect と題せられ，ブロイヤーの論文と作品にピーター・ブレイク氏が解説を加え編輯したもので，本書はさらに芦原氏の解説がこれに加ったものである。ブロイヤーの作品が建物と自然との関係にしても，材料と材料との関係にしても，常に相対立するものを並べ，その両者の間の緊張感による調和を創り出していることから「あえて日本版では**対立と調和**と題したものである。」と編者はいっている。

内容は三つに分類することができる。第一は**建築の原理**と題せられている章であり，ブロイヤーが彼の基本的哲学建築における二元性を述べている。原著の題名，**太陽と影**はこの輪の中の言葉である。なおこの章に収められている，都市計画論ははなはだ具体的で実際的である。一般にブロイヤーが本書の中で述べている言葉は具体的，実際的である。第二は**空間の技術**の章で，建築は空間を創ることであり，近代的空間は「流動する空間」であるという論を掲げた後，空間を造る要素としての「構造」「色」「質感」「階段」「陽よけ」「家具」……などについて実例により説いている。「陽よけ」の項は最も力が入れられている。第三は**作品と計画**の章で，1928年のパイプの椅子から1958年のユネスコ会館に至るものが収められ，解説と相



144頁，彰国社，¥1250.

俟ってブロイヤーの作品と人の全貌を知ることができる。

派手で詩的なコルビジェの文章とは違って，ブロイヤーは親しみやすい言葉で静かに語っている。平易な言葉の中に彼の深い考えを知り，控え目な表現の中に彼の強い信念をうかがうことができる。原著とは少しばかり違った体裁で造られているが，写真はブロイヤーから直送された原板によるもので実に美しい。レイアウトも行きとどいて好ましい。

（日建設計工務KK　**岡橋作太郎**）

日本の民家　高山・白川
撮影・**二川幸夫**　文・**伊藤ていじ**

二川君は随分前から民家を撮っていた。二川君がこんなに凝って日本のものを撮るようになった動機は，彼の学生時代美術出版の大庭氏に，奈良の石仏を撮ってみないかとのことで，大阪出身の二川君が撮った写真を土門拳氏が激賞したことにはじまる。全く彼はよくあるいた。ほとんど暇さえあれば，35ミリのカメラをたずさえて，草や木の根をわけて歩いた。秋田にいるかと思うと，こんどは山陰というふうに。しかし今度出版されている日本の民家の写真は全部キヤビネ版で撮り直したものである。それだけ出版社は力をいれたことになる。

二川君は当初建築科に席をおいたが，その後文学部に転じて，英文をやったり美術論をやったりして早大を完うしたが，その間7年間を在学



美術出版社・¥390

した。ちょっとしたかわり種ということができる。実は私も高山・白川がすきで戦前に二度出かけたほか，戦後も六度出かけた。この図集にでてくる民家は，大体みてあるいた。いくらカメラとはいえ，これほどまでに刻明に民家をえがき出したことは，彼が建築科に席をおき一時は建築家になろうとしたノスタルヂアが亡霊のようにまつわりついているようでもあり，一種の凄さをさえただよわせている。私はたびたび訪れたことがあるせいか，この民家の写真集を手にとっているといろいろの飛弾の人々の生活がよみがえって想い出される。

それほどこの写真はリヤルに取扱われている。

伊藤ていじ氏の文はあまりにも歴史的な説明におちいりすぎて，こんなことならいままで沢山出た歴史や民家の本をひもとけばよいので，ちょっと写真と文が一致していないことが残念でならない。

願わくば，もっと写真に密接した説明をしてもらいたいし，建築の関係者以外にももっと民家のことを知ってもらいたいので，簡単な説明で写真の説明をしてもらいたかった。しかし必ずこの弊は今後出る図集ではあらためられることと今後に期待をよせたい。（三座建築事務所**徳永正三**）

大宅・吉阪論争

昨年来，建築家がジャーナリズムの関心を呼んでいる。これは悪いことではない，一般の人に理解していただける道程として歓迎すべき風潮である。中には，挽歌ブームのようにいささかくすぐったいのもあるが昨年暮読売紙上で演じられた大宅・吉阪論争は風当りのきつい方に属する。大宅氏は婦人朝日30年12月号の文士連中のモダーン住宅攻撃と巷間伝えられる都庁批判をひっさげて登場した。ところが受けて起った吉阪氏が，それは30年前の古い考えであり文士連中の意見は趣味嗜好の片寄った片輪者の意見で採るに足らないと一蹴したから堪まらない，シメタと大宅氏は早速，100年 前の考えで差支えない，人間の生活はそんなに変るものじゃない，大体近代派建築家は航空郵便でスタイルブックを取寄せて注文取りに歩く洋裁家とどこが違うんだ，ここで建築，芸術論をやるつもりはない，都民として公費の使い方に疑問を述べる権利と義務があると河内山よろしく尻をまくった。大体議論というものは大人がやる以上お互いにそう間違ったことをいうものじゃない。早く発言の前後事情とその立場を理解して，ルールに乗せるようにしない限り，売り言葉に買言葉，闇夜の鉄砲になるのは当然である。その点建築家であるわれわれには両者のいい分がよく判るし，今度もまた，すれ違い論争だということも判った。僕なんかは建築家仲間では往々大宅的言動を弄し，一般の方には高級なる芸術として建築を話す傾向があるのだが，その根拠は人を見て法を説けに帰する。吉阪氏もいうべきことをちゃんといっているのだが，他人の作品の弁護だけにやりにくかっただろうと同情するが，ちょっと気になったのは庶民庶民といってる割合に，も一つ具体性に乏しい点だ。むしろ大宅氏の発言の方が庶民的でリアルである。黒人国家の建築と都庁のそれとを区別してない点に至ってはホホエましいのだが，しかし彼は千軍万馬の古強者だし，芸術を知らぬはづはなく，国会における代議士的言動の臭いが多分にする。建築論，芸術論をやるつもりはないと断っている点がクセモノである。僕も血気にはやる脳溢血型なので，酒呑みの寝覚めの不快感同様のものを始終しょうこりもなく味っているのだが，それだけに，なるほど，しかしこういう事実も考えられませんかと，受けて起ち敵の出方で勝負する横綱相撲を身につけたいとかねがね望んでいるのだが，横綱自体引退ばやりの昨今なかなか難しいことではある。今度の場合，卒直なところ，赤面髪面の諸国修業の浪人に，若い武士があしらわれた感を拭いきれぬ。今度もまづ新聞社が喜び，大宅氏がニヤニヤしたところで一応終ったというべきか。以前に「世界」誌で建築評論家の座談会があって，それを読んだ僕の友人が，建築家は難解な言葉を使うもんだな，とニヤリとしよった。今度の論争は判りやすい方だが，これも自己反省すべきことかもしれぬ。この論争後「日本」誌新年号で手打式の座談会があった。大宅氏が相変らずインネンをつけようとしているが，宮城音弥が仲裁役で一枚加わっていたから，しおらしく当り前の話に終始して，僕なんかの弥次馬には面白くないので省略する。ただ，大宅氏にアイサツにゆく気のある方には，大宅氏自ら指図して数軒家を建てたといっているから，それを見て置いて対談するに限ることをそっとお教えしときたい。―昭33.2.10―

（阪大工学部助教授　足立　孝）

最近の公団住宅

公団が設立されてから第3年目に当る32年度は工事量において大きく伸びた年ですが，住宅の内容について強いて特質といえば次の諸点があげられます。

1. 住宅規模の多様化

住宅の規模を簡単に表わすのに2DKとか3Kといった呼び方をしています。2DKとは2寝室（主として畳敷）とダイニングキチン，3Kは3寝室とキチンを組合わせたものであり，従来最も需要の多い13坪前後の2Kもしくは2DK一本で進んできましたが，最近は1C（単身者住宅）から1DK（新婚者住宅），さらに大きいものは3K，3DKと規模にヴァラエテーを持たせて比較的大家族も住める住宅を作っています。もちろん2DK程度のものが主体になっているが，いい換えれば比較的に収入の低い新婚者にも狭いながらも安い家賃で文化生活をというのが1DK住宅であり，家賃は高いが広い住宅の欲しい人は3K，3DKをというわけであります。ここに代表的な1DKおよび3Kのプランを紹介します。

2. ユニットキチネットの採用

従来の設計を見ると住宅機能に大きな役割を持つ台所が非常に無雑作に取扱われていたことは否定できない。極言すればプランニングの寸法の皺寄せを台所へ持ってきたともいえる。これに対する解決方法として（イ）適当なシンク，調整台，コンロ台とさらにその他水屋，冷蔵庫等の収納スペースを確保すること。（ロ）食寝分離の面からダイニングキチン型式を多く採用している関係上台所を美化しなければならないこと。（ハ）施工の面から細々して不統一になりやすい現場の作業をできる限り工場生産に切換えて製品の均一をはかること。（ニ）管理の面から今後の部品の交換，補修が容易であることなどの理由から生れたのがユニットキチネットであります。シンクの大きさ，高さ等についてはとくに奈良女子大の北村先生，神戸山手短大の竹内先生の御熱心なる御指導をいただき，現在使用している直型，L型の二型式が決定されたが，当初はこのため在来の住宅平面を修正の関係で一部変形的なものを使用した例もあります。シンクは全部ステンレス製，調理台はデコラ張りとなっていますが，同一規格の量産によってプレスによる加工が可能となり，市価のものと比較すれば非常に安い価額で製作できたことは今後他の方面にも大いに応用して考える余地がある。

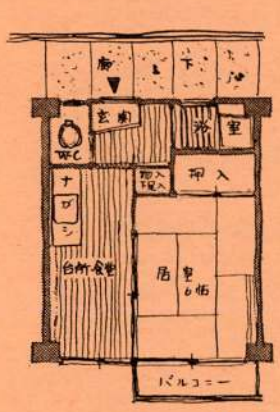
3. 高層住宅と店舗付住宅

従来都市の美化と不燃化で最も問題があるのは都心部の住宅，店舗付住宅であると思われる。日照と風通しの悪いビルの谷間の住宅，火災の不安におびえる不健康な住宅の現状から今後の都心部の住宅の実施については当初から検討が加えられていたが，漸く実施の段階となり，西長堀の高層住宅は11月完成の予定で目下コンクリート打の最中であり，店舗付住宅もすでに竣功した神戸切戸団地を始め数団地が目下工事中であります。

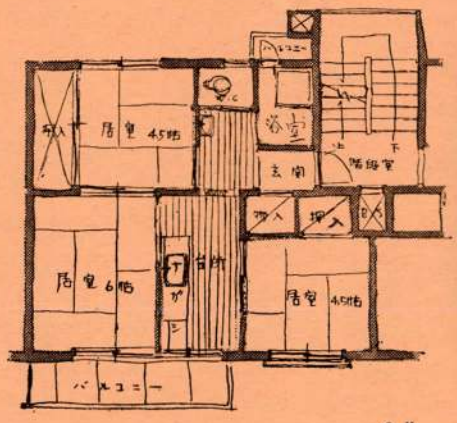
4. コミュニティー施設の整備

最近の傾向として団地が比較的大規模になったが，さらに今後宅地部において開発された大規模な団地が引き続いて建設されることになればこれ等住宅団地の環境の保持と文化生活への母胎となる共同施設は必要欠くべからざるものとなってきた。公園，学校，病院，診療所，マーケット，バスセンター，郵便局等さらに小団地においても児童遊園，広場集会所，管理事務所等の施設の建設がとくに取上げられ，今後の新しい団地には計画的な実施が行われており，既成団地にも補充がある程度まで実現された。つまり住宅の集りの団地から社会的機能をもった団地へと一歩前進できたことは大いに意義があろう。

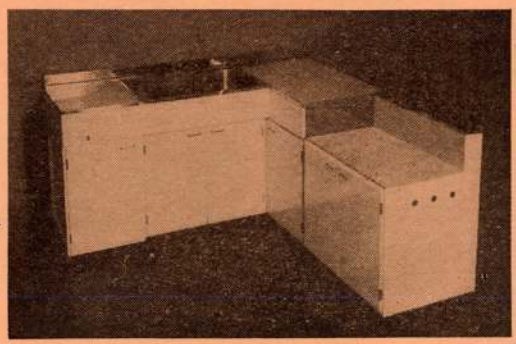
（日本住宅公団大阪支所 **吉田圭三**）



1DK



3K


L型キチネット（大阪型）

投稿歓迎

かいいんの声

「会員の声」欄にどしどし御投稿下さい。自由な討論の場として御利用下さい。内容は自由。字数は400字～1,000字。

「建築と社会」批判

建築協会がどんな目的と経緯のもとに設立され，また設立以来どれほど関西の建築界に寄与できたかについては，若輩の私などには知るよしもないが，少くともその意義は建築に関係する人々および団体の交流と親和をはかり，建築界の発展に寄与することにあることは確かなようである。したがって「建築と社会」なる雑誌もその目的に沿って編集されるのは当り前の話であろう。してみると，最近の（過去のことは知らないが）「建築と社会」は一応はその線を忠実に守っており，構造から材料，施工，意匠，歴史，行政，設備等々に至るまで実に多方面にわたる記事を持ち，少くとも読者は関西の建築界の動勢をこれによって窺い知ることができる点においては，ほかの建築雑誌とは異った持味があり，しかも雑誌としての形態も漸次整い，〝このごろの「建築と社会」はよくなった〟という声を私もしばしば耳にするし，事実自分自身もそう思うものである。ところがどうヒイキ目に見ても何かしら喰い足らぬ，飽き足らぬ点の在ることを感じているのはあながち私一人ではないであろう。それは何かと改って開き直られると実は私も説明に困るのだが，この飽き足らなさを感じさせる因となっているのではないかと考えられることを思いつくままに記してみたいと思う。かく申す私自身は三年ほど前にほんのチョットした機会から協会に入会することになり，何時とはなしに協会の仕事の一端の手伝いもさせていただくことになった者であるが，協会の内情の一部を見聞するにつれ，なるほど無理もないと思われる節もあるにはあるけれども，一応そのような同情心を捨てて，単なる一会員としての感想にしたいと思うので，あるいは馬鹿げたことと一笑に附されるかも知れないが，よろしく御批判を仰ぎたい。

× × ×

まづ第一に，協会当事者は協会々員の実態分布をどの程度に認識されているのであろうか。すなわち職場，年令や専攻部門，階層などのある程度正確な実態の把握のない限り，建築協会のような特殊の組織における雑誌の編集態度がとれる筈がないと思うがどうであろうか。広範囲の会員であるからには，各会員がこの雑誌から何かを得ようとする（そのために入会した筈なのだから）その目的が相当多種多様になっているはずで，それをただ漫然と手当り次第に集った原稿によってそれを羅列するだけでは，本当の意味での協会員への恩恵にはなっていないのではないか。ことに見学や講習会などのチャンスに恵まれにくい地方会員にとっては雑誌が唯一の恩典となっている実情においては会員が何を知りたいか，何を求めているかを見極わめた上で，雑誌をもってそれに応じることを協会事業の第一とすべきではなかろうか。

× × ×

大きく会員の構成を雑誌中心に分類するならば，

①作品，論文，資料等を紹介して一般の批判を受けようとするもの。

②それらの紹介されたものを自己の知識として吸収することを第一の目的とするもの。

③当今の建築界の推移，動勢を雑誌によって知り，相互の交流に資するもの。

の三つに大別されよう。大体の傾向として，①は中堅級②は青年層，③は高年層にそれぞれ多いと思うが，ここに注意すべきは，昨今の「建築と社会」は③の臭いがいささか強すぎるのではないかということである。なるほどこれは協会の本来の目的にもっともかなったことといえるであろうが，日々発展を続ける建築界の将来の鍵を握っている青若年層が本当に求めているものは何かということを真剣に考えてやるべきではないだろうか。「建築と社会」が一部の老大家や学識経験者のみの同好雑誌では決してないこと，ましてやお年寄りの方の懐旧の場や暇つぶしの場のみであっては断じてならないものと思う。

× × ×

しからば，次に焦点を前の①，②にしぼって見よう。この部類に登場するのは，

(イ)いわゆる建築ジャーナルの類に属するもの，すなわち「新建築」「建築文化」等によって代表されるもの。

(ロ)建築論文および作品，資料の紹介を主とするもの，すなわち「建築雑誌」によって代表されるもの。

(ハ)より身近で直接的な技術の解説または啓蒙を目的とするもの，すなわち「建築技術」の類。

の三種であろう。ところが過去の「建築と社会」がこの何れにも属していないことは，会の主旨からいっても構成からいっても明らかなことであるが，反面，この(イ)，(ロ)，(ハ)，いづれにもかなりの欲を出そうとしているかの感がある。しかもそのうち，いづれかに徹するならばことは簡単だが，それも許されぬとあって，どれもかも満足さそうとするあまり，どれもが中途半端であり，またその内容もほかの雑誌に比べて見劣りすることは誰もが

三品哲夫氏の「建築と社会」批判の御意見ありがとうございました。そのほか，2月号記載の堀口萬吉氏の「建築と社会」に対する御意見もありますので，これらに対して，編集委員会より若干の点にお答えする義務があろうかと存じ，その文を発表する予定のところ，紙数の都合上，本号にはのせられませんでした。来月号にはぜひ発表するつもりでおります。今後できるかぎりこれらの御意見にそうよう努力いたしますが，なお，きたんのない御批判をお寄せ下されば幸いです。（編集部）

認める点であろう。「建築と社会」の物足らなさの最大の因はここにある。しかし私は雑誌の記事自体の技術的あるいは学術的なレベルの高さをいうのではない。また写真や装幀の上手下手を申しているのでもない。もっとも指摘したいのは編集方式に一本の筋金が通っていないこと，つまり確とした理念を持たないことなのである。

× × ×

ここで私は次のような提案を試みたい。一本筋を通すといま述べたが，これは具体的にいうならば，さきに記した(イ)，(ロ)，(ハ)の分類のいずれかということを離れて，もっと別の見地から編集を試みること，つまり，結論をいうならば，関西を基盤とした広い意味での建築ジャーナリズムを振興することである。だがこれは現在の日本の建築界をほとんどといってよいほど動かしているかのような関東の建築界に抵抗して一大勢力を打樹てようというほどの大袈裟なことを目論んでいるわけでもなく，また関西という地に根ざした建築の持つよさを改めて見直して貰うようなチッポケな意味でもない。関西を基盤としている建築がいかなる過去と現在とを持ち，またいかなる将来を目ざすべきかを会員にしっかりと認識して貰うための資料と指針を掲げていただきたいのである。すなわち過去の受動的態度から積極的態度への転換を切望するものである。

× × ×

なるほど関西の建築の作品や資料は毎号紹介されており，それが「建築と社会」の特色にもなっていることは十分私も認めるものであるが，いままでのそれは余りにもイージーな原稿と写真との羅列に過ぎず，あたかも「随筆集」の観すら呈している。これは一部の老大家の皆さんには，肩の凝らない読物として喜ばれるかも知れないが，会員の大部分を占めている（と思われる）中堅級，青年層，あるいは学生層には到底魅力が薄いのは当然といえるのではないか，論文だとか技術に関する専門的な高いレベルのことは，ほかの雑誌に任せるぐらいの気持が望ましいし，また作品の紹介にしても通り一ぺんの他の真似事みたいなことをせずにもっと異った角度からの採り上げ方があろう。アレコレと色気を出さぬよう根本的に考え直していただきたいものである。

× × ×

そこで次に考えられるのは，編集スタッフの問題である。編集の経緯に関する詳しい事情については私は知らないが，編集委員会というものが一年任期の委員によって構成され，またその委員は皆それぞれほかに本職があるのでサービス的にこの仕事を受持っていただいているため，会合も月に一二回程度で済まされ，後は極めて少人数の協会事務局員によって雑務が処理されているように聞いている。めいめいが多忙な仕事を抱えている会員の大多数がこの「建築と社会」を頼りにしているとするならば，もっと真剣な編集者の構成を考えるべきではなかろうか。この編集の仕事に専念できる固定した編集部を設けることが理想的であるが，それが無理だというならば，当事者には御苦労この上ないが，少くとも数年は継続できるような編集委員を，もっとも適当だと認められる人々に委嘱し，その人々に対しては相応の礼をもって報いてあげるのが正しい方策ではないかと，局外者ながら感じているのであるが，いかがなものであろうか。

× × ×

さらに加えたいのは「建築と社会」の紙面のうち，相当の割合を占めている広告欄のことである。一月 100円の会費で，あれほどの雑誌を作るとあれば，まことに止むを得ないと仰言るであろうが，私自身協会の仕事の手伝をしていていつも感じている協会経営の弱体さを，この雑誌においてもマザマザと見せつけられる思いがするのである。あれでは雑誌の内容自体の価値を見てもらうという意気ごみと自信があろうとは決して思われない。経営のことについては全く素人の私ではあるが，広告代その他にオンブした恰好の不健全な現状が，いつまで続けられるか大いに疑問の点である。

× × ×

以上つまるところ，「建築と社会」なる雑誌に感じられるマンネリ傾向について挙げたわけであるが，これらは昨年春から大体月に一度協会事業の一つとして行われてきている「若い会員の集い」でことあるごとに持ち出される話題となっていることをつけ加えたい。もっとも大切な雑誌がこの際思い切った大手術を試みなければ，いくら声を大にして会員増加運動を繰返してみたところで傷は深くなる一方であろう。最近20才前後の若い会員の入会が多いようであるが，これは会費が比較的安いところに魅力があるからに過ぎないとさえ私には思われ，いつかはそれらの人々に倦き去られることにならないとは誰が保証できよう。手術に出血はつきものである。それを恐れず努力していただくことを協会当事者にあえて切望する次第である。

暴言が重なり，ある向きには失礼の限りであろうと思うが，その点御寛容いただければ幸いである。

（33.3.1）（会員 大阪市役所 **三品 哲夫**）

彰国社新刊案内

新刊 **日本の庭園**

吉永義信著　日本の伝統的庭園の成立を庭園史的に詳述し美しい写真により紹介した逸本
A 4変形238頁 特製函入 定価 ¥3500 〒200

不静定構解析

角田重喜千著　不静定構解析の得難い便覧として頁毎に問題を挙げ解明した必備の大著作
B 5判288頁 ビニール函入定価¥1650 〒170

現代家具の詳細(1)

西海健彦著　現代家具の新しいデザインのあらゆる詳細図を原寸によって収録した好図集
A 4変形98頁　特製函入　定価 ¥900　〒90

現代建築を動かすもの

浜口隆一・目良浩一編　現代建築の問題意識の解明を意図して刊行される示唆に豊む好著
B 6 判200頁 上製ビニール張 定価¥280〒30

62. ホテル
建築写真文庫・3期全30巻

彰国社編　さまざまな種類のホテルについて外観内装を写真により紹介した実用的な図集
B 6 判88頁　総アート上製 定価 ¥300 〒30

69. 寮・アパート
建築写真文庫・3期全30巻

彰国社編　最近の新しいデザインになる寮・アパートを写真により収錄した具体的な図集
B 6 判88頁　総アート上製　定価¥300 〒30

32. 音響入門(1)
建築文庫

久我新一著　音響学の基礎的な実用面を手っ取り早く問題集形式により収錄解説した好著
B 6 変形150頁前後 上製 予定価 ¥190 〒20

47. 照明と色彩の考え方
建築文庫

小木曽定彰著　建築における照明と色彩の考え方を各分野の人にわかるよう書れた啓蒙書
B 6 変形　178頁　上製　定価　¥180　〒20

重版 **現代建築の詳細・I一般詳細篇(1)**

中善寺登喜次著　同一縮尺のデータ・ブック
A 4 判　98頁　上製函入　定価　¥900 〒90

構造力学・Ⅲ梁・長柱篇

鷹部屋福平著　世界的権威の執筆になる教材
B 5 判186頁　上製函入　定価　¥650　〒70

建築ハンドブック・7資材

猪野勇一著　工事別に収錄した実用的な好著
B 6 判　458頁　上製　　定価　¥500　〒50

実用建築設備

桜井省吾著　実地に直結させた好適な参考書
B 5 判304頁　上製函入　定価　¥600　〒60

西洋建築史図集

日本建築学会編　教材用として最適な好図集
B 5 判198頁 上製総アート 定価 ¥450 〒50

図説日本住宅史

太田博太郎著　図と対照して解明した手引書
B 5 判　88頁　上　製　　定価　¥200　〒20

桂離宮の飛石

丹羽鼎三著　実測配置を写真で捉えた好資料
B 5 判 98頁　総アート　定価　¥600　〒60

建築文化合本・VOL.14

彰国社編　1957年上半期分6冊（No.122—127）B 4変形判　上製　定価 ¥1300　〒130

建築文化合本・VOL.15

彰国社編　1957年下半期分7冊（No.128—134）B 4変形判　上製　定価 ¥1530　〒160

東京都千代田区平河町2—11・電話(33)営業—0298・2851　編集—1745・4523　振替東京173401

会 合 便 り （2月分）

通常総会

26日　4時——5時　　於会館集会室

竹腰会長の議長で開会，下記の選挙を行い，別項会告の通りそれぞれ当選が決定した。出席会員16名。

監　事　　1名

評議員　　35名

なお総会開会前に「日本の鉄鋼」および「千里山団地建設記録」のカラー映画を観賞した。出席者約40名。

理　事　会

12日　4時——5時　　於会館会議室

出席者　鴻池副会長外6理事　山邑監事

事務局 2名

議　事　(1)通常総会開催の件　2月26日に開催の上監事，評議員の選挙を行う件を承認。(2)損保規則説明会開催の件　3月中旬に同説明会を開催の件を承認。(3)創立記念日行事の件　当日は日曜に当るので繰上げて前日の 3月29日に実施すること。行事として大阪建設会館において映画会を開催し終了後同所にて祝賀ビールパーティを開催する件を承認。(4)協会の会歌を作成する件　意見交換の結果さらに後日審議を続けることに決定。(5) 入退会者承認の件。(6) 報告事項。

評議員（技術部門）懇談会

10日　3時——4時　　於会館会議室

出席者　奥島副議長外 6 氏　事務局 2 名

次年度監事，評議員の候補者推薦に関して懇談し，推薦候補者を決定した。

事業委員会

3日　5時半——7時半　　於会館会議室

出席者　鷲尾 岩崎正副委員長外 9 委員

事務局 2 名

(1) ゴルフ同好会結成について，準備委員を委嘱して具体案を検討することに決定。(2) 協会の歌作成の件，会歌を作ることに決定して理事会の審議を願うことにした。(3) 2，3月の事業企画，若い会員の集い，見学などの予定企画を承認。(4) 損保規則説明会開催の件　開催することを決定。(5) 建築材料説明会の件　説明会開催の規定を作成することとし，規定案作成を井上，内藤の両委員に委嘱した。(6) 創立記念日行事の件　一般公開の映画会を開催し，終了後祝賀ビールパーティを催すことにした。(7) 報告事項。

編集委員会

小　委　員　会

4日　3時——5時　　於会館集会室

出席者　足立幹事，岩本委員，事務局 2 名

3 月「世界の建築」特集号に収載の写真の最終選定を行った。

委　員　会

8日　2時——5時　　於会館会議室

出席者　佐野委員長外 7 委員，事務局 4 名

議　事　(1) 3月「世界の建築」特集号経過報告。(2) 4月「住宅」特集号経過報告。(3) 5月「軽量構造」特集号の企画　一般論，各論，軽量構造と材料の各項目についてそれぞれ取扱い題目とその執筆依頼者を予定した。なおほかに紹介として「車輛の新しい型」および書評を取上げることに決定。

教育委員会

建築設備小委員会

10日　3時——5時半　　於会館集会室

出席者　竹内委員長，中原主査外 5 委員，

事務局 2 名

講習会開催趣旨の発表文案を検討審議した後，空調および電気の各分科の主査から講習科目の項目についてそれぞれ説明を開き意見の交換を行った。

杭

株式会社　武智工務所

取締役社長　福留並喜

大阪市西区西長堀北通四丁目一〇細野ビル三六号

電話新町㊸九九五～九九八

間仕切天井・には軽量鉄骨・軽量鉄骨を・は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢

防錆完全・中空防音

合理的工法・責任施工

株式会社　奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町五六番地

電話北㉞四一三一～四

淺野ボード
大阪市店大阪市北区芝田町35　電(34)4673～76
支　店　東　京・名古屋・門　司
営業所　清　水・札　幌
淺野吸音板
スタックボード　…フレキシブル板
パネルボード　…厚4.5mm6.9.12
ライトボード　…天井用軽量板
アスベストスラブ　…硬質板厚10mm.15.20.25.30
淺野スレート株式会社

建築設備小委員と講師打合会

10日　5時半——8時　　於会館集会室

出席者　委員5氏，空調関係7氏，電気関係7氏，事務局2名

空調および電気の各分科主査からそれぞれ分科会で決定した題目と担任者を発表し，なお講義内容に関して意見交換を行った。次いでテキストの刊行について審議し執筆の都合で8月中に発行することにして6月の講習会実施予定を9月に延期することを決定した。

災害委員会

鉄骨計算便覧小委員会

11日　3時——4時半　　於会館集会室

出席者　馬場委員長外6委員，事務局2名

項目についてさらに検討を加えたが，とくに応力の計算の項についてその取扱い範囲などにつき協議した。なお資料の蒐集についても種々協議を重ねた。

出版委員会

21日　3時半——5時　　於会館会議室

出席者　奥島委員長外6委員，事務局1名

「床仕上工事」の原稿の提出を願い，未完のものは至急提出するようにすること，各原稿の章，節，項などの統一的なことを一応事務局で整理して下版し，ゲラ刷りを各委員に配付した上さらに意見を交換し協議することにした。

若い会員の集い

20日　6時——8時　　於会館談話室

出席者　三品主査外5名

本集いも今回で第7回を重ねたが，始めてゲストなしでの開催を試みた。「建築の芸術性について」のテーマで，出席者は少かったが皆熱心に意見を述べ合った。なお話につれて「建築と社会」に対する痛烈な批判もあり隔意のない懇談の会であった。

見　学　会

酒蔵「大関」見学会

22日　1時半——4時　　参加者35名

貸切バスで本会前を出発し，西宮市久寿川の「大関」恒和蔵を見学した。米田製造部長から酒造工程その他酒に関するお話を聞いてから，酒蔵内を順次案内して戴いた。最近の酒蔵は段々と近代産業の様相を呈してきているものが多い。古来からの製造方法も，機械化され，オートメーション化された部分が相当にある。一同は銘酒の芳香に咽びながら一巡の後，最後に絞りたての新酒を味って見学を終ったが，上戸党にとってはなかなかに魅力があったのではないかと思われる。4時　会社御好意による酒粕のお土産を頂戴して帰路につき，大阪駅で解散した。

各種陶管・大正便所・S.P.石綿パイプ・モルタル製敷ブロック・腰掛ブロック・スペンサー
セメント煉瓦・流司洗濯槽・塵芥箱・空気抜・ヒューム管
各種セメント製品・コンクリート製品製造・販売
三舟建材商會
大阪市住吉区上住吉町三一番地
電話住吉㊼2420番

＝特許＝
氣光式通風器　製造販売
開閉式レヂスター
特許第一五一三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀上通1の5
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

社団法人 関西建材協会・1月分・会報

理事会 16日 3時～5時 於ヤマ菊

青木副会長，室谷理事長，大和常務理事外12理事出席

諸報告 (1)12月分収支会計状態，(2)ダイジェスト発行経過，(3)名簿と時報進捗状況，(4)会員動勢等。

議事 (1)入退会詮衡別表承認，(2)2月以降午餐会開催の件，(3)改正後の各部門別部会開催の件，(4)建材時報発行に関し「建築と社会」掲載を今後1頁に縮少する件，(5) 第2回カタログ集夏期まで発行申合せ，(6) 岡山建築展応援と，岡山，広島等中間地方説明会挙行する件承認，(7) 会員バッチ追加製作と佩用励行店頭掲示会員章の新調製方ならびにこれが掲示励行方申合す。

新年会 16日 5時～8時 於ヤマ菊

出席者来賓として本会顧問置塩氏，竹中社長代理神谷支配人，手島日本建築協会常務理事，同沖田書記長，特別会員池田，井上，山田，松本，中野，谷口，後川福田，伊藤，川村，足立，津村各氏，会員は中村会長以下90余，合計110人，5時40分大和常務理事司会の下に中村会長の挨拶，室谷理長は本日のスケジュールを述べ最近の入会者および本日の来賓，特別会員を紹介それより開宴に入る。宴酣にして福引開始それぞれ面白おかしき景品に歓声を沸かし，終って特別景品として各社よりの寄贈品を来賓，特別会員に抽籤により贈呈，さらに歓を尽し，来賓神谷氏発声の下に万才三唱八時散会，盛会裡に本年のスタートを祝福した。

追而，当日景品の寄贈をいただいた下記各位に深甚なる謝意を表します。

KK明正社，田島応用化工，日本板硝子，旭硝子，ケントク，東日本化学，ライト製作所，東洋リノリューム，山崎産業，水島商店，極東化工，東洋々瓦，室谷商店（敬称略順不同）

なお当日の会場とサービスにつき特別便宜を与えられた会員藤中昭男氏に対し厚く御礼申上げます。

展示場委員会 21日 正午～2時 於会館三階

幹事柏原瀧青，関西タイル外9委員および室谷理事長大和常務理事出席

(1) 宣伝マッチ作製ラベル片面スポンサーを募ること (2) 地下室誘導方法，田村宣伝部長に一任す，(3) 一般宣伝方法研究，(4) 談話室利用チケット発行決定，(5)2月中に新年度出品交替の件，(6)定例日毎月第2火曜日とすることを申合す。

建物保全部新年会 21日 5時 於千寿

当番幹事不二化学社長藤本氏司会の下に下記協議。

(1) 懸案中の仕様書作製のことは三宮，マルシン，互光，小綠4氏に依嘱一任，(2) 建築技術家との会合の件，大和常務理事に一任，(3) パンフレット発行の件は清掃と器具を主題としてこれも上記4社に一任，(4) 部門改正による新入部員と従来の部員とは趣きを異にするから，今後とも別途に考えることを申合せた，(5) 慶弔の件，水島商店，ならびにマルシン商会店舗拡張改築に祝意を表すること，(6)経常会費年300円を年 500円にすること。その他意見交換後新年宴会に移り和気あいあい裡に散会9時。

新会員紹介 (1月中入会)

寿化成KK 硬質塩ビパイプ， 板東区今橋2.同和火災第二ビル (23)7616

ロックペイントKK ビニール壁塗料 西淀川区姫島町 (47)1555～9

日本化成工業KK 電気絶縁材，防水パテ 西淀川区姫島町 (47)3369

長瀬産業KK シリコン撥水剤 西区立売堀通南 (54)1121





展示室の一部



2月8日　防水工事材部会



徳永博士講演会



岡山士会一同と出展打合

社団法人　関西建材協会・2月分・会報

展示委員会　11日　3時～5時

幹事柏原灘青，関西タイル外2委員および室谷理事長外4理事出席

(1) 出品者交替の件，宣伝マッチラベルスポンサーの件，(2) 茶菓券利用方，委員理事は努めて利用申合せ (3) 地下誘導設備は今回は経費を約して簡単な標識とすること，(4) 正面入口は一般外来者が気楽に出入できるよう，また最近建築協会のスクーターなど毎朝夕出入し，そのたび展示棚や机を異動するなど不便につき改造方研究することを申合せた。

各地出張説明打合会　12日　正午～2時

伊奈，平田，ケントク，三和プラスチック，日立製作所，新興建材，淡陶，東亜ペイントなど各社は今次，岡山，広島における建材説明会出講に関し，大和常務理事と協議諸般の打合せを了した。

理　事　会　13日　3時～5時30分

室谷，笠原正副理事長外9理事出席

諸報告後(1)33年度予算編成，(2)三月評議員会開催，(3)四月定時総会開催，(4)店頭掲示の会員章調製方，(5)入退会の件，(6)建築協会評議員推薦，(7) 33年度役員半数改選，(8)講演会，(9)見学会開催の件，(10)理事有志定例懇談会開催の件，(11)事務職員定年制実施の件等協議した。

経済問題に関する講演会　21日　3時～5時　於会館4階

聴講者約50人

元大阪商議経済部長，同志社大学教授，経済学博士徳永清行氏を招じ，経済の見透しと中小企業の対処すべき事共につき，その薀蓄を約1時間半傾聴し一同深く感銘して解散。

新入会員紹介　（2月中入会）

三木塗装店　各種塗装工事　西区新町通3　(53) 2618

枝松商会　アスファルト製品　北区道本町41　(36)5858

立川ブラインド工業KK　ベネッシャンブラインド　西淀川区竹島町4　(47)1604

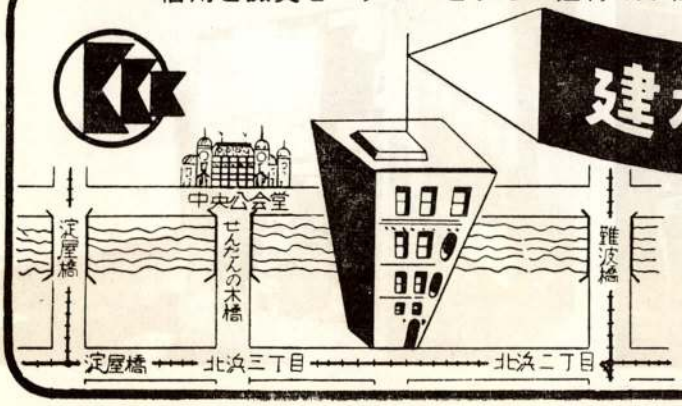
KK山作商店　タイル，衛生陶器　西区阿波座下通1　(53)5104

松本商会　土管，陶管，文化便所　生野区猪飼野中5　(73)4335

伊藤陶器KK　タイル，衛生陶器　住吉区粉浜東之町5　(67)4243

田辺化学工業KK　シリコン撥水剤　南区順慶町通4　(25)3277

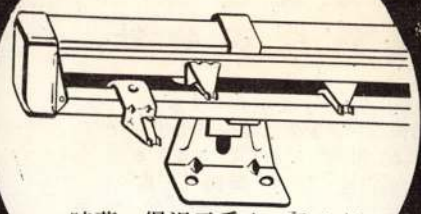
信用と誠実をモットーとする・建材100社の見本が一目で見られる



設計・施工・管理には
まずお気軽にお越し下さい

関　西　建　材　協　会
大阪市東区北浜三丁目三七　近畿建築会館内
電話㉓7172　振替番号 大阪 59739

1本で交叉できる
ライトの特許B型
カーテンレール



室内文化の向上へ

暗幕・保温二重カーテンに
最適です。

株式会社 ライト製作所
大阪市城東区京阪野江駅前
電話 代表 城東(33)1751～4・3638
営業所・東京・広島

田中式 スカイライト

スチールサッシュ
スチールシャッター
オペレーター
スチールドアー

ベンチレーター

田中工業(株)大阪出張所

設計施工

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2ノ89 電話 ㊽0545
本社 東京都墨田区吾嬬町東4ノ122 電話 城東㊽0870・0970
錦糸工場 東京都墨田区錦糸町1ノ25 電話本所㊱0790・5133
小倉工場 小倉市赤坂上の宿37 電話小倉0653・2833
川崎出張所 神奈川県川崎市東渡田3ノ43 電話川崎②4540
札幌出張所 北海道札幌市北三条東7ノ4 電話札幌③0515
盛岡出張所 岩手県盛岡市木伏179 電話盛岡2554
名古屋代理店 名古屋市西区西菊井町2ノ12岡田建材店 電話 西㊱0121

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事
専業大店

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(34)207～8・4836～7

電気工事設計施工
電気冷蔵庫・電気洗濯機
修理販売
工藤電気株式会社
大阪市北区太融寺町五四
電話・大阪㊱2891－5番
工場　大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話　淀川㊼3477・3478
営業所　東京・名古屋・神戸・岡山・広島

各種電気工事設計施工
淺海電気株式会社
取締役社長　淺海正雄
大阪市東区北浜二丁目六九
電話北浜㉓5273－5275・4241
営業所　東京・神戸・岡山・小倉・札幌

電気設備工事
設計・施工
朝陽電気株式会社
取締役社長　山本博三
本社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル6階
電話　大阪局㉓9531（大代表）
営業所　大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話　大阪局㊹5201番（代表）～3

電気工事全般設計施工
中央電気工業株式会社
取締役社長　今村騰
本社　大阪市北区曾根崎上一丁目四一
電話　大阪㉞8131代表～4
営業所　東京・新宮・御坊

電気工事設計施工
三菱電機・冷凍機工事特約店
株式会社　野上工業所
取締役社長　野上清二郎
本社　大阪市東区北浜三丁目四七　電話北浜㉓770～3
支店　福岡市上東町十五　電話東③5010
支店　松阪市本町　電話2480～2
出張所　東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分・四日市

電気工事設計施工
株式会社　**ヤマト電気商会**
取締役社長　山本龍太郎
本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話　㉞代3056
東京営業所　東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館502号室　電話㊾7464
出張所　名古屋・防府・福岡

電気工事設計施工
三宝電機株式会社
取締役社長　嘉納傳三
本社　大阪市大淀区浦江北二丁目五一
電話㊺5148・6460・6646
営業所　大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル八階）
電話㊱3862・1141
出張所　東京・名古屋

電気工事全般設計施工
株式会社　**三興社**
取締役社長　坪井大（タケシ）
本社　大阪市北区絹笠町50番地（堂ビル703号室）
電話　大阪㊱2138代表
支店　東京都中央区日本橋箱崎町三丁目二番地
電話　兜町㊲1478・1479・1470番
出張所　大阪堺・名古屋・下関

電気工事各種設計施工
株式会社　**松重電機商店**
取締役社長　松本芳太郎
大阪市東区今橋二丁目十六番地
電話　北浜㉓6951（代表）～3

電気設備工事
設計・施工
中本電気株式会社
取締役社長　中本正明
本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪㉝5143・5373
機器工場　大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫　電話　大阪㉝2193・2134

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一一・電話豊崎㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話祇園⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話元町④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 大阪電気商会
会社 大阪暖房商会

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話代表大阪㊹5231番
東京支店　東京都中央区銀座東二丁目一三番地
電話代表東京㊾4391番
名古屋支店　名古屋市中区南武平町二丁目一番地
電話代表名古屋㉔4491番
出張所　京都・神戸・岡山・広島・福岡・熊本
札幌・仙台・新潟・金沢・福井・高松

水道・衛生・煖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

齋久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話本町局㉖代表4496～8番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話28局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢本局②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話　福井2436
高松出張所　高松市中新町一〇六ノ三　電話高松5195

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 齋藤省三商店

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話土佐堀㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号　電話中局㉔1766

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業株式会社大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局 2951 3076
本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工場　川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生工業設備
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市福島区堂島浜通4丁目
電話㊺（代表1171番 / 代表1351番）
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話㊸代表7151
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤　1989
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話②代表4735

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社

西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電話福島㊺3416～8番
東京事務所　東京都港区西芝浦三丁目一番地
電話三田㊺9371番

空気調和装置及衛生設備
設計施工

株式会社 建材社

大阪支店
大阪市北区中ノ島三丁目（朝日ビル九階）
電話北浜㉓6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

山田工業株式会社

取締役社長　山田文次

本社　大阪市西区京町堀上通一丁目七　㊹代2613・2061
営業所　神戸市灘区福住通二丁目一の五二　⑧4996
出張所　名古屋市中区宮出町四七　㉔5721
〃　東京都北区上十条一丁目一〇　㉛2346
〃　岡山市桜町七六　②295

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区堂島北町一四　㉞代表7031
出張所　東京都港区芝琴平町四〇　㊿9278
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820
福井市宝永上町一〇五　1596
広島市石見屋町五五　②1938
福岡市柳原一丁目七　④1158

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設計施工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電話北浜㉓7641(大代)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島船大工町五三番地(毎日大阪会館内)
電話大阪㉞局8356（代表）
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
出張所 名古屋・九州 工場 東京都足立区

煖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山俊人
本社 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島㊺3391～4番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話四谷1324番
出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町④537番

アーマーコート近畿総代理店

近畿建材工業株式会社

営業種目
防水美装塗料……アーマーコート
特殊防水パテ……バルカテックス
ラテックスペイント…スプレッドサテン

販売並責任施工
大阪市北区茶屋町33 電話大阪㊲3003番

雨風に強く
緩勾配に最適

大和洋瓦（だいわ）

超軽量荷重（坪当37貫）和型より安い

発売元
大仏組 大仏瓦・各種和洋瓦 工事請負一式
本店 京都市東山区今熊野池田町九 ⑥3555
大阪営業所 大阪市東区内淡路町一丁目 ㊹975

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目五十三ノ一
(市電桜橋停留所前) 電話大阪㉞1274～6
支店・徳島・神戸・姫路・東京

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪㉕1756—7・東京㉙1335

陶管・ベンチレーター

株式会社 **三幸商会**

大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話大阪㉞3145

ヒューム管

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目卅一
電話新町㊸3426～7

三菱電機製

NFノーヒューズ分電盤 NFノーヒューズ配電盤
螢光灯・モーター・変更器・冷暖房・エレベーター

三菱電機株式会社元扱店

株式会社 立花商会

大阪市東区南本町二丁目四三番地
電話本町㉖0323・1575—9

鈴木式防火シヤタア

鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所
株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店
株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話堀川㉟3402・9034



タイル衛生陶器
販売と施工
奉仕感謝の店
株式会社 川岸窯業
大阪市西区靱南通二の二五（市電靱南通電停前）
電話㊹ 2571・2764 番

コペンハーゲンリブ
商月報無料送呈
井田ペンキ
井田商事株式会社
大阪市浪速区西円手町一、〇一七番地 湊町駅貨物八号門前
電話 (53) 4890・(54) 0808~9

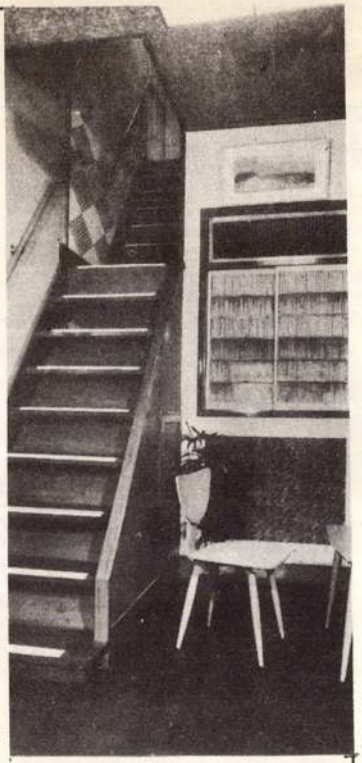
暖・冷房・空気温湿度調整装置 設計施工
各種送排風機・エロヒンヒーター・キャビネットヒーター
冷却塔・各種レヂスター・アネモスタット類製作
藤本鉄工株式会社
本社並工場　大阪市旭区赤川町三丁目二八　電話㊾1264－6
梅田営業所　大阪市北区神明町五〇　電話㊽1144－5
名古屋出張所　名古屋市東区駿河町一丁目三　電話⑨4594・5118
寝屋川工場　寝屋川市大字太間一九五　電話(寝屋川)0404

特許植物性　型枠離剥塗料
サンヒット
関西代理店　株式会社 金剛商會
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道電車　野里電停前
製造元 東京 坂巻サンヒット商会　電 淀川㊼0417・4091

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目七三　電話(64)五八六五
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量 水止付(空葺)瓦

N.G.C式
N.G.インシュライト断熱材製造発売元
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
責任施工　米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルトモルタル工事
内外工業株式会社
脇山静夫
本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話㊹3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
日楽の繊維板
ヤマハボード
二重色調浮出柄
カラーボード
ポリエステル化粧板
ポリプライ
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板



モデルルームへどうぞ

一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区幸町通3丁目20 **浪速合板** 電話 新町(53) 2201-3番

工場 大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81・電話 住吉(67)5109

Acoustic Tex 吸音テックス

株式会社 **室谷商店**

本社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮③0881～3
支店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141

燃えない建築資材

タイガー印

耐火ボード
石膏デスボード
タイガートーン

絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材

Y.N石膏プラスター
キーンズセメント
各種焼石膏

吉野石膏大阪支店

大阪支店 大阪市西区土佐堀通1—1(大同ビル)
電話(44)3694・0131
本社 東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話千代田(27)0701—2・7482—3
九州営業所 福岡市大字麦野260 電話西(2)7420

木毛セメント板



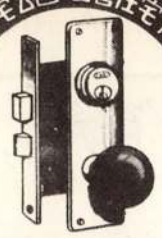
東邦商会
本社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話天王寺㉗1296
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山298番

マヂック ペイント
ゼラン ゼリー状壁塗料
JELLUN

特長
- 1回塗りで肉厚仕上げが出来る。
- 刷子，ローラー，スポンヂでも塗装が容易で，垂れたり流れたりしないので衣服を汚すことは殆どない。
- 乾燥が速い（指触30分）ので作業が容易である。
- ゼリー状のため使用前攪拌の必要がない。

大阪 **日本ペイント** 東京
名古屋・福岡・札幌

日本住宅公団・公営住宅御指定



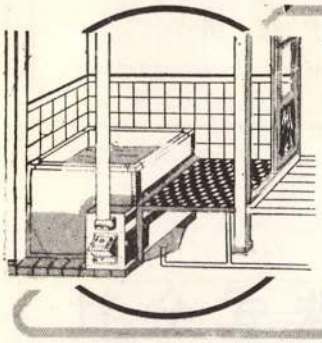
40年の技術の結集 御信頼に応えるゴール製品！

シリンダー扉錠

GOAL

シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠

株式会社
谷山製作所
大阪市東淀川区三津屋北通四　電話豊崎㊲3117・7724



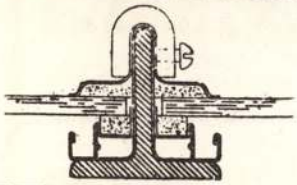
田中のガス風呂

清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

田中風呂製作所
大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊸5313・8128

坂本式スカイライト

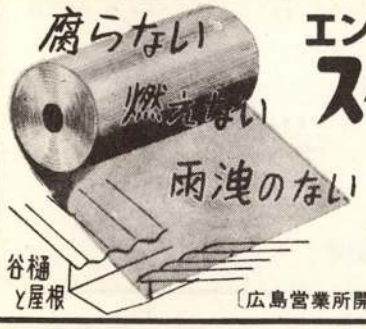


営業種目
坂本式 スカイライト 坂本式 ベンチレーター
坂本式 連続通風装置 一般建築銅工場

坂本商会大阪出張所
大阪市東区平野町1～4 電話 北浜㉓4643
本社 東京都中央区日本橋江戸橋1－11(明治ビル)
電話千代田㉗7266・9859・9918
工場 東京都墨田区寺島町2－50
電話城東㊽3918

坂本式ベンチレーター





谷樋と屋根

エンドレス（長尺もの）
スタンダードメタル
谷樋.屋根に 是非どうぞ

PATENT Standard

スタンダードーメタルの大島化学
エバーブライトの 大島化学
（アルミ箔ルーフイング）
オーシマライトの 大島化学
（ポリエステル樹脂積層板）

大島応用化学工業㈱
本社工場　大阪市城東区野江東ノ町4丁目　電話城東㉝3679・4481・8471
第二工場　大阪市城東区古市中通2丁目　電話城東㉝8813
支店　新居浜市西原町　電話2327・2938・3255
営業所　名古屋市 電(中)7025・広島市 電③7582 出張所 四日市市 電2065
〔広島営業所開設〕

石綿セメント製品の最高水準を行く!!

アスベストバリヤ
（硬質石綿板）

Asbesto. Barrier

建物内外壁、間仕切、天井扉
電気室、発電所、配電室、製鋼
ガラス工場の壁、製糖、製油
製薬工場の床スカート壁など
に最適

呈カタログ

泉石綿工業株式会社
大阪市北区北同心町1丁目11
電話堀川㉟3442

ヘキタイト

JIS 日本工業規格 No.A 5404

防火、防熱、防音、吸音、保温、保冷

（軽量木毛セメント板）

SIZE

中細木毛	3′×6′	10mm	12mm	15mm
		18mm	25mm	50mm
極細木毛	3′×6′	10mm	12mm	15mm
		18mm	25mm	

製造元

日本製板加工株式会社

大阪出張所

大阪市北区高垣町80（やよひビル）

電話大阪（代）㊱178・4161番

軽量鉄骨
軽量鋼製窓枠
の
設計・加工・販売



新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武

大阪市西区新町通2丁目25　電話 ㊹ 286・287

工場　神戸市東灘区本庄町青木古堂町53　電話 神戸⑧616

広島県御調郡向島町立花3010　電話 尾道2868　向島西19

大阪市西区阿波座中通2丁目　電話 ㊸ 504・6478

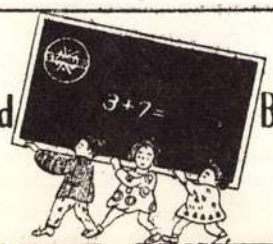
冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話豊崎㊲1333番



フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話天王寺(77)4692番

会員名簿

昭和33年版
附録：業者案内欄

日本建築協会

A5版・約400頁

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社

協和建材工業 k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(37) 6002・857
k.k. 工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(66) 8861～2
k.k. 工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(97) 4460・8288
大恵工業 k.k.	大阪市西淀川区姫島町1690	(47) 3131～2
田島応用化工 k.k. 大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1丁目14	(44) 809～10・1773～5
東亜工業 k.k.	大阪市天王寺区堀越町2丁目1	(77) 915
日瀝化学工業 k.k. 大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(39) 924～5・2045

◀販売業社

浅野物産 k.k. 大阪支店	大阪市東区瓦町2(三和ビル)	(23) 1731代・2931代
池田商事 k.k.	大阪市東区道修町1丁目11(加藤ビル)	(23) 1345・1346・3381
内田商会	大阪市北区万才町47	(36) 900・2841・2966
梅本石油 k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(54) 3785～7
枝松商会	大阪市北区道本町41	(34) 8643
大阪朝日瀝青 k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(53) 4520・8401
三友アスファルト k.k.	大阪市天王寺区堀越町2	(77) 915
星光商事 k.k. 大阪支店	大阪市北区絹笠町50（堂ビル二階）	(36) 774
中西瀝青産業 k.k. 大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(34) 4305
k.k. 長野商店	大阪市北区中之島6丁目8	(44) 853・5196
日本建設興業 k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(23) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目35	(44) 5223～4
山文商事 k.k.	大阪市西区土佐堀1丁目13	(44) 0255代・5392代

◀工事業社

旭化建工業 k.k.	大阪市北区茶屋町38	(37) 6555～7
k.k. 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(44) 3520・4564・1005
k.k. 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(37) 3340・3505
オリエンタルアスファルト工業 k.k.	大阪市浪速区幸町通2丁目1	(53) 4050・4190
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(37) 1333
大島応用化学工業 k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(33) 3679・4481・8471
カナエ商店	大阪市北区空心町1丁目30	(35) 2922
共栄瀝青工業 k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(94) 5561～2
k.k. 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(44) 5408・5486
k.k. 久保商店	大阪市北区真砂町5	(34) 207～8・4836～7
清水興業 k.k.	大阪市北区鶴野町34	(37) 1383・2933・9377
k.k. 新光商店	大阪市南区塩町通2丁目13	(26) 7195～7・4464
高野アスファルト k.k.	大阪市西区江戸堀上通2丁目42	(44) 2148・4164
k.k. 大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(64) 1588・1905
内外工業 k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(64) 3434～6
日新工業 k.k. 大阪支店	大阪市西区新町北通1丁目40	(53) 5281～3
日本瀝青工業 k.k. 大阪営業所	大阪市北区富田町40	(34) 1804
k.k. 双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(37) 3375
松本瀝青工業 k.k. 大阪支店	大阪市都島区都島本通7丁目45	(35) 9231
マルエス工業 k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(45) 2360・2030
k.k. 明正社	大阪市北区樋ノ上町45	(34) 8157～9
米田工業所	大阪市天王寺区南玉造町43	(75) 7271
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	湊川（5）2697
中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	湊川（5）4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	元町（4）6930
有限会社 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	（2）4272
k.k. 浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道2760
青盛建材 k.k.	広島市鉄砲町108	中（2）2881～2
古市断熱工業 k.k.	高松市天神前220	高松 4239
正和商事 k.k.	松山市一番町	松山525・1159・2159
k.k. 山本商会	松山市茅町2丁目95	松山 2717

▶賛助会員

丸善石油 k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(27) 1251(代)

社団法人 アスファルト同業会関西支部 大阪市西成区橘通9丁目24 電話（66）8861・8862

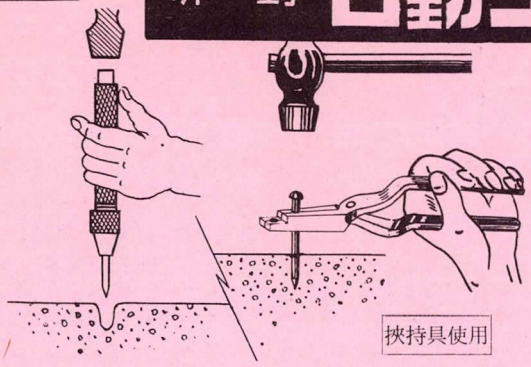
コンクリートに！煉瓦に！

PAT.P 31376 33452 32153 他10数件

ハンマーで簡単に打込める釘

赤い釘 **日動コンクリート釘**

F式打込チス



挟持具使用

日動コンクリート釘はコンクリートや煉瓦に，木材に打込むと同様にハンマーで簡単に打込めるもので，その能率のよいこと，碇着の確実，そして経済的なことは実に驚嘆の的で正に革命的な釘の出現です。

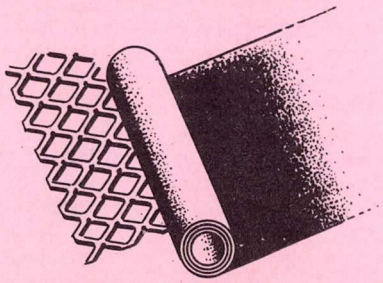
「詳細については御一報次第カタログを進呈致します」

製造元 株式會社 **日本動力安全機製作所**

本社工場	大阪市北区東堀川町25	電話 大阪 (36) 6331～4	
東京事務所	東京都千代田区神田佐久間町3－32（内善ビル内）	電話 東京 (866) 3 1 3 1	
仙台出張所	仙台市元鍛冶町2番地の3（小河原会館）	電話 仙台 (2) 5 4 1 3	
代理店 株式会社日垣本社	大阪市南区安堂寺橋通2－3	電話 大阪 (26) 5091～6	
日動電工株式会社	大阪市北区東堀川町15—5	電話 大阪 (35) 6334～5	
湯浅金物株式会社	大阪市南区末吉橋通2－10	電話 大阪 (26) 1831～6	
太平商事株式会社	大阪市東区北浜3－5	電話 大阪 (23) 5831(26)2037	

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

壁下地材



日東ラスボード
日東ボード用プラスター
リブプレックス
ヨツメリブラス
ヤハズラス
ワイヤーラス
軽量鉄骨ラス張
フエルト・ルーフイング

創業 明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本店 神戸市生田区栄町通二丁目三九（安田火災ビル） 電話神戸③局0591—3・5092—3・0498
支店 東京都中央区八重洲一丁目一 西河岸橋西詰 電話東京㊱局 6181・6182

Aomori

中国総代理店

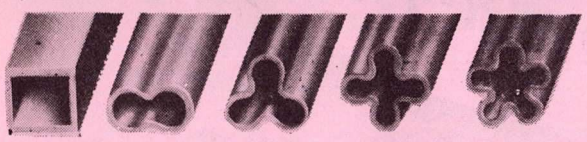
田島応用化工株式会社
奥山化工業株式会社
日瀝化学工業株式会社
関城化学工業株式会社

青盛建材株式会社

本　　社　広島市鉄砲町108　TEL 中②2281－3
福岡営業所　福岡市万行寺前町14　TEL 東③1225－6
岡山営業所　岡山市東田町3　TEL ②7911・8169

近代感覚と安くて丈夫な異型鋼管

デザインパイプ



建築．　家具．　装飾．　柱

HOSHI PIPE

角鋼管

在庫豊富

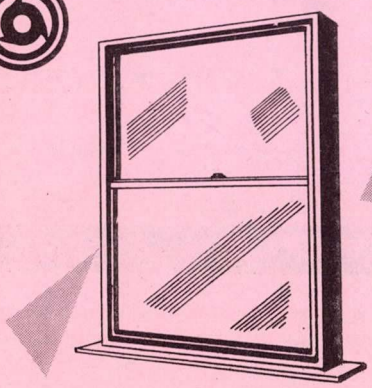
◎美しく、丸型に較べ縦横の力が強力
◎材質は引抜鋼管で曲加工、鍍金も自由
◎自3/8～至6吋迄製作　カタログ呈

星金属株式会社

大阪市西区立売堀北通二丁目二〇
電話 ㊸ 5563・2469



STEEL DOOR SASH



営業品目　鉄道車輛の製造
土木建設機械の製造
建築用鋼製建具扉の製造

布施市橋本一番地の一

近畿車輛株式會社

TEL ㉒2231代表直通 ㉒2434

ビオンパネル

お待たせいたしました

夢の七色合板

ビオンライト



写真左より

1. ビオン フォール
2. ビオン コロナ
3. ビオン グループ
4. ビオン リバー
5. ビオン トーン
6. ビオン アート
7. ビオンア、ラ、デコラ ビオン ライト
（ビオンパネル全品種に御希望の塗装のもの）

製造元

中村合板株式会社

本　社・名古屋市港区木場町6

出張所・東京都中央区京橋2の4

総発売元

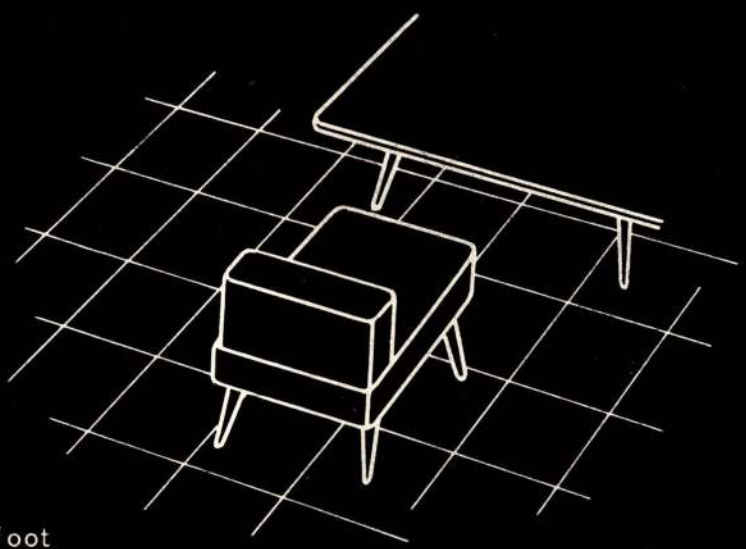
住友商事株式会社

本店・大阪市東区北浜5の22
支社・東京都中央区日本橋通1の2
支店・名古屋市中区朝日町1の15
其の他支店出張所・全国主要都市

TOYO'S

VINYLART TILE

ビニラート タイル

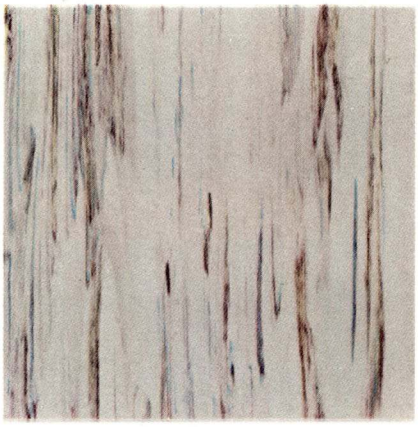


Comfort underfoot

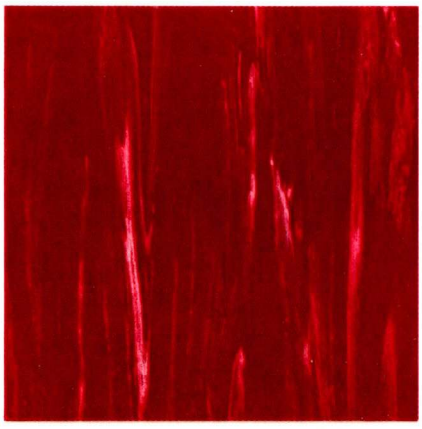
ビニラートタイルはその滑かな表面、優雅な色調と模様によって近代建築の床を構成する為に不可欠の床材となっています。ビニール樹脂を原料とするビニラートタイルは耐摩耗性に優れており、その適度の弾性は歩行者の足許に極めて快適な感触を与えます。又所謂静止荷重に強く家具類の重量に耐え、凹みを残すことがありません。鉱、植物性油脂、アルカリ其の他薬品類に対する抵抗力が大きく、耐火難燃性です。ビニラートタイルは平坦な床であればセメントモルタル床（地下室、土間続きでも良い）、木床等どんな下地の床にも使用でき施工も容易です。

ビニラートタイルは手頃な価格で御使用でき、敷込後も簡単な手入でいつまでもその美しさを保ちますので維持費も極めて僅少ですみます。ビニラートタイルは住宅、商店、レストラン、百貨店、劇場、ホテル等あらゆる建物に対する最適の床材としておすゝめできる製品です。

新らしい感覚の床材“



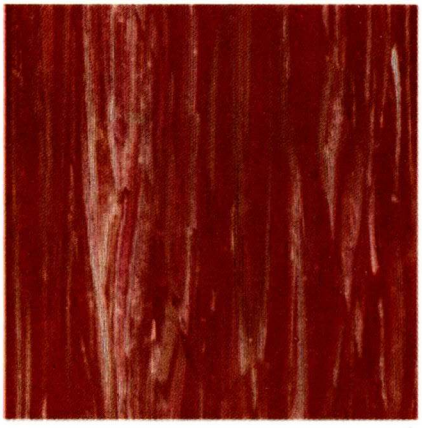
NO. 701　白マーブル　White



NO. 710　赤マーブル　Carmine Red



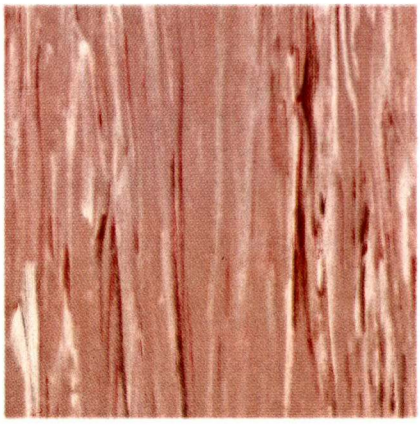
NO. 702　黒マーブル　Black



NO. 711　レンガマーブル　Brick Red



NO. 703　灰マーブル　Gray



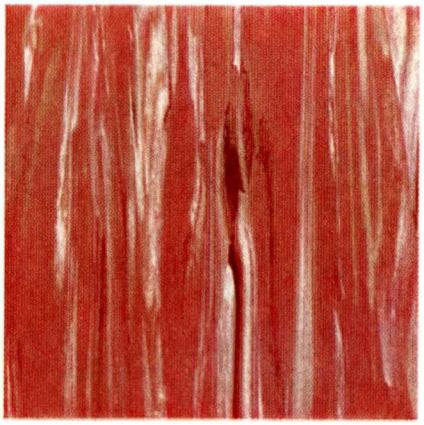
NO. 720　ベージマーブル　Beige

ビニラート タイル”

規格・厚　サ　2粍

大きさ　1尺×1尺

（30.3cm角）



NO. 721　淡茶マーブル　Light Brown



NO. 750　深緑マーブル　Deep Green



NO. 730　クリームマーブル　Cream Yellow



NO. 770 スモークブルーマーブル Smoke Blue



NO. 740　浅緑マーブル　Pale Green



NO. 780　コバルトマーブル　Cobalt Blue

この色見本は実物に極めて近く刷ってありますが、実際に使用の場合は見本を御参照下さい。





営業品目

床材	リノリューム、リノタイル
	Nリノタイル（Nタイル）
	ビニラートタイル
	スポンヂシート
接着剤	リノリューム特製糊
	〃　合成糊
	ACペースト、プライマー
手入剤	液状ワックス

販売店

東洋リノリューム株式会社

本社 伊丹市伊丹558 電.伊丹（代）3531
大阪（48）4490

東京支店 中央区銀座四丁目 三和ビル 電.京橋（56）2564
1701

大阪事務所 東区瓦町二丁目 三和ビル 電.北浜（23）375～9

33. 2. 20,000　大日本印刷株式会社印行

広告目次 (50音順)

ア アスファルト同業会関西支部 9
浅海電気kk …… 2
浅野スレートkk ……60
青盛建材kk ……11
伊奈製陶kk ……中挟
泉石綿工業kk …… 7
井田商事kk …… 5
kk岩住鉄工所 ……16
岩元工業kk ……14
靱興産kk建材部 ……16
kk栄興商会 …… 4
栄進鋼業kk ……15
kk荏原製作所 ……表紙 4
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……22
kk大阪城口研究所 …… 3
kk大阪電気暖房商会 …… 3
大阪耐酸工業所…… 8
大島応用化学工業kk …… 7
kk奥村重兵衛商店 ……59
奥山化工業kk ……20
織本特殊構造研究所……17
カ 樫野石灰工業kk …… 4
kk川岸窯業 …… 5
関西ペイントkk …目次対抗面
川口ゴム工業kk ……前付
近畿建材工業kk …… 4
近畿車輛kk ……11
工藤電気kk …… 2
kk久保商店 …… 1
kkケントク ……22
kk建材社 …… 3
神戸材料kk ……表紙 3
kk金剛商会 …… 5
kk工英社 ……表紙 2
サ 斎久工業kk …… 3
kk斎藤省三商店 …… 3
坂本商会…… 7
三機工業kk …… 3
kk三幸商会 …… 4
kk三興社 …… 2
kk三晃商会 …… 3
三宝電機kk …… 2
彰国社……58
新興建材工業所……18
新鋼建設工業kk …… 8
須賀工業kk …… 3
鈴木シヤタア商会…… 5
住友金属工業kk ……表紙 3
住友商事kk ……12
セメダインkk ……前付
タ 田島応用化工kk ……19
田中工業kk …… 1
田中風呂製作所…… 7
田辺工業kk ……60
田村商会建材部……10
谷山製作所…… 7
大信ペイントkk ……21
大日本硝子工業kk ……15
大仏組…… 4
高砂熱学工業kk …… 4
kk武智工務所 ……59
kk立花商会 …… 4
中央電気工業kk …… 2
朝陽電気kk …… 2
東邦商会…… 6
東京鋼板工業kk ……14
東洋キヤリア工業kk …… 4
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk …目次対抗面
ナ ナニワ瓦kk …… 5
内外工業kk …… 5
内外土木建材社……16
中本電気kk …… 2
浪速合板…… 6
浪速建材工業kk ……21
日本金具製作所……中挟
kk日本シヤッター製作所 …14
日本製板加工kk …… 8
日本セメント防水剤製造所 …表紙 3
日本ドアーチエツク製造KK……中挟
日本レーヨンkk ……前付
日宝甑石kk ……16
kk西原衛生工業所 …… 3
三星西日本アスファルト事業協同組合…表紙 4
kk日本動力安全機製作所 …10
日本ペイント…… 6
kk野上工業所 …… 2
ハ kk林塗装店 …… 4
kk汎建製作所 ……17
kk日立製作所 ……表紙 2
平田建築構造研究所……15
平川鉄工所……前付
福屋工業kk …… 4
藤本鉄工kk …… 5
藤森工業kk ……前付
フタバ黒板…… 8
豊国セメントkk ……14
星金属kk ……11
マ kk松重電機商店 …… 2
水谷ペイントkk ……52
kk三高製作所 ……17
kk三谷製作所 ……前付
三国コンクリート工業kk …15
峰岸商店……20
三舟建材商会……60
kk室谷商店 …… 6
ヤ 山田工業kk …… 3
kkヤマト電気商会 …… 2
山本建材kk ……中挟
油脂化工社……表紙 3
kk吉田芳雄商店 …… 5
吉野石膏kk …… 6
ラ kkライト製作所 …… 1

特別広告関係 (順不同)

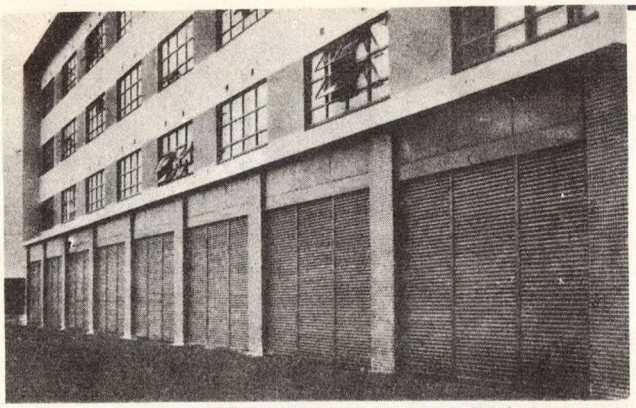
大阪電気商会大阪暖房商会……13
大阪市西区江戸堀南通1—37 電話㊊5231代
浅海電気株式会社……14
大阪市東区北浜2—69 電話㊊5273—5275・4241
KK鈴木シヤタア商会……14
大阪市北区茶屋町33 電話㊡0098・5837・8729
三菱電機KK大阪営業所……15
大阪市北区堂島北8—1 電話㊊5251・5831代

T
K K

スチールサッシュ
スチールドアー
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

大阪支店
大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル三階）
電話 北㉞0621・0628
本社及工場
東京都荒川区尾久町5ノ1000 電話荒川㊽8131-6


大阪府営堺宿院店舗付共同住宅

戸締ノ改革

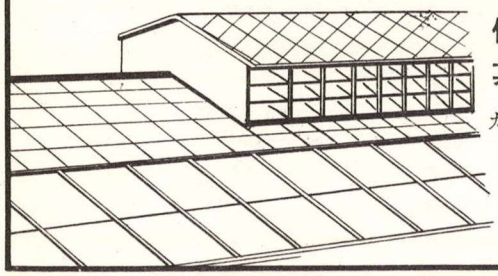
PATENTS No:414855 No:414856 No:35528

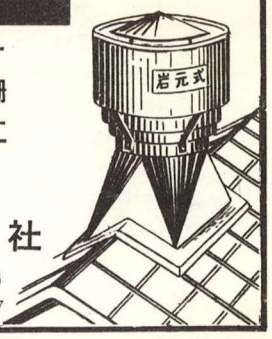
店舗、倉庫、ガレージ等ニ最適デス。開閉ハ
片手ニテ軽ク揚ゲ降シ致シマス。価格ハ至極
低廉デス 御一報係員参上、カタログ進呈

専問製作
株式会社 日本シャッター製作所
大阪市東淀川区田川通6丁目38
電話豊崎㊼439

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター

サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工





カタログ進呈

岩元工業株式会社
本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話㊽0616・0617

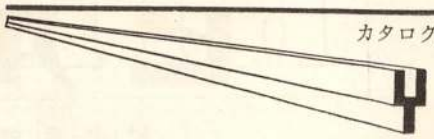
豊国セメント株式会社

本社 福岡県苅田町
事務所 小倉・大阪・東京

（ＪＩＳ）製作工場

スチール.サッシュ
スチール.トア
スチール.シャッター


NS型


LS型

カタログ進呈

パテ切リ不要ノ　〝サッシュバー〟

榮進鋼業株式會社

本社及工場　大阪市城東区野江西之町2丁目2
電話城東㉝８２６１～３

出張所 福岡 連絡所 名古屋 広島 長崎 富山

光り 波型ガラス（網入及網ナシ）

ダイニチライト

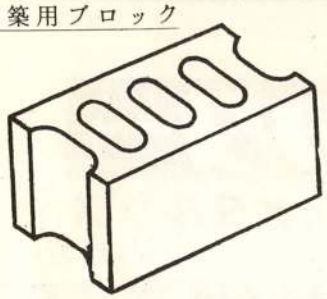
ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板
6尺×2尺4寸(波型)



製造元 **大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話土佐堀㊹3389・1597
本　社　東京都中央区京橋3—6　電話㉘６９２６～８

建築用ブロック



気泡コンクリート『**マールコン**』

断熱　軽量

冷暖房室の保温壁，床用，パイプ保温用
壁用ブロック（水に浮くブロック）
而も 耐火 と 防水 の完璧

製造販売　**三国コンクリート工業株式会社**

本社　大阪市北区梅ケ枝町５０　電話㉞9187・9188番
工場　大阪市住吉区北加賀屋町3丁目3番地　電話㊼４４６４番

構造計算
特殊構造設計

株式会社 平田建築構造研究所

所長　平田定男

大阪市北区堂島上三丁目十二番地（永和ビル内）　TEL㊱５０７１～４

焼成 HILCON 絶対廉価

耐火・断熱・軽量・保温・保冷

吸音・防音・結露防止

大阪市東区高麗橋3－7

日宝蛭石株式会社

TEL (23) 1601・5627・5628

内外式コンチニアスベンチレーター

嶄新なデザイン 高性能

内外式バーチカルベンチレーター（電気扇付）

内外式固定筒型ベンチレーター

内外式スカイライト

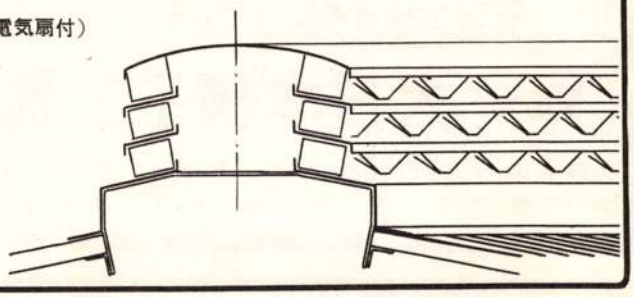
一般硝子屋根＝ワイヤ波型硝子屋根

設計施工

株式会社 内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）

電話土佐堀（44）3983番 4396番



優秀機能ヲ誇ル

岩住式 シャッター

ドアー。サッシュ。メタルラス

(JIS 557)

最新ノ機械設備

最高ノ設計ト技術

不撓ノ研究ト改良

株式会社岩住鐵工所

大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地

TEL淀川（47）代表4351・4352・4353・0903・0904

U.K.S.

登録商標

プラスチックス建材

ウツボライト

ウツボライトM

ポリウレタンスポンジの吸音内装材

ウツボライトS

ポリスチレンスポンジの吸音断熱内装材

材料販売並責任施工

靱興産株式会社建材部

大阪市北区小深町一番地の一 TEL㉞ 0129

三高式 ドアーハンガー　スチールサツシュ
三高式 オペレーター　スチールドアー
三高式 重量戸車　スチールシヤッター

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69 電話大阪 ㊲ 1754(代表)

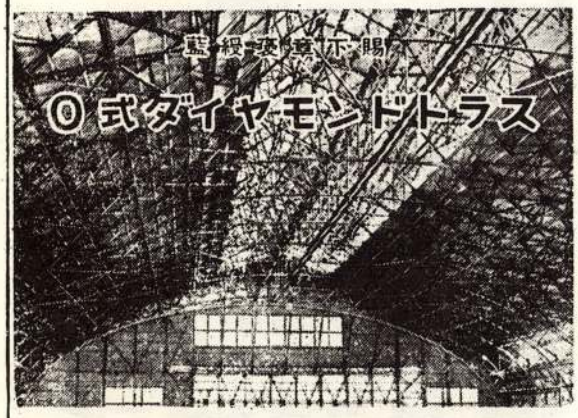
伝統に輝く
優秀な製品

スチール サッシュ
スチール シャッター
スチール ドーア

新規製品
完全密閉上下げ窓
気密度極めて高く
開閉軽快・堅牢・低価

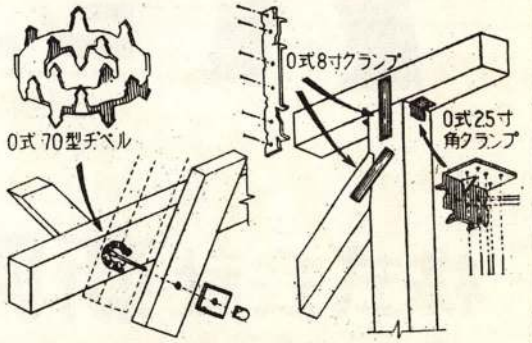
株式会社 汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11 電話 此花 ㊻ 2903・4461

鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS



設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈
考案 織本建築設計計算事務所

官公庁御採用 耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に
PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ



販売 織本特殊構造研究所
東京都中央区日本橋蠣殻町3～2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062

SK

特殊壁材製造と左官材料専門卸



★セメント防水剤は世界的水準のJIS合格品のご使用を！

シンケン
防水剤・急結剤

★近代建築の和洋室内壁に防音・保温・落ちぬ塗壁材

いすゞかべ

★劇場・洋室・学校講室・公会堂の内壁に防音・保温の

チエリーウオール

★純日本趣味の塗り良い優雅な壁……

★新発売★ 錦壁

★セメント・石灰・プラスターの着色に純鉱物性不変色の…

チエリーカラー

★セメントの（アク）でお困りの場合に

シンケン セメント(アク)止剤

水溶性特殊接着剤〝シンケン糊〟桜印酸化黄
ラスヒゲコ・末広布連 其の他特殊材料発売

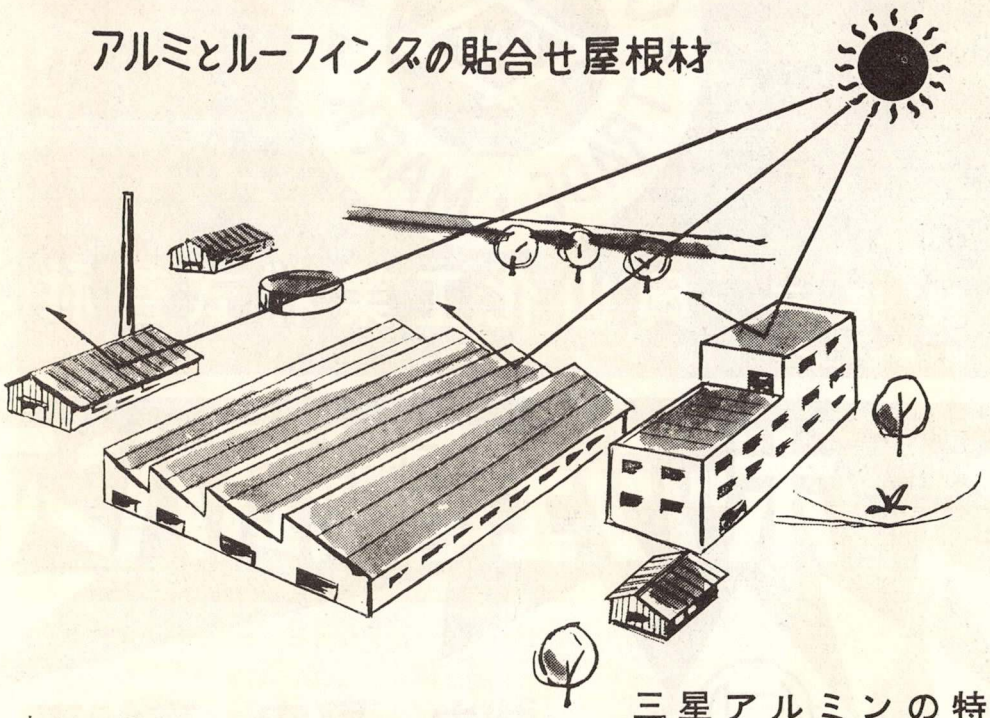
（カタログお申込み次第お送りします）

株式会社 新興建材工業所

本　社　大阪市西区四ツ橋　電話（53）1988・9720（54）1988
工　場　大阪市住吉区東長居町36　電話　住吉（67）212

三星印 特許 アルミン

アルミとルーフィングの貼合せ屋根材



巾1ᵐ×長10.9ᵐ（葺上リ3坪）・重量20kg

三星アルミンの特徴

耐久性、耐蝕性が大きい

アルミンは日光（紫外線）や風雨に容易に犯されません。

アルミンは海岸や工場地帯の潮風やガスにも強い抵抗性を発揮します。

耐火性、耐熱性である

アルミンは表面が金属被覆のため耐火性にすぐれています。

アルミンは火災の時の火の粉にも安全です。

光や熱を良く反射する

アルミンは日光や輻射熱を90%以上反射します。

アルミンは建物の熱絶縁に優れた性能を示します。

三星ルーフィングの

田島応用化工K.K.

東京都足立区小台町６３３　ＴＥＬ王子（91）代表1181
大阪市西区京町堀上通１－14　ＴＥＬ土佐堀（44）代表809

黄綬褒章受賞

特許 奥山式熱工法 冷工法 綜合防水層

カッパー防水帯

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

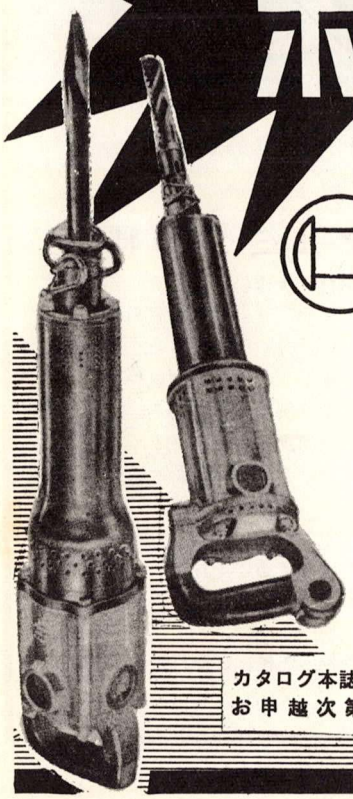
カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元 奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8丁目3番地・電話 銀座 57 2703 4・2370・4064・0264

ボッシュ電動式ハンマー



強力・堅牢・高能率

穿孔・削切兼用・(電灯線使用)

コンクリートの穿孔，削切
目粗しに高性能を発揮します。

独乙ロバート・ボッシュ会社製
日本総代理店

株式会社 峰岸商店

大阪出張所
大阪市西区江戸堀上通1丁目8番地
電話 土佐堀 ㊹ 0842・2181

カタログ本誌名記入
お申越次第進呈

日満ゴムタイル
全国総代理店
責任施工

浪建式

スチールサッシュ・ドアー
シッヤター・オペレーター
— 製造販売 —

大正十四年
創　業
浪速建枝工業株式會社

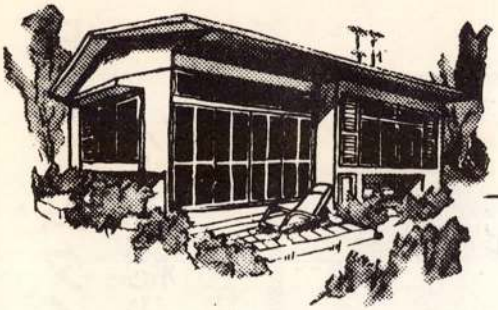
本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話城東㉝1171～3番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室　電話東京㊹4611
福岡営業所・福岡市天神町三番地（サンビル内）　電話福岡④8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地　電話大分1366番

新らしい建築には..最も新らしい塗料

合成樹脂製
マスター（艶アリ・艶ケシ）（調合ペイント）　建築物（木部・鉄部）内外部・塗装用
サビコンS（さび止ペイント）　サッシュ鉄骨等凡ゆる鉄材製品のさび止用

PCL
大信ペイント株式会社

本　社　大阪市東淀川区三津屋中通四ノ四　電話㊲7371～3
支　店　東京都墨田区竪川四ノ四　電話㊸1351
出張所　札幌・名古屋・広島



家を建てたら・・
ツヤ出しケントク

——板の間・廊下に——→

新築に

水拭きではすぐに黒ずみニス・ラッカは白木の味をなくし、はげると見苦しくなりますが、すべらぬ白木艶出ケントクを月に一～二回ぬりこめば毎日はカラ拭きで新築そのまゝの美しさを保ちます。



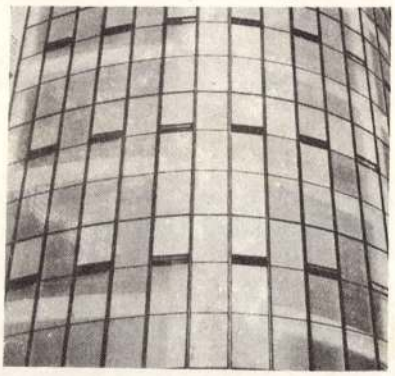
板の間廊下のすべらぬ白木ツヤ出し

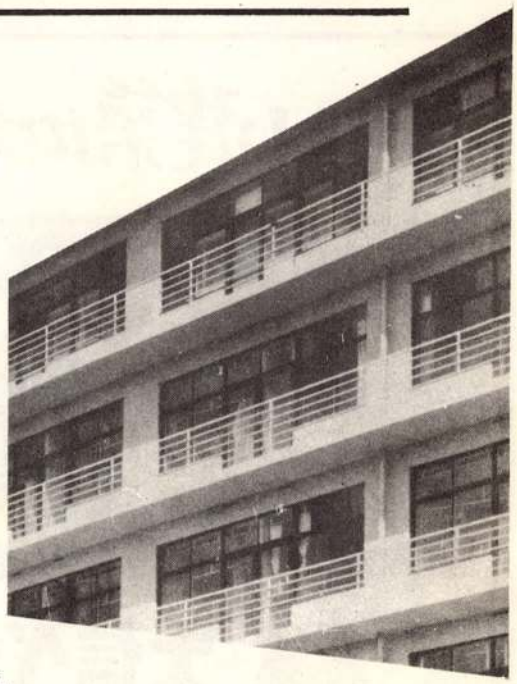
ケントク

白木液体ケントク一升罐四九〇円で約十五坪、丸罐半ボンド二九〇円で約五坪みがけます



大阪市東淀川区新高南通 1—14　KKケントク　電話㊴1658・1416
0864～6





サッシ

ボンデライト

自家設備一貫作業

大阪建材工業株式会社

営業所　大阪市南区九郎右衛門町２１番地　ＴＥＬ．南 ⑺ 0836～９・0830
本社工場　堺市松屋町１丁目６番地　ＴＥＬ．堺 4800・4801・1586
出張所　名古屋　ＴＥＬ．東(9)４８８４　金沢　ＴＥＬ．金沢(3)3427・3428

セメント分散剤

リグナール

カタログ●見本進呈●

……の使用で セメント節約

リグナールを使用することによって1m³当り材料費が180円節約となり尚且つ強度が10.2%～6.4%増進することにより非常に経済的な施工が期待し得る

神戸市建設局生コンクリート混合所

	W/C	重量配合	スランプ cm	圧縮強度 σ7	σ28
ブレーイン	65%	12.3：3.8	18cm	104	192
リグナール	60%	12.5：4.5	22cm	120	245

10%—15% O.K.

神戸材料株式会社

神戸市長田区西代通四丁目十八番地
TEL ⑦ 3871
工場 神戸・大阪

日本建築協会優良證明

セメント 増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER PROOF WOTAITO

型仕様書録贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本社 兵庫県宝塚市高台上の池北28—1 電話 宝塚 2153
工場 尼崎市難波本町1—34 電話大阪㊽8544(代表)
出張所電話 東京(43)0874 仙台(3)0721・名古屋(32)1331

ウォータイト式防水工事代行店電話 高山工業 東京(25)0161～3・安藤工事 福岡(3)5765・大三工業 高松6710

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤 特許マノール接着剤

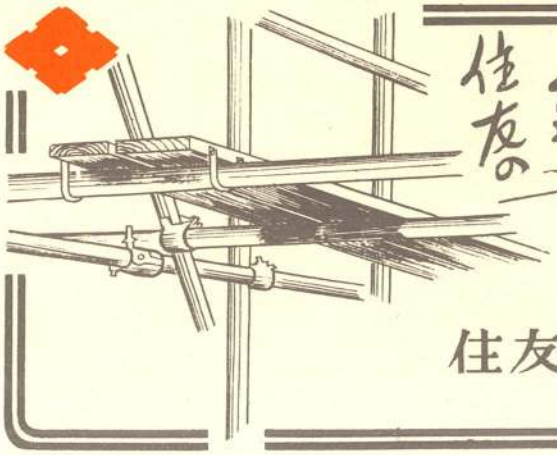
新日本メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長 矢中龍太郎

本社 東京都品川区二葉町1—441 電話荏原㊽1715
大阪営業所 大阪市東成区西今里町2—48 電話㊾4765・0063



住友の 建材足場用鋼管

1．組立や解体が簡単で速くできます。
2．強くて軽く、安全確実な足場ができます。
3．腐蝕せず永年使用できる為、木材足場より経済的です。
4．工事場が整然としてスマートで、都市の美観を損じません。

住友金属工業株式会社

大阪市東区瓦町4丁目31
東京都千代田区丸ノ内(新丸ビル)

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十三年四月二十日印刷
昭和三十三年四月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

エハラ・ターボ冷凍機
ねのくちポンプ



株式會社
荏原製作所

画期的アスファルト防水

勾配別で一　アスタイト（特殊アスファルト 100号・85号・80号・75号・25号）使用

年限仕様書進呈　　西アス協組責任施工

三星　西日本アスファルト事業協同組合

事務所　大阪市東区淡路町2の53
分　室　大阪市西区京町堀上通1の14　TEL㊹1773～5

売価一部金百八十円（送料共）